

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
00	表紙・図面リスト	18	1階事務運転発車室・計算室 その他詳細図	41	営業所・検車場棟及び整備場棟 その他改修詳細図1
		19	1階運転宿直室・待機室 平面詳細図・展開図	42	営業所・検車場棟及び整備場棟 その他改修詳細図2
特1	特記仕様書1	20	1階作業士室・理髪室 平面詳細図・展開図・撤去図	43	耐震改修位置図(1) 営業所・検車場棟2階R階平面図
特2	特記仕様書2	21	1階便所 平面詳細図・断面詳細図・展開図	44	耐震改修位置図(2) 整備場棟2階R階平面図
特3	特記仕様書3	22	1階廊下 平面図・展開図、1F便所 PS壁改修図	45	耐震改修位置図(3) 営業所・検車場棟及び整備場棟 南立面図
		23	1階車両事務室 平面詳細図・展開図	46	耐震改修位置図(4) 営業所・検車場棟及び整備場棟 北・西立面図
1	配置図・付近見取図	24	1階車両控室 平面詳細図・展開図	47	耐震改修 各部詳細図
2	営業所・検車場棟及び整備場棟 各階平面図	25	1階車両便所 平面詳細図・断面詳細図・展開図	48	構内詰所 平面図・立面図・断面詳細図等
3	営業所・検車場棟及び整備場棟 仕上表1	26	2階購買室・更衣室 平面詳細図・展開図	49	給油所 平面図・立面図・屋根伏図等
4	営業所・検車場棟及び整備場棟 仕上表2	27	2階予備室・食管事務室・更衣休憩室 平面詳細図・展開図	50	油庫 平面図・屋根伏図・断面図・立面図
5	営業所・検車場棟及び整備場棟 仕上表3	28	2階便所・業務習得室・会議室 平面詳細図・展開図	51	屋外掲示板・連結送水管用自立壁・自転車置場 改修図
6	営業所・検車場棟及び整備場棟 立面図	29	2階浴室・車両宿直室 平面詳細図・展開図	52	洗車場上屋 平面図・屋根伏図・断面図・矩計図等
7	営業所・検車場棟及び整備場棟 断面図	30	2階廊下 平面図・展開図	53	敷地境界塀 改修前 配置図
8	営業所・検車場棟 (改修前後) 矩計図	31	1階天井伏図	54	敷地境界塀 改修後 配置図
9	整備場棟 (改修前後) 矩計図	32	2階天井伏図	55	敷地境界塀改修 断面詳細図1
10	営業所・検車場棟及び整備場棟 R階展開図1	33	営業所・検車場棟及び整備場棟 建具表1	56	敷地境界塀改修 断面詳細図2
11	営業所・検車場棟及び整備場棟 R階展開図2	34	営業所・検車場棟及び整備場棟 建具表2	57	敷地境界塀改修 断面詳細図3
12	1階 検車場・整備場 A通柱改修図	35	営業所・検車場棟及び整備場棟 建具表3	参考図	洗車場 平面図・立面図・矩計詳細図・構造図
13	2階 駐車場 柱改修図	36	営業所・検車場棟及び整備場棟 建具表4		
14	A階段・C階段 平面詳細図・断面展開図	37	営業所・検車場棟 北側屋根 平面図・断面詳細図		
15	B階段 平面詳細図・断面展開図	38	1階検車場 平面詳細図・断面詳細図		
16	1階事務運転発車室・計算室 平面詳細図	39	1階アラーム弁室1 平面詳細図・立面図・断面図等		
17	1階事務運転発車室・計算室 展開図	40	2階アラーム弁室2 平面詳細図・立面図・断面図等		

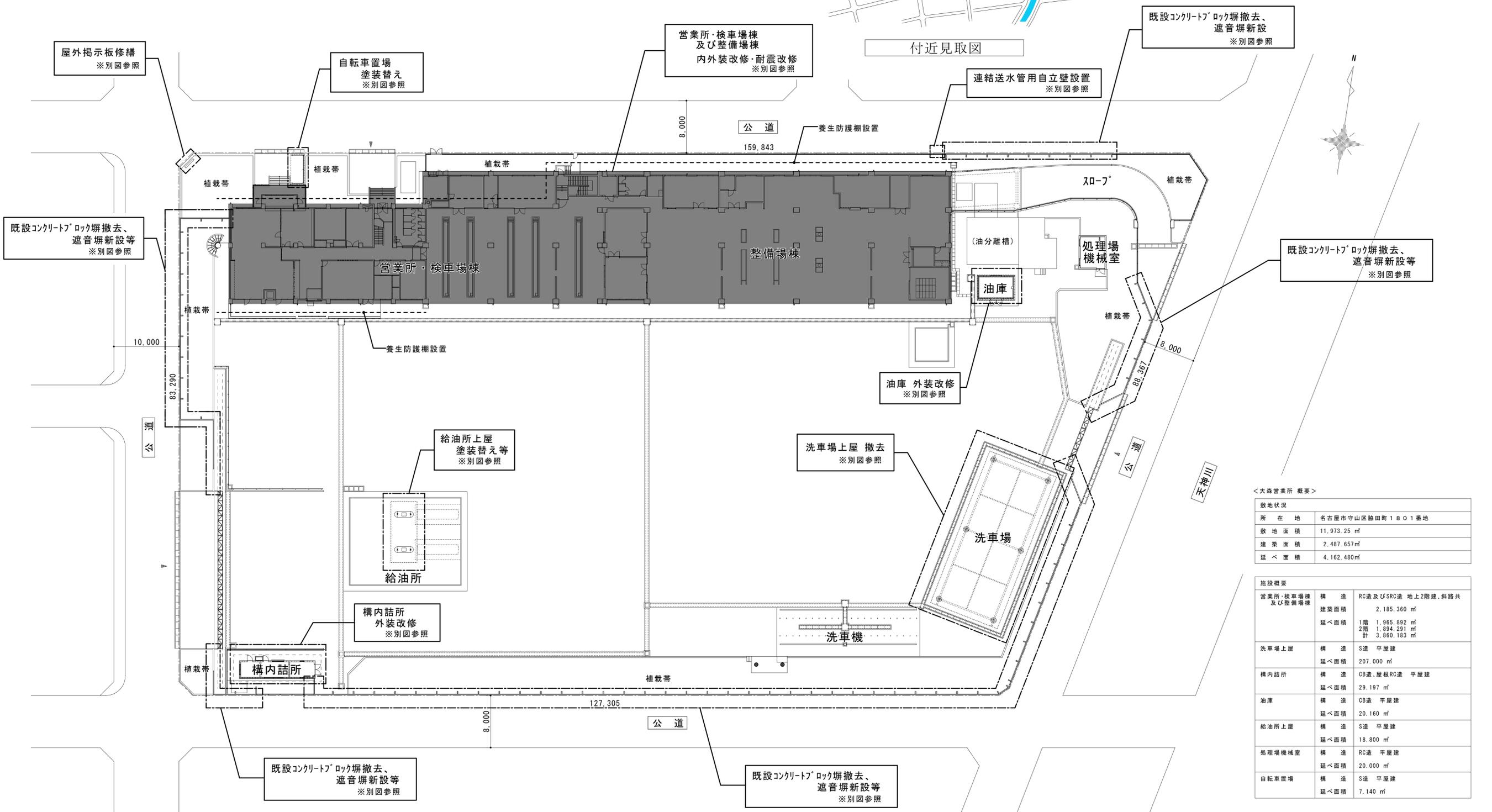
9. ビニル床シート張り	・ 設計図面による ・ 下表による	<table border="1"> <tr> <th>床材</th> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>ビニル床シート</td> <td>※ FS</td> <td>※ 無地 ・ マーブル</td> <td>※ 2.0 ・ 2.5</td> <td>織布積層(旧NC)</td> </tr> <tr> <td>ノンスリップビニル床シート</td> <td>※ FS</td> <td></td> <td>※ 2.5</td> <td></td> </tr> </table>	床材	種類	色柄	厚さ(mm)	備考	ビニル床シート	※ FS	※ 無地 ・ マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	織布積層(旧NC)	ノンスリップビニル床シート	※ FS		※ 2.5						
	床材	種類	色柄	厚さ(mm)	備考																	
ビニル床シート	※ FS	※ 無地 ・ マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	織布積層(旧NC)																		
ノンスリップビニル床シート	※ FS		※ 2.5																			
10. ビニル床タイル張り	・ 設計図面による ・ 下表による	<table border="1"> <tr> <th>床材</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>※ コンポジションビニル床 タイル(KT) ・ 複層ビニル床タイル(FT)</td> <td>※ 2.0 ・ 2.5</td> <td>半硬質(旧CT) (旧ホモジニアスHT) 《 6. 8. 2》</td> </tr> </table>	床材	種類	厚さ(mm)	備考	ビニル床タイル	※ コンポジションビニル床 タイル(KT) ・ 複層ビニル床タイル(FT)	※ 2.0 ・ 2.5	半硬質(旧CT) (旧ホモジニアスHT) 《 6. 8. 2》												
床材	種類	厚さ(mm)	備考																			
ビニル床タイル	※ コンポジションビニル床 タイル(KT) ・ 複層ビニル床タイル(FT)	※ 2.0 ・ 2.5	半硬質(旧CT) (旧ホモジニアスHT) 《 6. 8. 2》																			
11. その他特殊機能床材	※ 視覚障害者用床タイルの種類、形状は設計図面による。	《 6. 8. 2》																				
12. カーベットの敷き	材料工法等	<table border="1"> <tr> <th>カーベットの種類</th> <th>種別等</th> <th>バイル長、厚さ(mm)</th> <th>工法の種類</th> </tr> <tr> <td>・ 絨じゅうたん</td> <td>・ A種 ・ B種 ※ C種</td> <td>—</td> <td>グリッパー工法</td> </tr> <tr> <td>・ タフテッドカーベットの</td> <td></td> <td>※ 4.0</td> <td>※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法</td> </tr> <tr> <td>・ ニードルパンチカーベットの</td> <td>ラバー ※ なし ・ あり</td> <td>※ 6.0</td> <td>※ 全面接着工法</td> </tr> <tr> <td>・ タイルカーベットの</td> <td>※ 一種ルーパバイル</td> <td>※ 6.5</td> <td>※ タイルカーベットの全面接着工法</td> </tr> </table> <p>帯電性 (タイルカーベットの) ※ 設計図面による (上記以外のカーベットの) ※ JIS L 1021-16による人体帯電電圧の値の3kV以下</p> <p>グリッパー工法における下敷材 ※ 反毛フェルト第2種2号呼び厚さ8mm ・ 真麻フェルト2号厚さ8mm2回刺し 《 6. 9. 3~4》《表6. 9. 1~2》</p>	カーベットの種類	種別等	バイル長、厚さ(mm)	工法の種類	・ 絨じゅうたん	・ A種 ・ B種 ※ C種	—	グリッパー工法	・ タフテッドカーベットの		※ 4.0	※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ニードルパンチカーベットの	ラバー ※ なし ・ あり	※ 6.0	※ 全面接着工法	・ タイルカーベットの	※ 一種ルーパバイル	※ 6.5	※ タイルカーベットの全面接着工法
カーベットの種類	種別等	バイル長、厚さ(mm)	工法の種類																			
・ 絨じゅうたん	・ A種 ・ B種 ※ C種	—	グリッパー工法																			
・ タフテッドカーベットの		※ 4.0	※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法																			
・ ニードルパンチカーベットの	ラバー ※ なし ・ あり	※ 6.0	※ 全面接着工法																			
・ タイルカーベットの	※ 一種ルーパバイル	※ 6.5	※ タイルカーベットの全面接着工法																			
13. 合成樹脂塗床	塗床材の種類	仕上げの種類	厚さ(mm)	備考																		
・ 弾性ウレタン樹脂系塗床	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	※ 2.0 ・ ・																				
・ エポキシ樹脂系塗床	・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ ・ 樹脂モルタル仕上げ ※ 防滑仕上げ	・ ・ ・ ※ 1.2																				
・ 水性アクリル樹脂系防塵塗装厚さ0.15mm				《 6. 10. 2~3》《表 6. 10. 1~7》																		
14. フローリング張り	※ この項目については、「学校建築補足特記仕様書」添付の場合は「学校建築補足特記仕様書」を優先とする。																					
	品名	工法	樹種	厚さ(mm)																		
・ フローリングボード	※ 釘留め工法 ・ 接着工法	※ なら ・ ぶな	※ 15																			
・ フローリングブロック	※ 接着工法	※ なら ・ ぶな	※ 15 ・ 12																			
	複合フローリング 化粧加工の方法 ※ 天然木化粧 ・ 特殊加工化粧																					
	品名	工法	樹種	厚さ(mm)																		
※ 複合1種フローリング	※ 釘留め工法	※ なら	・ A種	・ B種 ※ C種																		
・ 複合2種フローリング	・ 接着工法	※ なら	・ 板厚(mm)	・																		
・ 複合3種フローリング	・ 接着工法	※ なら	・	・																		
15. 畳敷き	種類	・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ D種(・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)																				
	表替え：取替える畳表は、綿引1等C1 (JIS 5902)とする。																					
16. セッコウボードの目地工法	仕上げに対するセッコウボードの目地処理等	仕上げの種類	目地工法の種類																			
	塗装、吹付け	○ 継目処理工法 ・ 突付け工法	・ 目透し工法																			
	壁紙張り	・ 継目処理工法 ・ 突付け工法	・ 目透し工法																			
	表面化粧品、仕上げなし	・ 突付け工法 ・ 目透し工法		《 6. 13. 2~3》《表 6. 13. 5》																		
17. 合板	壁又は天井に使用する合板は、設計図面に特記がなければ難燃処理を施さない普通合板とし、設計図面に防火材料の指定又は認定を受けたものを使用するよう特記がある箇所の合板には指定、認定表示をすること。 合板類の張付け工法の種別(釘の使用も可能とする) 化粧合板または透明塗料塗りの場合 ※ A種 その他の場合 ・ A種 ※ B種			《 6. 13. 2》《表 6. 13. 3》																		
18. 壁紙張り	材料 壁紙の不燃、準不燃、難燃の防火性能は、設計図面による。 環境配慮製品(再生紙壁紙等)の使用に努めること。			《 6. 14. 2~3》																		
19. 内壁タイル張り	※ 設計図面による ・ 下表による	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>形状寸法</th> <th>用途区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>色</th> </tr> <tr> <td>・ I類 ・ II類 ・ III類</td> <td></td> <td>・ 内装 ・ 壁 ・ 床</td> <td>・ モザイク ・ ユニット</td> <td>・ 施ゆう ※ 標準 ・ 無ゆう ・ 特注</td> </tr> <tr> <td>・ I類 ・ II類 ・ III類</td> <td></td> <td>・ 内装 ・ 壁 ・ 床</td> <td>・ モザイク ・ ユニット</td> <td>・ 施ゆう ※ 標準 ・ 無ゆう ・ 特注</td> </tr> </table> <p>(I類：磁器質、II類：せっ器質、III類：陶器質)</p> <p>タイルの役物 ※ 使用する タイル(内装タイル)の面取り ※ 50mm角以上使用する ・ 使用しない 試験張り ※ 行わない ・ 行う 見本焼き ※ 行わない ・ 行う 内装タイル張りの工法 ※ 壁タイル接着剤張り ・ 改良積上げ張り 《 6. 16. 3.5》《表6. 16. 5》</p>	区分	形状寸法	用途区分	うわぐすり	色	・ I類 ・ II類 ・ III類		・ 内装 ・ 壁 ・ 床	・ モザイク ・ ユニット	・ 施ゆう ※ 標準 ・ 無ゆう ・ 特注	・ I類 ・ II類 ・ III類		・ 内装 ・ 壁 ・ 床	・ モザイク ・ ユニット	・ 施ゆう ※ 標準 ・ 無ゆう ・ 特注					
区分	形状寸法	用途区分	うわぐすり	色																		
・ I類 ・ II類 ・ III類		・ 内装 ・ 壁 ・ 床	・ モザイク ・ ユニット	・ 施ゆう ※ 標準 ・ 無ゆう ・ 特注																		
・ I類 ・ II類 ・ III類		・ 内装 ・ 壁 ・ 床	・ モザイク ・ ユニット	・ 施ゆう ※ 標準 ・ 無ゆう ・ 特注																		
20. 仕上塗材仕上げ	種類	呼び名	仕上の形状	工法																		
	薄付け 仕上塗材	○ 内装薄塗材E	・ 砂壁状(砂)	※ 吹付け ・																		
	《表15. 5. 1~2》																					

18. 塗装工事	1. 一般事項	着手前に塗料規格その他を記入した施工要領書及び見本塗りを提出し、監督員の承認を受ける。 塗料業者は、日本塗料工業会の会員とする。 塗装工事で用いる塗料中のVOC含有量については、原則として以下のとおりとする。ただし、これによりがたいものとして設計図面に明示してあるものを除く。 ①屋内で使用される塗料については、VOC含有量1%以下の水系塗料とする。 ②屋外で使用される塗料については、水系塗料が使用できるものは水系塗料を、水系塗料が使用できないものについては弱溶剤系塗料とする。																																												
	2. VOC対策																																													
3. 錆止め塗料塗り	《 7. 2. 3~4》《 7. 3. 2~3》《表7. 2. 2~3》《表7. 3. 1~4》	<table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>塗装種別</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>新規</td> <td>※ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>※ A種(見え掛り) ※ B種(見え隠れ) ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ※ RA種(その他) ・ RB種 ・ RC種(鋼製建具)</td> <td>・ A種 ・ B種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>新規</td> <td>※ RA種(鋼製建具) ・ B種(その他) ・ C種</td> <td>※ B種(その他) ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ・ B種 ※ C種</td> </tr> </table> <p>鉄鋼面錆止め塗料の種別 (EP-6以外の場合) ※ A種 ・ B種 (EP-6の場合) ・ A種 ※ B種</p> <p>亜鉛めっき面錆止め塗料の種別 (EP-6以外の場合) ※ A種 ・ B種 ・ C種 (EP-6の場合) ・ A種 ・ B種 ※ C種</p>	下地	種別	下地調整	塗装種別	鉄鋼面	新規	※ RA種 ・ RB種 ・ RC種	※ A種(見え掛り) ※ B種(見え隠れ) ・ C種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ※ RA種(その他) ・ RB種 ・ RC種(鋼製建具)	・ A種 ・ B種 ※ C種	亜鉛めっき面	新規	※ RA種(鋼製建具) ・ B種(その他) ・ C種	※ B種(その他) ・ C種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ・ B種 ※ C種																								
	下地	種別	下地調整	塗装種別																																										
鉄鋼面	新規	※ RA種 ・ RB種 ・ RC種	※ A種(見え掛り) ※ B種(見え隠れ) ・ C種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ※ RA種(その他) ・ RB種 ・ RC種(鋼製建具)	・ A種 ・ B種 ※ C種																																											
亜鉛めっき面	新規	※ RA種(鋼製建具) ・ B種(その他) ・ C種	※ B種(その他) ・ C種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ・ B種 ※ C種																																											
4. 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	《 7. 2. 2~4》《 7. 4. 1~5》《表7. 2. 1~3》《表7. 4. 1~3》	<table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>塗装工程種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>新規</td> <td>※ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>※ A種(外部) ※ B種(内部) ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>新規</td> <td>錆止め塗料塗りによる</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>錆止め塗料塗りによる</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>新規</td> <td>錆止め塗料塗りによる</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>錆止め塗料塗りによる</td> <td>※ A種(鋼製建具) ※ B種(その他) ・ C種</td> </tr> </table>	下地	種別	下地調整	塗装工程種別	木部	新規	※ RA種 ・ RB種 ・ RC種	※ A種(外部) ※ B種(内部) ・ C種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種	鉄鋼面	新規	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種	亜鉛めっき面	新規	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	錆止め塗料塗りによる	※ A種(鋼製建具) ※ B種(その他) ・ C種																
	下地	種別	下地調整	塗装工程種別																																										
木部	新規	※ RA種 ・ RB種 ・ RC種	※ A種(外部) ※ B種(内部) ・ C種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
鉄鋼面	新規	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
亜鉛めっき面	新規	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	錆止め塗料塗りによる	※ A種(鋼製建具) ※ B種(その他) ・ C種																																											
5. つや有り合成樹脂エポキシペイント塗り(EP-6)	《 7. 2. 2~7》《 7. 9. 1~5》《表7. 2. 1~7》《表7. 9. 1~4》	<table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>塗装種別</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>新規</td> <td>錆止め塗料塗りによる</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>錆止め塗料塗りによる</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>新規</td> <td>錆止め塗料塗りによる</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>錆止め塗料塗りによる</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート、ALC面、押出成形材の板面</td> <td>新規</td> <td>※ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プラスチック面</td> <td>新規</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>石膏ボード、石こうボード面</td> <td>新規</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> </table> <p>新規塗りの石こうボード、その他のボードの継目処理工法の場合の下地調整はRA種とする。</p>	下地	種別	下地調整	塗装種別	鉄鋼面	新規	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種	亜鉛めっき面	新規	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種	コンクリート、ALC面、押出成形材の板面	新規	※ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種	モルタル、プラスチック面	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種	石膏ボード、石こうボード面	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種
	下地	種別	下地調整	塗装種別																																										
鉄鋼面	新規	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
亜鉛めっき面	新規	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	錆止め塗料塗りによる	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
コンクリート、ALC面、押出成形材の板面	新規	※ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
モルタル、プラスチック面	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
石膏ボード、石こうボード面	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
6. 合成樹脂エポキシペイント塗り(EP)	《 7. 2. 5~7》《 7. 10. 1~2》《表7. 2. 4~7》《表7. 10. 1》	<table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>塗装種別</th> </tr> <tr> <td>コンクリート、ALC面、押出成形材の板面</td> <td>新規</td> <td>※ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プラスチック面</td> <td>新規</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>石膏ボード、石こうボード面</td> <td>新規</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> </table> <p>新規塗りの石こうボード、その他のボードの継目処理工法の場合の下地調整はRA種とする。</p>	下地	種別	下地調整	塗装種別	コンクリート、ALC面、押出成形材の板面	新規	※ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種	モルタル、プラスチック面	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種	石膏ボード、石こうボード面	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																
	下地	種別	下地調整	塗装種別																																										
コンクリート、ALC面、押出成形材の板面	新規	※ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
モルタル、プラスチック面	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
石膏ボード、石こうボード面	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
7. 合成樹脂エポキシ樹脂塗料塗り(EP-T)(屋内)	《 7. 2. 5~7》《 7. 11. 1~2》《表7. 2. 4~7》《表7. 11. 1》	<table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>塗装種別</th> </tr> <tr> <td>コンクリート、ALC面</td> <td>新規</td> <td>※ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プラスチック面</td> <td>新規</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>石膏ボード、石こうボード面</td> <td>新規</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種</td> </tr> </table> <p>塗替えは既存塗膜が平滑の場合とする。 新規塗りの石こうボード、その他のボードの継目処理工法の場合の下地調整はRA種とする。</p>	下地	種別	下地調整	塗装種別	コンクリート、ALC面	新規	※ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種	モルタル、プラスチック面	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種	石膏ボード、石こうボード面	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																
	下地	種別	下地調整	塗装種別																																										
コンクリート、ALC面	新規	※ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
モルタル、プラスチック面	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
石膏ボード、石こうボード面	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種 ・ C種																																											
8. 外壁塗装(L)	《 7. 2. 2》《 7. 5. 1~2》《表7. 2. 1》《表7. 5. 1》	<table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>塗装種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>新規</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> </table>	下地	種別	下地調整	塗装種別	木部	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種																																
	下地	種別	下地調整	塗装種別																																										
木部	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種																																											
9. 外壁樹脂72塗り(UC)	《 7. 2. 2》《 7. 12. 1~2》《表7. 2. 1》《表7. 12. 1》	<table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>塗装種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>新規</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※ RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※ B種</td> </tr> </table>	下地	種別	下地調整	塗装種別	木部	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種		塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種																																
	下地	種別	下地調整	塗装種別																																										
木部	新規	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種																																											
	塗替え	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種	・ A種 ※ B種																																											
18. 耐震補修工事	1. 連続縦線シート補強工事	ひび割れ部の改修は、Uカットシール材充填工法とする。 隅内面は面取りを行う。(R=30mm) 連続縦線シートの継手水平方向には200mmの重ねしろを設け、継手位置は千鳥配置とする。 上下方向の重ねしろは0mmとする。 連続縦線シートは、炭素繊維シート(高強度タイプ、目付量200g/㎡)とし、繊維厚さは0.111mmとする。 連続縦線シート補強材の強度試験 引張強度試験 ○ 行う ・ 行わない 付着強度試験 ○ 行う ・ 行わない 試験数量は監督員の指示による。 仕上げ モルタル仕上げとする。																																												
	2. 耐震スリット設置工事	スリット工事部の露出鉄筋には、防錆処理(錆転換型プライマー塗布)をおこなう。																																												
3. 外壁化粧部改修	1. 外壁改修前に既設外壁面・庇上裏面全てにおいて、目視・打診による調査を行うこと。 2. 事前調査により、見つかったひび割れモルタル厚さ等のマーキング・計測を行い、壁面の劣化状況の図面を作成する。 3. 事前調査により見つかった劣化部分については監督員と協議し、改修方法を検討する。																																													
	4. アスベストばく露防止対策等の指示																																													

22. 屋内空気中化学物質濃度測定	1. 測定対象化学物質	※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※ステレン																
	2. 測定対象室	※ 箇所(室名)) ・ 箇所(室名)) ・ 箇所(室名))																
3. 測定方法	(1) 測定時期	工事が完了したことを監督員が確認し、関連工事(設備工事を含む)が終了した時点で、家具等の備品が撤入される前に行う。 次の①及び②を確認して、測定対象化学物質全てを同時に測定する。 ① 内装又は塗装等の施工が終了していること。 ② 中央空調設備のように換気を行っていない空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していること。																
	(2) 測定方法	パンプ型採取機器を用いて、次の要領で行う。 ① 30分換気 測定対象室のすべての窓及び扉(作り付け家具、挿入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分換気する。 ② 5時間閉鎖 換気後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、作り付け家具、挿入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 採取時間は、原則24時間とする。ただし、工程の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時~3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分~18時30分までの時間帯で測定する。 注：①②③において、換気設備又は空調設備は稼働させたまとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたまとする。																
4. 報告内容	測定後、次の内容で報告書を作成し、監督員に提出する。 建築物概要 測定場所概要(床面積、測定位置、仕上材データ) 試料採取日の気温・湿度の測定記録 検査結果(分析機関の検査票等) 写真等																	
	5. 化学物質測定濃度指針値	<table border="1"> <tr> <th>測定対象化学物質</th> <th>厚生労働省の指針値(25℃の場合)</th> </tr> <tr> <td>ホルムアルデヒド</td> <td>0.08ppm (100µg/m³)</td> </tr> <tr> <td>トルエン</td> <td>0.07ppm (260µg/m³)</td> </tr> <tr> <td>キシレン</td> <td>0.20ppm (870µg/m³)</td> </tr> <tr> <td>エチルベンゼン</td> <td>0.88ppm (3,800µg/m³)</td> </tr> <tr> <td>ステレン</td> <td>0.05ppm (220µg/m³)</td> </tr> </table>	測定対象化学物質	厚生労働省の指針値(25℃の場合)	ホルムアルデヒド	0.08ppm (100µg/m³)	トルエン	0.07ppm (260µg/m³)	キシレン	0.20ppm (870µg/m³)	エチルベンゼン	0.88ppm (3,800µg/m³)	ステレン	0.05ppm (220µg/m³)				
測定対象化学物質	厚生労働省の指針値(25℃の場合)																	
ホルムアルデヒド	0.08ppm (100µg/m³)																	
トルエン	0.07ppm (260µg/m³)																	
キシレン	0.20ppm (870µg/m³)																	
エチルベンゼン	0.88ppm (3,800µg/m³)																	
ステレン	0.05ppm (220µg/m³)																	
6. 測定結果が厚生労働省の指針値を超えた場合の措置	測定結果が厚生労働省の指針値を超えた場合は、発露源を特定し、換気等の措置を講じ、指針値以下となるよう濃度の低下に努め、再度測定する。																	
	7. 換気の助行	屋内空気中化学物質濃度を低減させるため、塗装工事、内装工事等の施工後は、窓を開放するなど、換気を十分行う。																
I 共通事項	1. 基本事項	アスベスト含有建材(アスベストを重量の0.1%を超えて含有する石綿・岩綿その他の吹付け材、保温材及び成形板等の建材)の処理は他の工事に先立って行うこと。処理にあたっては建築基準法、建設業法等を遵守する他、労働安全衛生法や石綿障害予防規則、大気汚染防止法、作業環境測定法等を始めとする関係法令、関係条例及び厚生労働省告示、通達等を遵守し作業に当たること。 またアスベスト粉じんの飛散による大気汚染の防止を図るとともに、作業従事者を始めとする工事関係者及び第三者の健康、安全を確保し、処理工事後のアスベスト汚染を防止すること。廃棄物の運搬及び処分にあたっては、「廃棄物の処理及び収集、清掃に関する法律」を遵守し適切に行うこと。 施工に先がけ事前にアスベスト含有建材の①使用部位の確認 ②種別(製品名、製造所、製造年等)、厚さ等の確認 ③更衣施設等の仮設計画(アスベスト含有吹付け材のみ)④使用数量の確認(アスベスト含有吹付け材を除く)⑤施工範囲と工事管理区分の確認 ⑥廃棄物等の搬出方法について、調査検討を行い結果を図面により監督員に提出する。 アスベスト含有の調査 ・ 行わない ・ 行う() < 9. 1. 1>																
	2. 施工調査	濃度測定を行う場合は、次の要件を満たす専門測定機関による。 ①都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関又は、これと同等の技術を有する者 ②アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士又は、これと同等以上の技術を有する者 測定方法については「JIS K-3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法」による。 ※ 位相差顕微鏡法 ・ 位相差分数量微鏡法、測定の対象は、アクチノライト、アモサイト、アンソファイト、クリソタイル、クロソライト、及びトシモライトの6種類とする。 試料の収集方法については下表による。																
3. アスベスト粉じん濃度の測定方法等	測定方法は、図面又は監督員の指示により、測定高さは床から150cmを原則とする。 測定7は、負圧・除じん装置で除じんを充分に吸引し過したか、又は粉じん飛散抑制剤吹付け後、噴霧した粉じん飛散抑制剤が沈殿したと思われる時期に実施する。 次の項目について記録し報告書を監督員に(※2部 ・ 部) 提出する。 ①測定結果②測定時間③測定位置(測定高さとともに図面に記載する。) ④サンプリング条件(ポンプの口径、吸引時間、吸引空気量)⑤マウンティング方法 ⑥顕微鏡視野面積、計数視野数⑦測定時(各測定場所毎)の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向 ⑧労働安全衛生法・石綿障害予防規則及び大気汚染防止法に基づく届出をした場合は、届出が行われていること及びアスベストのばく露防止対策及び飛散防止対策の実施内容を、関係労働者のみならず周辺住民へも周知するために作業現場の見やすいところに掲示すること。 ⑨ 石綿障害予防規則の届出を要しないが、アスベスト処理工事を行う場合は、アスベストのばく露防止対策及び飛散防止対策の実施内容を同様に掲示すること。 ⑩ アスベスト処理工事を行わない場合は、アスベストが使用されていないことを同様に掲示すること。	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>測定 3</th> <th>測定 1, 2, 4, 5, 7</th> <th>測定 6, 8</th> </tr> <tr> <td>メンブレンフィルタの直径(mm)</td> <td colspan="2">25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/分)</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(分)</td> <td>5</td> <td>120</td> <td>240</td> </tr> </table>	項目	測定 3	測定 1, 2, 4, 5, 7	測定 6, 8	メンブレンフィルタの直径(mm)	25		47	試料の吸引流量(L/分)	1	5	10	試料の吸引時間(分)	5	120	240
	項目	測定 3	測定 1, 2, 4, 5, 7	測定 6, 8														
メンブレンフィルタの直径(mm)	25		47															
試料の吸引流量(L/分)	1	5	10															
試料の吸引時間(分)	5	120	240															
4. アスベストばく露防止対策等の指示	濃度測定を行う場合は、次の要件を満たす専門測定機関による。 ①都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関又は、これと同等の技術を有する者 ②アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士又は、これと同等以上の技術を有する者 測定方法については「JIS K-3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法」による。 ※ 位相差顕微鏡法 ・ 位相差分数量微鏡法、測定の対象は、アクチノライト、アモサイト、アンソファイト、クリソタイル、クロソライト、及びトシモライトの6種類とする。 試料の収集方法については下表による。																	
	測定方法は、図面又は監督員の指示により、測定高さは床から150cmを原則とする。 測定7は、負圧・除じん装置で除じんを充分に吸引し過したか、又は粉じん飛散抑制剤吹付け後、噴霧した粉じん飛散抑制剤が沈殿したと思われる時期に実施する。 次の項目について記録し報告書を監督員に(※2部 ・ 部) 提出する。 ①測定結果②測定時間③測定位置(測定高さとともに図面に記載する。) ④サンプリング条件(ポンプの口径、吸引時間、吸引空気量)⑤マウンティング方法 ⑥顕微鏡視野面積、計数視野数⑦測定時(各測定場所毎)の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向 ⑧労働安全衛生法・石綿障害予防規則及び大気汚染防止法に基づく届出をした場合は、届出が行われていること及びアスベストのばく露防止対策及び飛散防止対策の実施内容を、関係労働者のみならず周辺住民へも周知するために作業現場の見やすいところに掲示すること。 ⑨ 石綿障害予防規則の届出を要しないが、アスベスト処理工事を行う場合は、アスベストのばく露防止対策及び飛散防止対策の実施内容を同様に掲示すること。 ⑩ アスベスト処理工事を行わない場合は、アスベストが使用されていないことを同様に掲示すること。																	

大森営業所耐震改修その他工事(建築工事)	図面名	特記仕様書3	No.特3 3枚の内 平成25年4月																															
	縮尺	—	設計 単位 M M 担当 尾崎																															
名古屋市交通局営繕課																																		
IV. 72%以上含有成形板の処理	1. 処理を行う72%以上含有成形板等の仕様等	<table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td>ビニル床材</td> <td>2.0</td> <td>※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟床:353㎡)</td> </tr> <tr> <td>ガラスボード(壁 下地張り)</td> <td>12.0</td> <td>※図示(事務運転発車室 壁:2.9㎡)</td> </tr> <tr> <td>付随板(床板(壁))</td> <td>6.0</td> <td>※図示(事務運転発車室 壁:2.9㎡)</td> </tr> <tr> <td>ガラスボード(天井)</td> <td>9.0</td> <td>※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟 天井:234㎡)</td> </tr> <tr> <td>72%以上含有成形板</td> <td>6.0</td> <td>※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟 天井:55㎡)</td> </tr> <tr> <td>ガラスボード(天井 下地張り)</td> <td>9.0</td> <td>※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟 天井:246㎡)</td> </tr> <tr> <td>岩綿吸音板(天井)</td> <td>9.0</td> <td>※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟 天井:246㎡)</td> </tr> </table>	材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲	ビニル床材	2.0	※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟床:353㎡)	ガラスボード(壁 下地張り)	12.0	※図示(事務運転発車室 壁:2.9㎡)	付随板(床板(壁))	6.0	※図示(事務運転発車室 壁:2.9㎡)	ガラスボード(天井)	9.0	※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟 天井:234㎡)	72%以上含有成形板	6.0	※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟 天井:55㎡)	ガラスボード(天井 下地張り)	9.0	※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟 天井:246㎡)	岩綿吸音板(天井)	9.0	※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟 天井:246㎡)								
	材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲																															
ビニル床材	2.0	※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟床:353㎡)																																
ガラスボード(壁 下地張り)	12.0	※図示(事務運転発車室 壁:2.9㎡)																																
付随板(床板(壁))	6.0	※図示(事務運転発車室 壁:2.9㎡)																																
ガラスボード(天井)	9.0	※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟 天井:234㎡)																																
72%以上含有成形板	6.0	※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟 天井:55㎡)																																
ガラスボード(天井 下地張り)	9.0	※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟 天井:246㎡)																																
岩綿吸音板(天井)	9.0	※図示(営業所-校車庫棟、整備庫棟 天井:246㎡)																																
2. アスベスト粉じん濃度測定	※ アスベスト粉じん濃度測定を行わない。 ・ アスベスト粉じん濃度測定を行う。 測定時期、測定場所については下表による。	<table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定名称</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各処理作業ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td>・ 測定1</td> <td>処理作業室内</td> <td>(注1)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 測定2</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計2点</td> <td>大気</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td>・ 測定3</td> <td>処理作業室内</td> <td>(注1)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>※ 測定6</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td>大気</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理作業後</td> <td>※ 測定7</td> <td>処理作業室内</td> <td>(注1)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 測定8</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td>大気</td> </tr> </table> <p>(注1) 処理作業室の床面積が50㎡以下の場合は1点、200㎡までの場合は2点、200㎡を超える場合は100㎡ごと及びその倍数につき1点追加する。</p>	測定時期	測定名称	測定場所	測定点(各処理作業ごと)	備考	処理作業前	・ 測定1	処理作業室内	(注1)	—	・ 測定2	施工区画周辺又は敷地境界	計2点	大気	処理作業中	・ 測定3	処理作業室内	(注1)	—	※ 測定6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	大気	処理作業後	※ 測定7	処理作業室内	(注1)	—	・ 測定8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	大気
測定時期	測定名称	測定場所	測定点(各処理作業ごと)	備考																														
処理作業前	・ 測定1	処理作業室内	(注1)	—																														
	・ 測定2	施工区画周辺又は敷地境界	計2点	大気																														
処理作業中	・ 測定3	処理作業室内	(注1)	—																														
	※ 測定6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	大気																														
処理作業後	※ 測定7	処理作業室内	(注1)	—																														
	・ 測定8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	大気																														
3. 作業管理者等	石綿作業主任者技能講習修了者又は特定化学物質作業主任者の有資格者から、石綿作業主任者を選任し、この者を作業管理者としアスベスト含有成形板等の処理工事の管理を行う。 処理作業従事者は石綿障害予防規則27条による特別の教育を受けた者とする。																																	
4. その他	「公共建築改修工事標準仕様書」< 9. 1. 5>による。 出来高検査、完了検査時に、撤去したアスベスト含有成形板等の処理に係る廃棄物管理票(マニフェスト)総括表を提出する。																																	
5. PCB含有樹脂系塗料の処理	・ PCB含有樹脂系塗料の除去(除去部分は設計図書による。) 除去方法 日本シーリング材工業会のPCB含有樹脂系塗料の除去工事「標準施工要領書(暫定案)」に準じ、密封できるように保管し、施設管理者に引き継ぐものとする。 下記製造工場で製造された廃石膏ボードの有無を確認し、該当する場合は管理型又は遮断型最終処分場で処分を行うと共に、特別産業廃棄物管理票(マニフェスト)に製造会社及びJISの許可番号を記入し、写真を添えて監督員に報告する。また、メーカー引取りとする場合は監督員と協議する。 ①小名浜石膏石膏(株)いわき工場(吉野石膏OY 商品名タイガーボード：磁素含有のため)昭和48年~平成9年4月に製造されたもの(JIS許可番号277057、277058) ②日東石膏ボード㈱八戸工場(商品名 アドラセッコウボード：カドミウム含有のため)平成4年10月~平成9年4月に製造されたもの(JIS許可番号265024、265023)																																	
6. 廃石膏ボード処理時の注意点																																		

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図名	配属図・付近見取図	枚数	No. 1
		設計	平成25年 4月
縮尺	1/300	単位	MM
		指図	尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



<大森営業所概要>

敷地状況	
所在地	名古屋市守山区脇田町1801番地
敷地面積	11,973.25 m ²
建築面積	2,487.657 m ²
延べ面積	4,162.480 m ²

施設概要

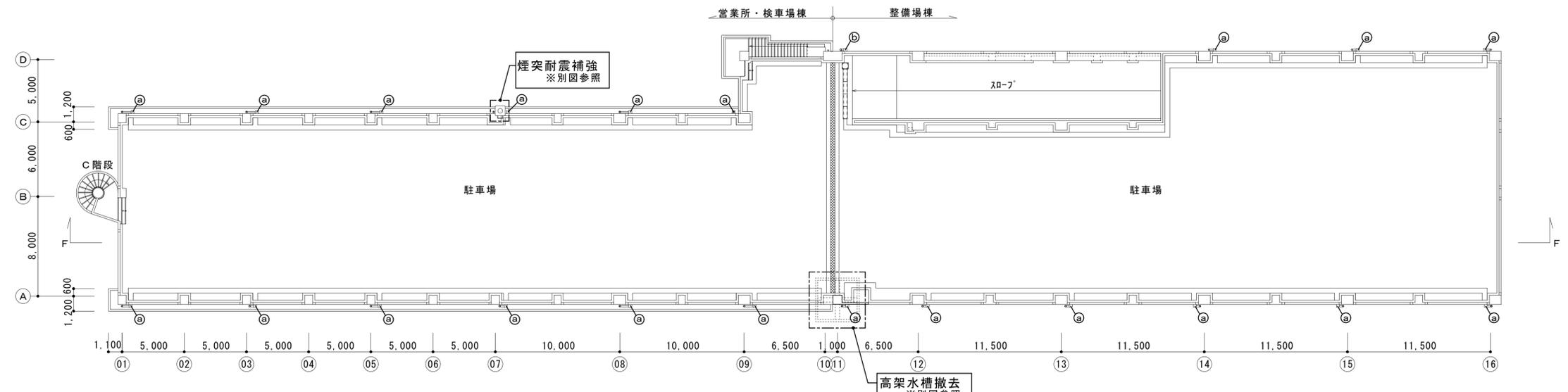
施設名	構造	仕様	延べ面積
営業所・検車場棟 及び整備場棟	RC造	RC造及びSRC造 地上2階建、斜路共	2,185.360 m ²
		1階	1,965.892 m ²
		2階	1,894.291 m ²
		計	3,860.183 m ²
洗車場上屋	S造	平屋建	207.000 m ²
構内詰所	CB造	屋根RC造 平屋建	29.197 m ²
油庫	CB造	平屋建	20.160 m ²
給油所上屋	S造	平屋建	18.800 m ²
処理場機械室	RC造	平屋建	20.000 m ²
自転車置場	S造	平屋建	7.140 m ²

配置図 S=1:300

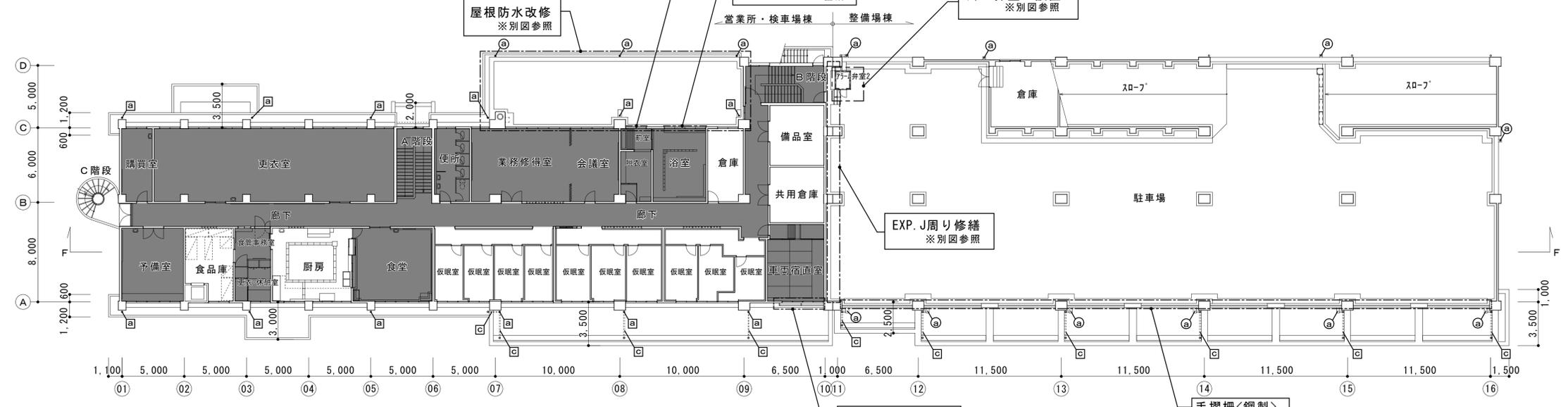
<注 記>
 以下の場所に設置する外部足場には、養生防護柵を設置すること。
 ・営業所・検車場棟及び整備場棟 北側面（約121m）
 ・営業所・検車場棟 ①通～⑦通 南側面（約32m）



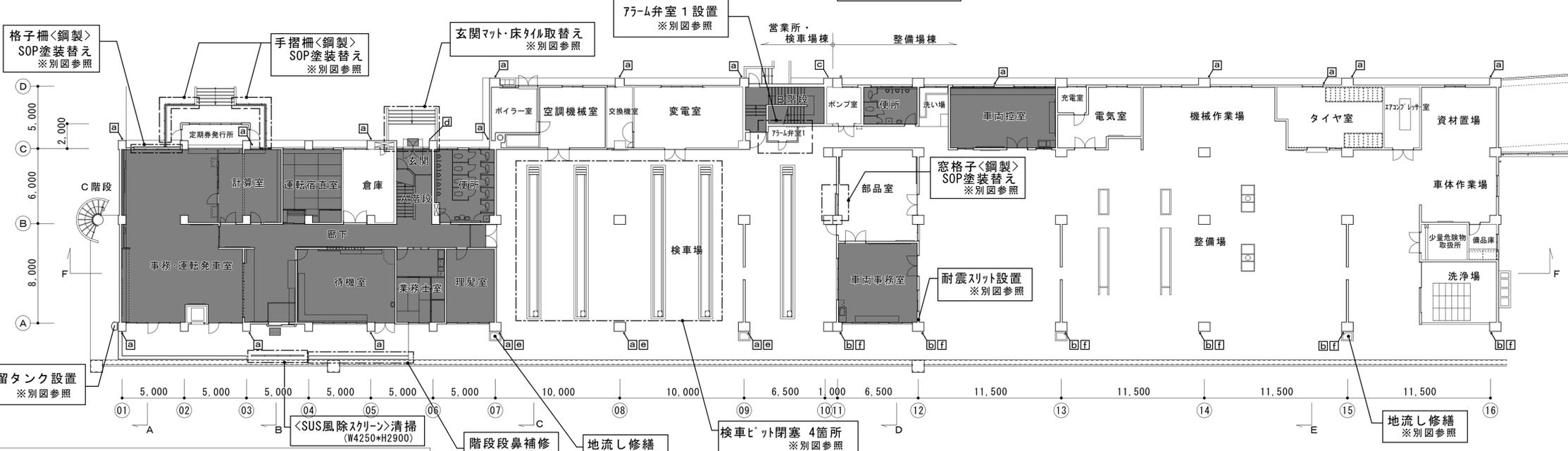
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	営業所・検車場棟及び整備場棟 各階平面図	枚数	No. 2 57枚の内
縮尺	1/200	設計	平成25年4月
		単位	MM 担当 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



営業所・検車場棟及び整備場棟 R階平面図 S=1:200



営業所・検車場棟及び整備場棟 2階平面図 S=1:200



営業所・検車場棟及び整備場棟 1階平面図 S=1:200

<凡例>

■ : 内装改修箇所

- 縦樋VP100φ取替え ※
 - Ⓐ 縦樋VP100φ取替え ※ (蓋付飾り柵共)
 - Ⓑ 縦樋VP125φ取替え ※
 - Ⓒ 縦樋VP125φ取替え ※ (蓋付飾り柵共)
 - Ⓓ 呼樋・縦樋VP75φ取替え ※
 - Ⓔ 縦樋VP50φ取替え ※
 - Ⓕ <養生管 外径139.8φ L2500> SOP塗装替え
 - Ⓖ <養生管 外径165.2φ L2700> SOP塗装替え
- ※ 新設するVP管はカ-製品とする。

<注記>

- ・ <>は既設を示す。
- ・ R階及び2階駐車場排水ドレン(横引き)清掃のこと。
- R階：22箇所
- 2階：9箇所

外装仕上表											
区分	既設仕上	改修方法	改修仕上	区分	既設仕上	改修方法	改修仕上	区分	既設仕上	改修方法	改修仕上
屋根 (屋上駐車場)	豆砂利コンクリート金コブ(アスファルト防水) (柱型)モルタル塗り刷毛引アクリルシン吹付 (手摺壁)モルタル塗り刷毛引アクリルシン吹付	既設のまま 高圧洗浄の上 下地処理 高圧洗浄の上 下地処理	複層塗材E塗替え 複層塗材E塗替え	庇	モザイクタイル モルタル塗の上、吹付タイル (庇裏)コンクリート打放しの上、アクリルシン吹付	高圧洗浄 高圧洗浄の上 下地処理 高圧洗浄の上 下地処理	複層塗材E塗替え 外装薄塗材E塗替え	玄関	(庇)小口タイル (庇)モルタル塗の上、吹付タイル (庇裏)コンクリート打放しの上、アクリルシン吹付 (床)108角タイル SUS玄関マット	高圧洗浄 高圧洗浄の上 下地処理 高圧洗浄の上 下地処理 撤去 撤去	複層塗材E塗替え 外装薄塗材E塗替え 磁器質100角タイル張り ノンスリップ SUS玄関マット
屋根 (北側1F屋根)	豆砂利コンクリート 防水モルタル塗(アスファルト防水) (パベットの)防水モルタル塗り	高圧洗浄の上 下地処理 高圧洗浄の上 下地処理	改質アスファルト防水(AS-4) 塗膜防水X-2	屋外階段	コンクリート打放し シリコン吹付 (柱型)コンクリート打放し シリコン吹付 (手摺)鋼管φ34φ	高圧洗浄の上 下地処理 高圧洗浄の上 下地処理 下地調整	複層塗材E塗替え 複層塗材E塗替え SOP塗装替え	定期券 発行所周り	(庇)モルタル塗の上、吹付タイル (庇裏)コンクリート打放しの上、吹付タイル (手摺欄)鋼製	高圧洗浄の上 下地処理 高圧洗浄の上 下地処理 下地調整	複層塗材E塗替え 複層塗材E塗替え (手摺欄)SOP塗装替え
外壁	モルタル塗り刷毛引アクリルシン吹付 (柱型)コンクリート打放し シリコン吹付 (巾木)モルタル塗り	高圧洗浄の上 下地処理 高圧洗浄の上 下地処理 高圧洗浄	複層塗材E塗替え 複層塗材E塗替え	タテ樋 (蓋付飾り共)	硬質塩化ビニル製 (養生管)鋼管	撤去 下地調整	硬質塩化ビニル製(VPカラー製品) (養生管)SOP塗装替え	風除スクリーン	ステンレス製 線入トメイガラスト6.8	清掃	

大森営業所耐震改修その他工事 (建築工事)			
図面名	営業所・検車場棟、整備場棟 仕上表1	枚数	No. 3
		設計	平成25年4月
縮尺	-	単位	MM 担当 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			

内装仕上表											
室名	区分	床	巾木	腰壁	壁	天井	天井高	備考			
事務・ 運転発車室	1階	既設仕上	ビニル床タイル t2.0	ビニル巾木 H=100	モルタル塗り EP PB t9.0下地 ケイ酸カルシウム板 t6.0 EP 押出成形セメント板 EP、半磁器75角タイル	▽	PB t9.0下地 岩綿吸音板t9.0 目地無し	2.700	〈付鴨居〉SOP塗替 点呼カウンター改修、鋼製格子柵設置 流し台W1500・吊戸棚 撤去の上、新設 (北側外部)〈格子柵〉SOP塗替 〈金庫1・2〉一時移設		地袋撤去 黒板撤去 W3000*H900
		改修方法	仕上撤去 下地補修	撤去	下地調整 タイル面：水洗い	▽	撤去 (LGS下地共)				
		改修仕上	ビニル床タイル t2.0	ビニル巾木 H=100貼替	EP-G塗替	▽	LGS下地 化粧PB t9.5	2.700	ブライント 新設 W1810*H2100 1ヶ所 W1690*H2100 2ヶ所 W1840*H2100 2ヶ所 W2320*H2100 1ヶ所		既設ブライント 撤去 6ヶ所
計算室	1階	既設仕上	ビニル床タイル t2.0	ビニル巾木 H=100	モルタル塗り EP PB t9.0下地 ケイ酸カルシウム板 t6.0 EP	▽	PB t9.0 目透張り EP(フロン仕上) PB t9.0下地 岩綿吸音板t9.0 目地無し	2.700	〈付鴨居〉SOP塗替		掲示板撤去 W900*H1100
		改修方法	仕上撤去 下地補修	撤去	下地調整	▽	撤去 (LGS下地共)				
		改修仕上	ビニル床タイル t2.0貼替	ビニル巾木 H=100貼替	EP-G塗替	▽	LGS下地 化粧PB t9.5	2.700			既設ブライント 撤去 2ヶ所
車両直直室	1階	既設仕上	畳敷き ビニル床タイル t2.0	畳寄 木製巾木 H=100	モルタル塗り シュウカチン吹付 PB t12.0 シュウカチン吹付	▽	化粧PB t9.0 敷目板張り	2.480 2.700	〈木部見え掛り〉CL塗装 クマ部閉塞		
		改修方法	畳表替え ビニル床タイル面：仕上撤去 下地補修	清掃 巾木：下地調整	下地調整	▽	撤去 (木下地共)		〈下足入〉CL塗替		
		改修仕上	ビニル床タイル t2.0貼替	巾木：SOP塗装		▽	LGS下地 化粧PB t9.5(和室用)	2.480 2.700	遮光カーテン新設 W1750*H2300 1ヶ所 W1670*H2300 1ヶ所		既設ブライント 撤去 2ヶ所
待機室	1階	既設仕上	せつき質108角タイル	モルタル巾木 H=75	モルタル塗り EP 半磁器75角タイル	▽	PB t9.0下地 岩綿吸音板t9.0 目地無し	2.700	〈付鴨居〉SOP塗替 〈木製ベンチ〉塗装替え		木製テレビ台撤去
		改修方法	水洗い	下地調整	下地調整 タイル面：水洗い	▽	撤去 (LGS下地共)		ブライント 新設 W1640*H2100 2ヶ所 W 990*H2100 1ヶ所		既設ブライント 撤去 3ヶ所
		改修仕上		EP-G塗装	EP-G塗替	▽	LGS下地 化粧PB t9.5	2.700			
業務士室	1階	既設仕上	畳敷き	畳寄	モルタル塗り シュウカチン吹付 PB t12.0 シュウカチン吹付	▽	化粧PB t9.0 敷目板張り	2.480	〈木部見え掛り〉CL塗装		
		改修方法	畳表替え	清掃	下地調整	▽	撤去 (木下地共)		ブライント 新設 W1640*H2100 1ヶ所		既設ブライント 撤去 1ヶ所
		改修仕上			内装薄塗材E	▽	LGS下地 化粧PB t9.5(和室用)	2.480			
業務士室 (前室)	1階	既設仕上	磁器質25角モザイクタイル	半磁器75角タイル H=75	モルタル塗り EP PB t12.0 EP 半磁器75角タイル	▽	7スベストラックス t6.0 目透張り EP(フロン仕上)	2.750	〈付鴨居〉SOP塗替 〈建具WW-3〉閉塞		SUS水槽撤去 吊戸棚撤去
		改修方法	水洗い	撤去	下地調整 タイル面：水洗い	▽	撤去 (LGS下地共)		流し台W1200撤去の上、新設		
		改修仕上		陶器質100角タイル H=100張り	EP-G塗替	▽	LGS下地 ケイ酸板t6.0目透し EP-G塗装	2.750			
理髪室	1階	既設仕上	磁器質25角モザイクタイル	セラミックブロック H=100	モルタル塗り EP 半磁器75角タイル	▽	PB t9.0 目透張り EP(フロン仕上)	2.750	〈付鴨居〉SOP塗替		スクリーン撤去 カウンター撤去 地袋撤去
		改修方法	水洗い	水洗い	下地調整 タイル：撤去	▽	撤去 (LGS下地共)				
		改修仕上	一部 磁器質25角モザイクタイル新設	一部 セラミックブロック H=100新設	EP-G塗替 一部 モルタル塗りEP-G塗装	▽	LGS下地 化粧PB t9.5	2.750	ブライント 新設 W1680*H2100 2ヶ所		既設ブライント 撤去 2ヶ所
便所	1階	既設仕上	磁器質25角モザイクタイル		半磁器75角タイル	▽	防水モルタル塗り VP	2.750	面台 笠石取替え トイレノズ撤去の上、新設		
		改修方法	土間コンクリート共撤去		撤去	▽	撤去 (LGS下地共)				
		改修仕上	磁器質50角モザイクタイル張り		陶器質100角タイル張り	▽	LGS下地 ケイ酸板t6.0目透し EP-G塗装	2.750			

共通記号	
表示記号	表示事項
< > P ▽	既設を示す シーリングを示す(仕様は特記による) カウンター入れを示す
R C C B E C P	コンクリート コンクリートブロック 押出成形セメント板
L G S P B ケイ酸板	軽量鉄骨下地 せっこうボード ケイ酸カルシウム板
S O P E P E P-G E P-T V P Z C	合成樹脂調合ペイント塗り 合成樹脂エマルジョンペイント塗り つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り 合成樹脂エマルジョンペイント模様塗塗り 塩化ビニル樹脂エナメル塗り ゾラコート塗り
ジュラク C L U C	ジュラクサテン吹付 クリアラッカー塗り ウレタン樹脂ワニス塗り
S U S H L	ステンレス(304)製 ヘアライン仕上げ
A D A W A G	アルミニウム製出入口戸 アルミニウム製窓 アルミニウム製ガラリ
S D S G	鋼製出入口戸 鋼製ガラリ
W D W W F	木製出入口戸 木製窓 障子・フスマ
T B	トイレブース

注1. 作業工程・仮設計画等については、工事着手前に工事監督員の承諾を得ること。	特 記 事 項	01. 夜間は営業所構内にバス車両を駐車するので、足場等常設仮設物は必要最小限のスペースとする。	18. 雨水貯留タンクは タキロン㈱「雨音くん」200リットル又は同等品とする 19. 7&8ミルハッチは、ABC商会㈱フレクサスL-6又は同等品とする。 20. 21. 22. 23.
注2. バス営業所の運営に支障無き様、工事工程計画は工事監督員と絶えず打合せを行い、出来る限り協力すると共に、工事中危害の防止に努めること。		02. 検車場及び整備場内は夜間にバスを駐車するので、バスが格納できるように施工計画を立て、足場等を設置すること。	
注3. 資材等の搬入出等で工事車両の出入りが多い日は、警備員を配置する等により交通整理を行い、安全確保に努めること。		03. 2F,RF駐車場へのｽｰﾌﾞは車が通行できるように足場等を設置し施工すること。 04. 振動、騒音、粉塵、落下防止等、十分考慮して施工し、工法については監督員と協議のうえ決定すること。 05. 塗装に際しては、周囲に飛散の無いよう、十分にシート等で養生をなし、風向きを考慮して施工すること。 06. 壁塗装替え等で、既設掲示物等取外し可能な物については一時撤去し施工完了後に復旧すること。	
注4. 工事範囲内において、現況物等に損傷を与えた場合は、速やかに復旧し、関係者の承認を受けのこと。以上は全て受注者の負担とする。		07. 電気・給排水設備等の撤去に伴う床・壁・天井の補修は本工事とする。 08. 改修する各部屋の見え掛り既設木部で、特記なき部分は、下地処理の上 SOP塗替すること。 09. 既設仕上で特記なき部分、既設のままの部分は、清掃、洗い出し等すること。 10. 水洗いは、材料の素地に合わせて中性洗剤又は希釈薬品程度の洗いの上、薬剤が残留しないように十分な洗浄を行うこと。	
注5. 特定作業によって発生する騒音については騒音規制に基づき作業を行い、騒音・振動の防止に努めるものとする。		11. 外壁改修は、高圧洗浄(高圧水洗機(加圧力10~25MPa程度)による洗浄)の上、下地処理を行うこと。 12. ビニル床タイル・シート貼替箇所は下地補修材にて下地調整のこと。 13. 天井廻線は、塩ビ製とする。 14. 掲示板は750合板t5.5下地、ビニル貼替・貼、7&8ミル製とする。 15. 室名札は、W200×H80、アクリル製、エナメル書き、平付型とする。 16. 流し台はBL製品とする。 17. ノンスリップテープは㈱リタコテクト「アノレス」製N-002又は同等品とする。	

内装仕上表									
室名	区分	床	巾木	腰壁	壁	天井	天井高	備考	
1階 車両事務室	既設仕上	ビニル床タイル t2.0	ビニル巾木 H=100	モルタル塗り EP 半磁器75角タイル	▽	PB t9.0下地 岩綿吸音板t9.0 目地無し	2.700	流し台W1200撤去の上、新設 耐震スリット設置	
	改修方法	仕上撤去 下地補修	撤去	下地調整 タイル面：水洗い	▽	撤去（LGS下地共）		<地袋>改修	
	改修仕上	ビニル床タイル t2.0貼替	ビニル巾木 H=100貼替	EP-G塗替	▽	LGS下地 化粧PB t9.5	2.700	ブラインド新設 W1860*H2000 3ヶ所	既設ブラインド撤去 3ヶ所
1階 車両控室	既設仕上	ビニル床タイル t2.0	ビニル巾木 H=100	モルタル塗り EP PB t12.0 EP 半磁器75角タイル	▽	PB t9.0下地 岩綿吸音板t9.0 目地無し	2.700	流し台W1400撤去の上、新設 <ペーパー>塗装替え	
	改修方法	仕上撤去 下地補修	撤去	下地調整 タイル面：水洗い	▽	撤去（LGS下地共）		<下足入れ>改修	
	改修仕上	ビニル床タイル t2.0貼替	ビニル巾木 H=100貼替	EP-G塗替	▽	LGS下地 化粧PB t9.5	2.700	ブラインド新設 W1640*H2100 4ヶ所	既設ブラインド撤去 4ヶ所
1階 車両便所	既設仕上	磁器質25角モザイクタイル		半磁器75角タイル		防水モルタル塗り VP	2.720	面台 笠石取替え トイレノース撤去の上、新設	
	改修方法	土間コンクリート共撤去		撤去		撤去		撤去（LGS下地共）	
	改修仕上	磁器質50角モザイクタイル張り		陶器質100角タイル張り		陶器質100角タイル張り	2.720	LGS下地 ケイ酸板t6.0目透し EP-G塗装	
1階 検車場	既設仕上	コンクリート金コシ		モルタル塗り (柱型)コンクリート打放し	▽	木毛モット板t20 白モット吹付	直天	検車ビッド閉塞 4ヶ所 (部品室)<窓格子>SOP塗替	
	改修方法	既設のまま		既設のまま	▽	既設のまま		<地流し>修繕 2ヶ所(整備場地流し含む)	
	改修仕上				▽				
1階 7号-4弁室1	既設仕上	コンクリート金コシ			▽			室名札設置 1ヶ所	黒板撤去 W1500*H1000
	改修方法	既設のまま	壁新設	壁新設	▽	新設			
	改修仕上		コンクリート打放し H=150	無石綿ケイ酸板t8両面張り EP-G塗装 下地：C-75*45*15*2.3@450	▽	無石綿ケイ酸板t8両面張り EP-G塗装 下地：C-75*45*15*2.3@450	2.500		
2階 購買室	既設仕上	ビニル床タイル t2.0	ビニル巾木 H=100	モルタル塗り EP 半磁器75角タイル	▽	PB t9.0 目透張り EP(フロン仕上)	2.700		
	改修方法	仕上撤去 下地補修	撤去	下地調整 タイル面：水洗い	▽	下地調整			
	改修仕上	ビニル床タイル t2.0貼替	ビニル巾木 H=100貼替	EP-G塗替	▽	E P塗替	2.700		
2階 更衣室	既設仕上	ウレタン系塗床	ビニル巾木 H=100	モルタル塗り EP 半磁器75角タイル	▽	PB t9.0 目透張り EP(フロン仕上)	2.700		
	改修方法	下地補修	撤去	下地調整 タイル面：水洗い	▽	下地調整			
	改修仕上	ビニル床シート t2.0貼替	ビニル巾木 H=100貼替	EP-G塗替	▽	E P塗替 一部張替えE P塗装	2.700		
2階 予備室	既設仕上	ビニル床タイル t2.0 畳敷き	ビニル巾木 H=100	モルタル塗り EP 半磁器75角タイル	▽	PB t9.0下地 岩綿吸音板t9.0 目地無し	2.700	<付鴨居>SOP塗替 <地袋>修繕	化粧棚 撤去
	改修方法	仕上撤去 畳表替え	清掃	下地調整 タイル面：水洗い	▽	下地調整			
	改修仕上	ビニル床タイル t2.0貼替		EP-G塗替	▽	E P塗替 一部張替えE P塗装	2.700	遮光カーテン新設 W4360*H2100 1ヶ所	既設ブラインド撤去 3ヶ所
2階 食管事務室	既設仕上	ビニル床タイル t2.0	ビニル巾木 H=100	モルタル塗り EP PB t12.0 EP	▽	75*ストラックス t6.0 目透張り EP(フロン仕上)	2.700	<付鴨居>SOP塗替 <木製棚>SOP塗替	
	改修方法	仕上撤去 下地補修	撤去	下地調整	▽	下地調整			
	改修仕上	ビニル床タイル t2.0貼替	ビニル巾木 H=100貼替	EP-G塗替	▽	EP-G塗替	2.700		
2階 更衣・休憩室	既設仕上	ビニル床タイル t2.0 畳敷き	木製巾木 H=100 畳寄	モルタル塗り ジュラクサテン吹付 PB t12.0 ジュラクサテン吹付	▽	化粧PB t9.0 敷目板張り	2.580 2.700	<木部見え掛り>CL塗装 <下足入>SOP塗替	
	改修方法	仕上撤去 畳表替え	下地調整 畳寄：清掃	下地調整	▽	撤去（木下地共）			
	改修仕上	ビニル床タイル t2.0貼替	巾木：SOP塗装	内装薄塗材E	▽	LGS下地 化粧PB t9.5(和室用)	2.580 2.700	ブラインド新設 W1570*H2100 1ヶ所	既設ブラインド撤去 1ヶ所
2階 便所	既設仕上	磁器質25角モザイクタイル(75*75防水)		半磁器75角タイル		防水モルタル塗り VP	2.720	<トイレノース>一部撤去の上、新設	
	改修方法	水洗い		水洗い		下地調整		下地調整	
	改修仕上			EP-G塗替		EP-G塗替	2.720		

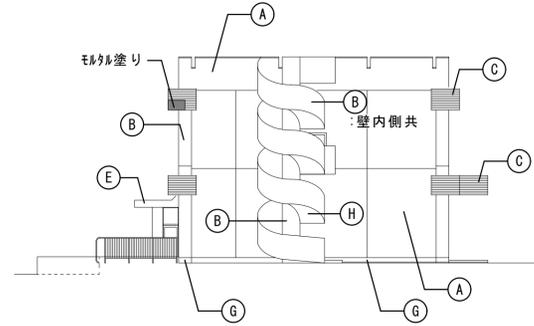
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	営業所・検車場棟、整備場棟	枚数	No. 4
	仕上表2	設計	57枚の内 平成25年4月
縮尺	-	単位	MM 担当 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			

共通記号	
表示記号	表示事項
< > P ▽	既設を示す シーリングを示す(仕様は特記による) カッター入れを示す
R C C B E C P	コンクリート コンクリートブロック 押出成形セメント板
L G S P B ケイ酸板	軽量鉄骨下地 せっこうボード ケイ酸カルシウム板
S O P E P E P-G E P-T V P Z C	合成樹脂調合ペイント塗り 合成樹脂エマルジョンペイント塗り つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り 合成樹脂エマルジョンペイント模様塗料塗り 塩化ビニル樹脂エナメル塗り ゾラコート塗り
ジュラク C L U C	ジュラクサテン吹付 クリアラッカー塗り ウレタン樹脂ワニス塗り
S U S H L	ステンレス(304)製 ヘアライン仕上げ
A D A W A G	アルミニウム製出入口戸 アルミニウム製窓 アルミニウム製ガラリ
S D S G	鋼製出入口戸 鋼製ガラリ
W D W W F	木製出入口戸 木製窓 障子・フスマ
T B	トイレブース

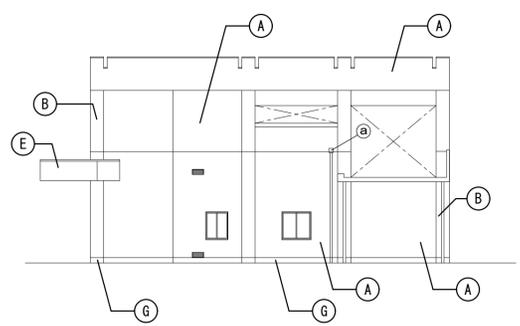
内装仕上表									
室名	区分	床	巾木	腰壁	壁	天井	天井高	備考	
2階 業務習得室	既設仕上	ビニル床シート t2.0	ビニル巾木 H=100	モルタル塗り EP	▽	PB t9.0下地 岩綿吸音板t9.0 目地無し	2.700	掲示板設置 W2800*H1200 ビニルカーレル取替え 2ヶ所	黒板 撤去 W3000*H900 2ヶ所
	改修方法	清掃	撤去	下地調整	▽	下地調整			
	改修仕上		ビニル巾木 H=100貼替	EP-G塗替	▽	EP塗替 一部張替えEP塗装	2.700	フラインド'新設 W1720*H2100 5ヶ所 W1420*H2100 1ヶ所	既設フラインド'撤去 6ヶ所
2階 浴室 (前室)	既設仕上	磁器質100角タイル(アスファルト防水)		半磁器75角タイル	▽	アクリルパ'ント'レ	2.622	(北側外部)アクリルパ'-取替え	
	改修方法	既設のまま		既設のまま	▽	撤去(LGS下地共)			
	改修仕上				▽	LGS下地 アクリルパ'ント'レ t1.0	2.622		
2階 浴室	既設仕上	磁器質100角タイル(アスファルト防水)		半磁器75角タイル	▽	アクリルパ'ント'レ	2.453 ~ 2.740	(北側外部)アクリルパ'-取替え <面台>撤去復旧	
	改修方法	既設のまま		既設のまま	▽	既設のまま			
	改修仕上				▽				
2階 車両宿直室	既設仕上	ビニル床タイル t2.0 畳敷き 地板:ケキ線付合板 t9.0	木製巾木 H=75 畳寄	モルタル塗り ジュラサテン吹付 PB t12.0 ジュラサテン吹付	▽	化粧PB t9.0 敷目板張り	2.580 2.700	<木部見え掛り>CL塗装 <下足入>CL塗替 ア'部閉塞 (南側外部)<ふとん掛け>SOP塗替	
	改修方法	ビニル床タイル面:仕上撤去 下地補修 畳表替え、地板:下地共撤去	下地調整 畳寄:清掃	下地調整	▽	撤去(木下地共)			
	改修仕上	ビニル床タイル t2.0貼替 フローリング' t15(木床組共)	巾木: SOP塗装	内装薄塗材E	▽	LGS下地 化粧PB t9.5(和室用)	2.580 2.700	遮光カーテン新設 W3300*H2300 1ヶ所	既設フラインド'撤去 2ヶ所
2階 駐車場	既設仕上	豆砂利コンクリート金コテ(アスファルト防水)	防水モルタル	モルタル塗り	▽	木毛セメント板t20 白セメント吹付	直天	<手摺欄(鋼製)>SOP塗替 EXP.J周リ修繕	
	改修方法	既設のまま	既設のまま	既設のまま	▽	既設のまま			
	改修仕上				▽				
2階 75-M弁室2	既設仕上	豆砂利コンクリート金コテ(アスファルト防水)			▽	梁コンクリート打放しアクリルシン吹付	直天	室名札設置 1ヶ所	
	改修方法	既設のまま	壁新設	壁新設	▽	既設のまま			
	改修仕上		コンクリート打放し H=285	無石綿ケイカル板t8両面張り EP-G塗装 下地:C-75*45*15*2.3@450	▽				
1階 廊下・通路	既設仕上	ビニル床タイル t2.0	ビニル巾木 H=100	モルタル塗り EP	▽	PB t9.0 目透張り EP(ラフトン仕上)	2.400	<付鴨居>SOP塗替 ノスリッ'チーフ'張替え <カウンター>修繕	
	改修方法	仕上撤去 下地補修	撤去	下地調整	▽	撤去(LGS下地共)			
	改修仕上	ビニル床タイル t2.0貼替	ビニル巾木 H=100貼替	EP-G塗替	▽	LGS下地 化粧PB t9.5	2.400	<掲示板>シート張替え 2ヶ所	
2階 廊下	既設仕上	ビニル床シート	ビニル巾木 H=100	モルタル塗り EP	▽	PB t9.0 目透張り EP(ラフトン仕上)	2.400		
	改修方法	既設のまま	撤去	下地調整	▽	下地調整			
	改修仕上		ビニル巾木 H=100貼替	EP-G塗替	▽	EP塗替 一部張替えEP塗装	2.400		
1階 A階段	既設仕上	ビニル床タイル t2.0 磁器質108角タイル	フロー'-巾木 H=100	モルタル塗り ZC	▽	最上階:PB t9.0 目透張り EP(ラフトン仕上) 一般階:合板仮枠コンクリート打放し ケイソー工法	2.700 直天	掲示板設置 W2800*H1200 手摺設置 SUS/ノスリッ'取替え	
	改修方法	ビニル床タイル面:仕上撤去 下地補修 タイル面:水洗い	水洗い	下地調整	▽	下地調整			
	改修仕上	ビニル床タイル t2.0貼替		EP-G塗替	▽	最上階:EP塗替 一般階:EP塗装	2.700 直天		
1階 B階段	既設仕上	ビニル床タイル t2.0 磁器質108角タイル	モルタル塗り VP	モルタル塗り VP	▽	最上階:PB t9.0 目透張り EP(ラフトン仕上) 一般階:合板仮枠コンクリート打放し ケイソー工法	2.500 直天	<手摺(鋼管34φ)>SOP塗替 SUS/ノスリッ'取替え	
	改修方法	ビニル床タイル面:仕上撤去 下地補修 タイル面:水洗い	下地調整	下地調整	▽	下地調整			
	改修仕上	ビニル床タイル t2.0貼替	ビニル巾木 H=100貼替	EP-G塗替	▽	最上階:EP塗替(一部張替EP塗装) 一般階:EP塗装	2.500 直天		

大森営業所耐震改修その他工事(建築工事)			
図面名 営業所・検車場棟、整備場棟 仕上表3	枚数	No. 5	57枚の内
	設計		平成25年4月
縮尺	-	単位	MM 担当 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			

共通記号	
表示記号	表示事項
< > ▽ ▽	既設を示す シーリングを示す(仕様は特記による) カッター入れを示す
RC CB ECP	コンクリート コンクリートブロック 押出成形セメント板
LGS PB ケイカル板	軽量鉄骨下地 セッコウボード ケイ酸カルシウム板
SOP EP E-P-G E-P-T V ZC	合成樹脂調合ペイント塗り 合成樹脂エマルジョンペイント塗り つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り 合成樹脂エマルジョンペイント模様塗料塗り 塩化ビニル樹脂エナメル塗り ゾラコート塗り
ジュラク CL UC	ジュラクサテン吹付 クリアラッカー塗り ウレタン樹脂ワニス塗り
SUS HL	ステンレス(304)製 ヘアライン仕上げ
AD AW AG	アルミニウム製出入口戸 アルミニウム製窓 アルミニウム製ガラリ
SD SG	鋼製出入口戸 鋼製ガラリ
WD WW F	木製出入口戸 木製窓 障子・フスマ
TB	トイレブース



営業所・検車場棟及び整備場棟 西立面図 S=1:200



営業所・検車場棟及び整備場棟 東立面図 S=1:200

仕上凡例

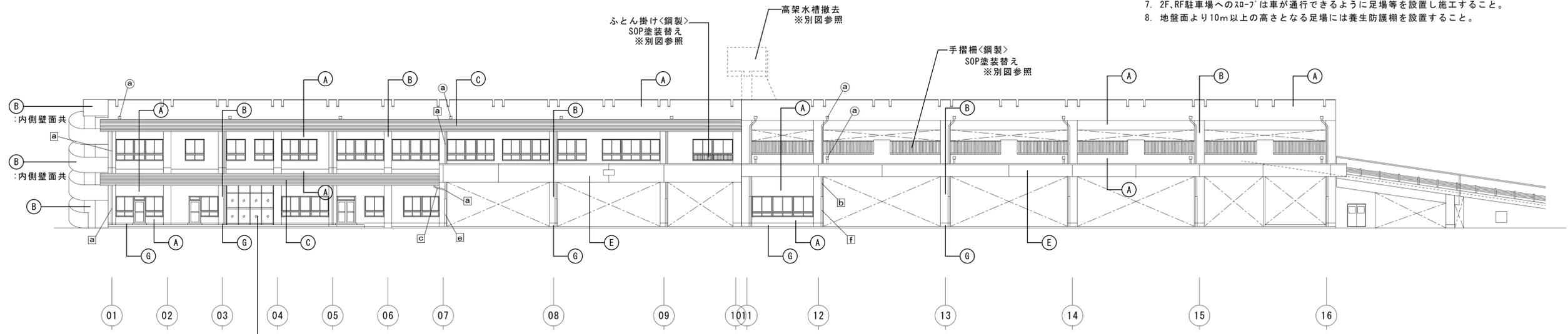
符号	仕上
(A)	<モルタル塗り刷毛引7クリルシ吹付> 高圧洗浄の上、複層塗材E 塗替え
(B)	<コンクリート打放し シコン吹付> 高圧洗浄の上、複層塗材E 塗替え
(C)	<モザイクタイル> 高圧洗浄
(D)	<小ロタイル> 高圧洗浄
(E)	<モルタル塗の上、吹付タイル> 高圧洗浄の上、複層塗材E 塗替え
(F)	<コンクリート打放しの上、吹付タイル> 高圧洗浄の上、複層塗材E 塗替え
(G)	巾木:<モルタル塗り> 高圧洗浄
(H)	<コンクリート打放し> 高圧洗浄の上、外装薄塗材E

(a)	縦樋VP100φ取替え ※
(a)	縦樋VP100φ取替え ※ (蓋付飾り樹共)
(b)	縦樋VP125φ取替え ※
(b)	縦樋VP125φ取替え ※ (蓋付飾り樹共)
(c)	呼樋・縦樋VP75φ取替え ※
(d)	縦樋VP50φ取替え ※
(e)	<養生管 外径139.8φ L2500> SOP塗装替え
(f)	<養生管 外径165.2φ L2700> SOP塗装替え

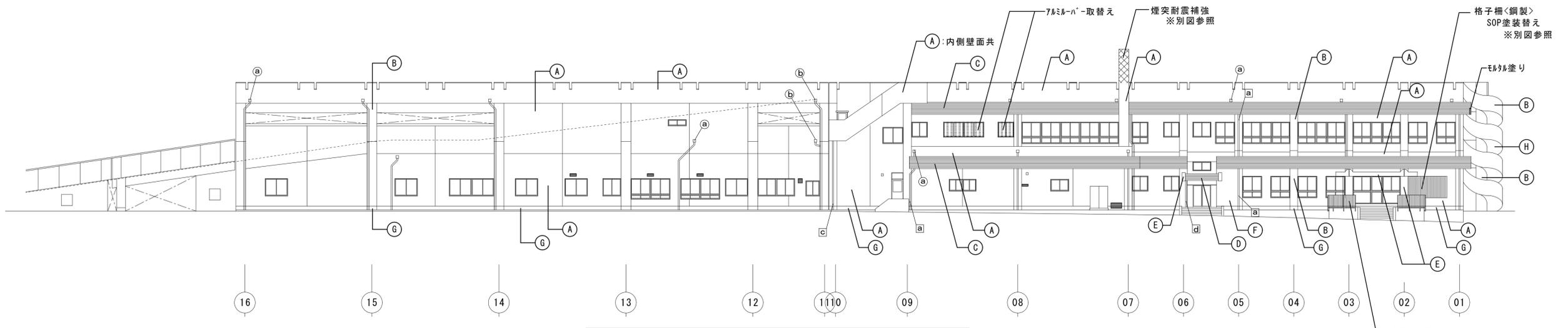
※ 新設するVP管はカー製品とする。
注：<>は既設を示す。

<特記>

- 凡例にない既設外壁面全てにおいて改修工事を行う。
- 外壁改修前に既設外壁面・庇上裏面全てにおいて、目視・打診による調査を行うこと。
- 事前調査により、見つかったひび割れモルタル浮き等のマーキング・計測を行い、壁面の劣化状況の図面を作成する。
- 事前調査により見つかった劣化部分については監督員と協議し、改修方法を検討する。
- 夜間は営業所構内にバス車両を駐車するので、足場等常設仮設物は必要最小限のスペースとすること。
- 検車場及び整備場内は夜間にバスを駐車するので、バスが格納できるように施工計画を立て、足場等を設置すること。
- 2F、RF駐車場へのスロープは車が通行できるように足場等を設置し施工すること。
- 地盤面より10m以上の高さとなる足場には養生防護棚を設置すること。

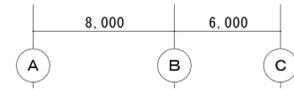
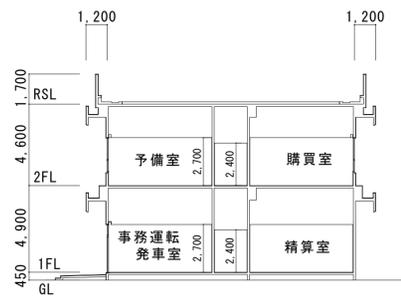


営業所・検車場棟及び整備場棟 南立面図 S=1:200

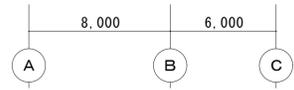
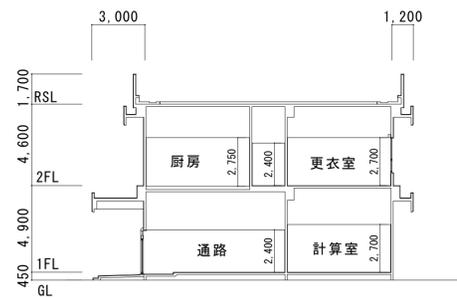


営業所・検車場棟及び整備場棟 北立面図 S=1:200

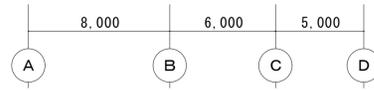
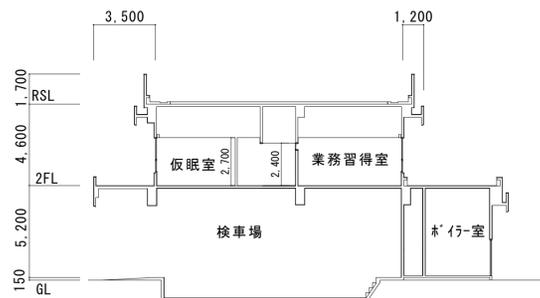
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	営業所・検車場棟及び整備場棟	枚数	No. 7
	断面図	設計	57枚の内 平成25年4月
総尺	1/200	単位	MM
		担当	尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



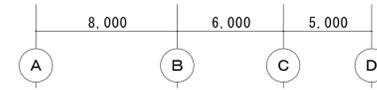
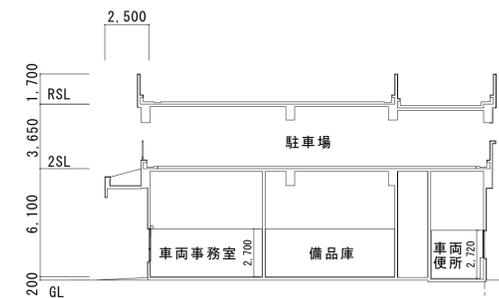
(A断面)



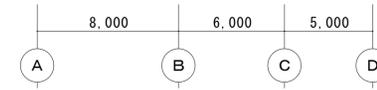
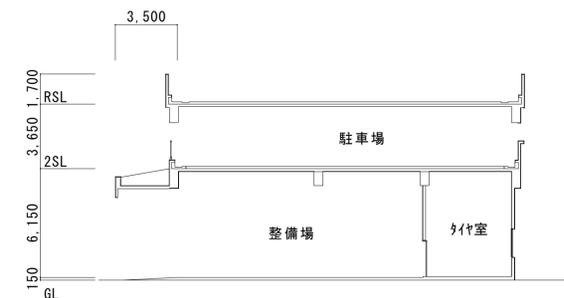
(B断面)



(C断面)

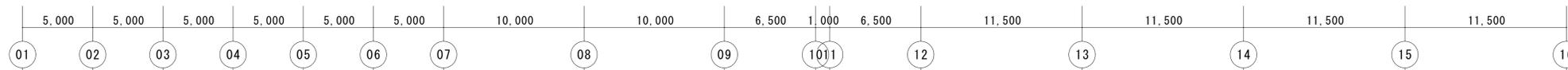
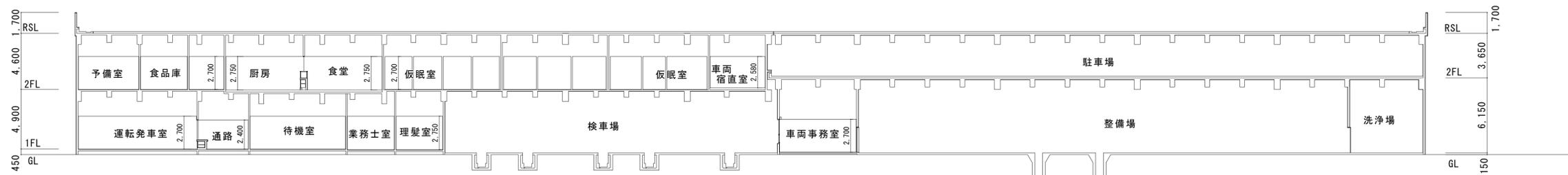


(D断面)



(E断面)

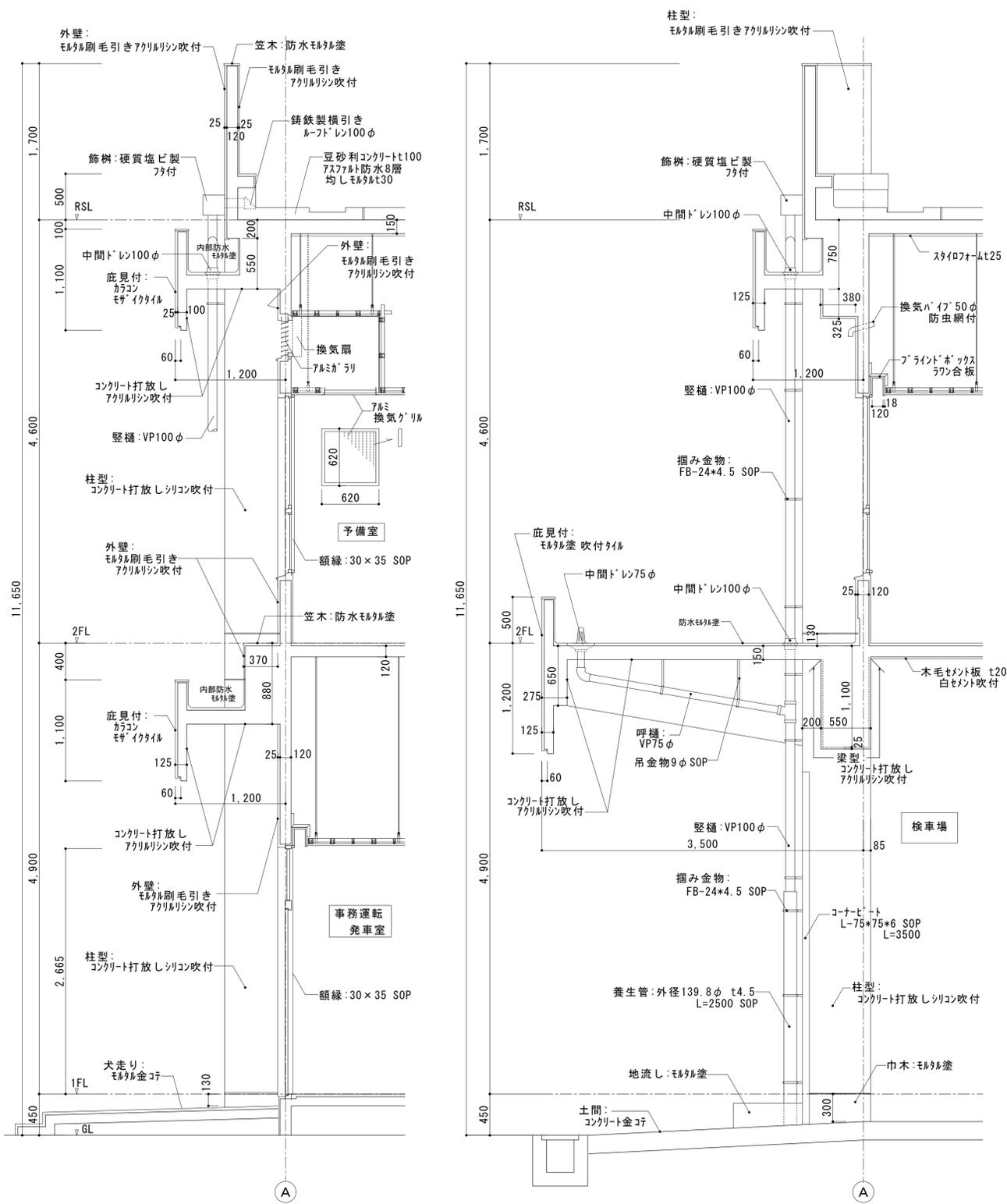
営業所・検車場棟 | 整備場棟



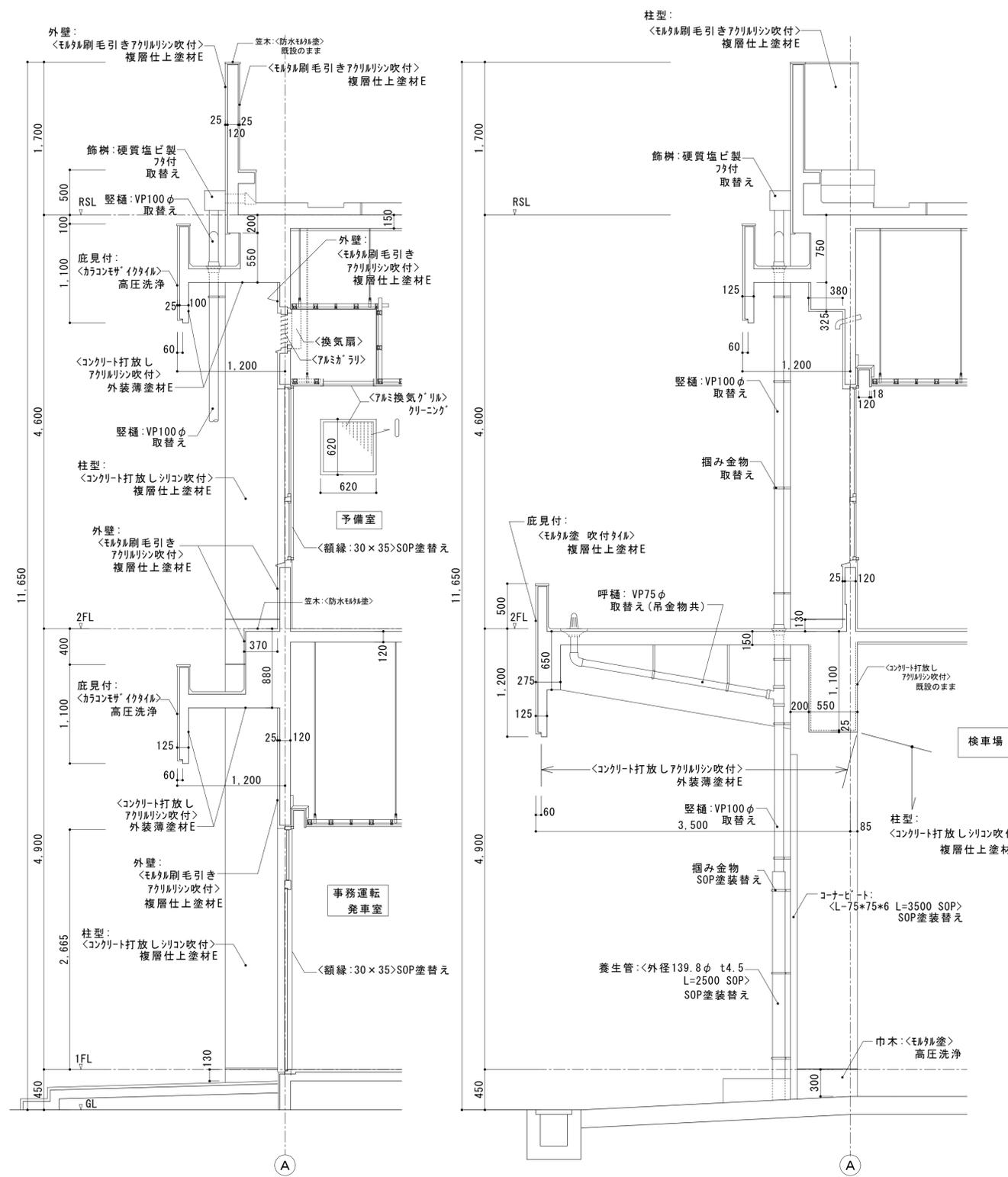
(F断面)

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	営業所・検車場棟	枚数	No. 8
	改修前・後 矩計図	設計	平成25年4月
縮尺	1/30	単位	MM
		担当	尾崎
名古屋市交通局 営繕課			

<注記>
 ・<>は既設を示す。



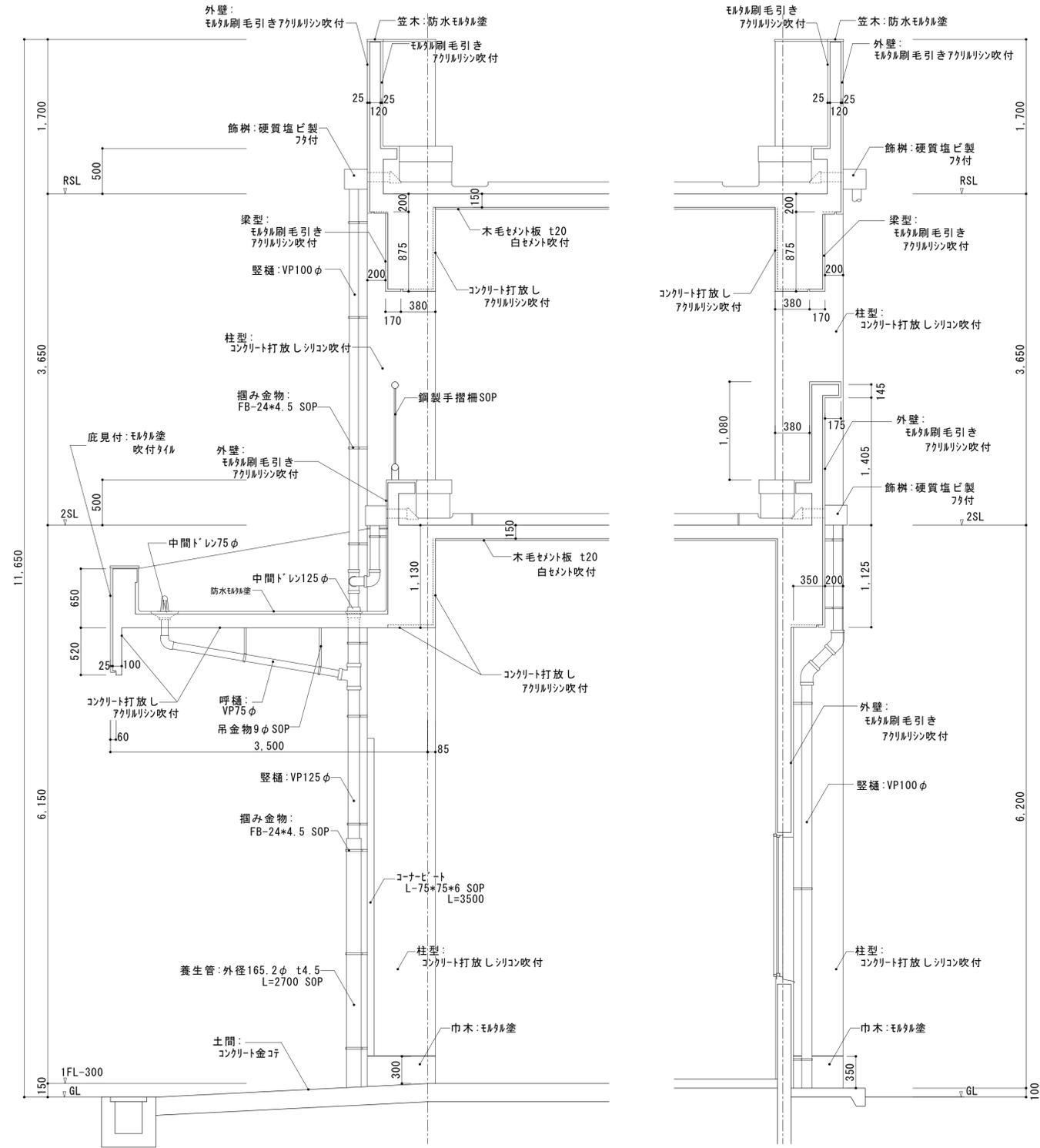
(改修前) 営業所・検車場棟 矩計図 S=1:30



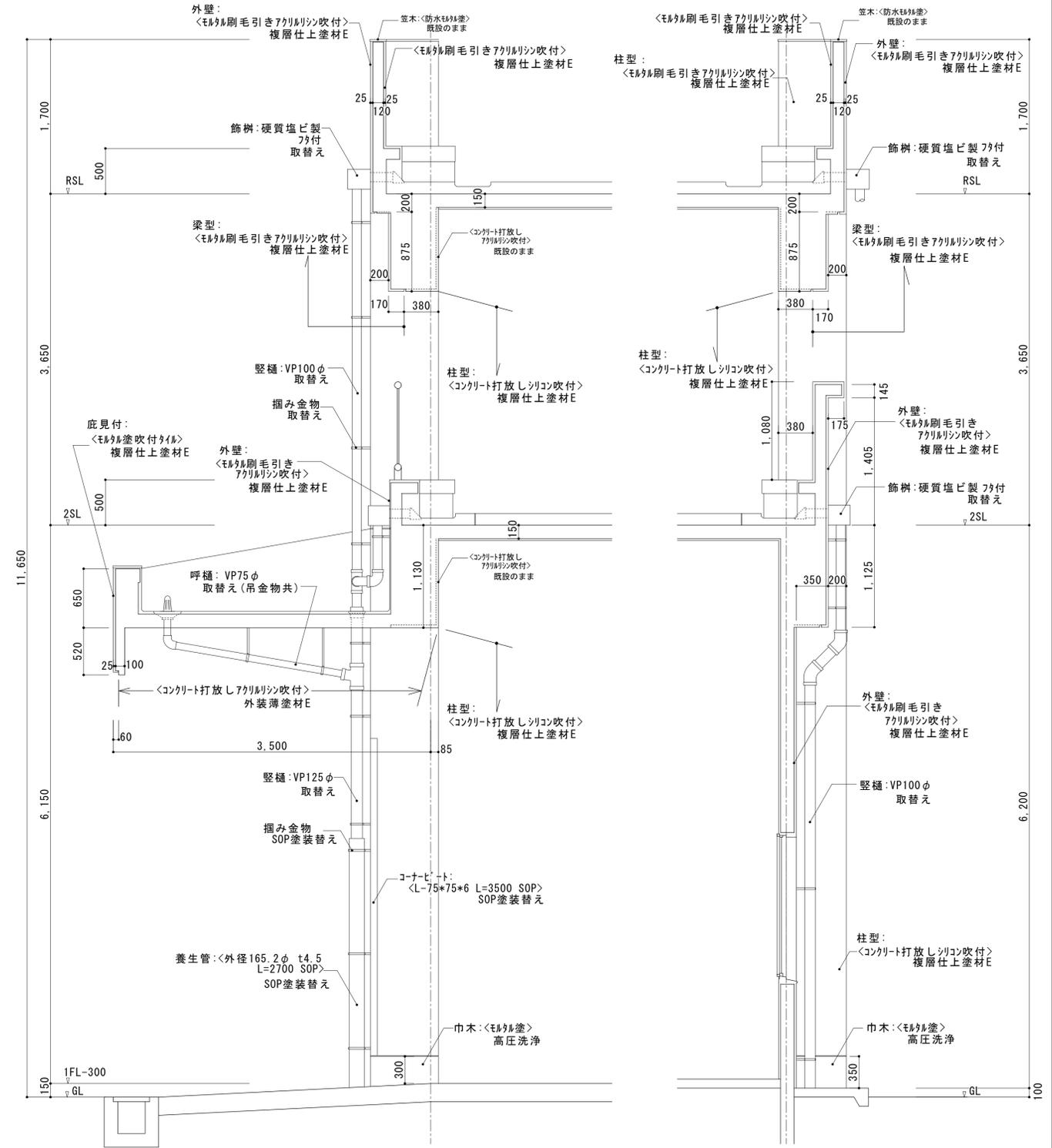
(改修後) 営業所・検車場棟 矩計図 S=1:30

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	整備場棟	枚数	No. 9
	改修前・後 矩計図	設計	平成25年4月
縮尺	1/30	単位	MM 指差 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			

<注記>
・<>は既設を示す。

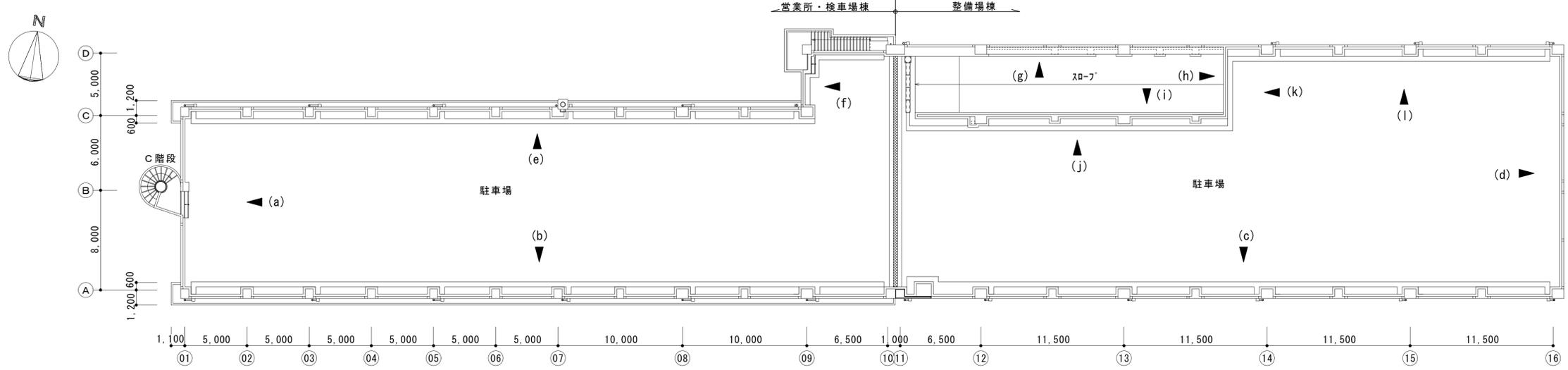


(改修前) 整備場棟 矩計図 S=1:30

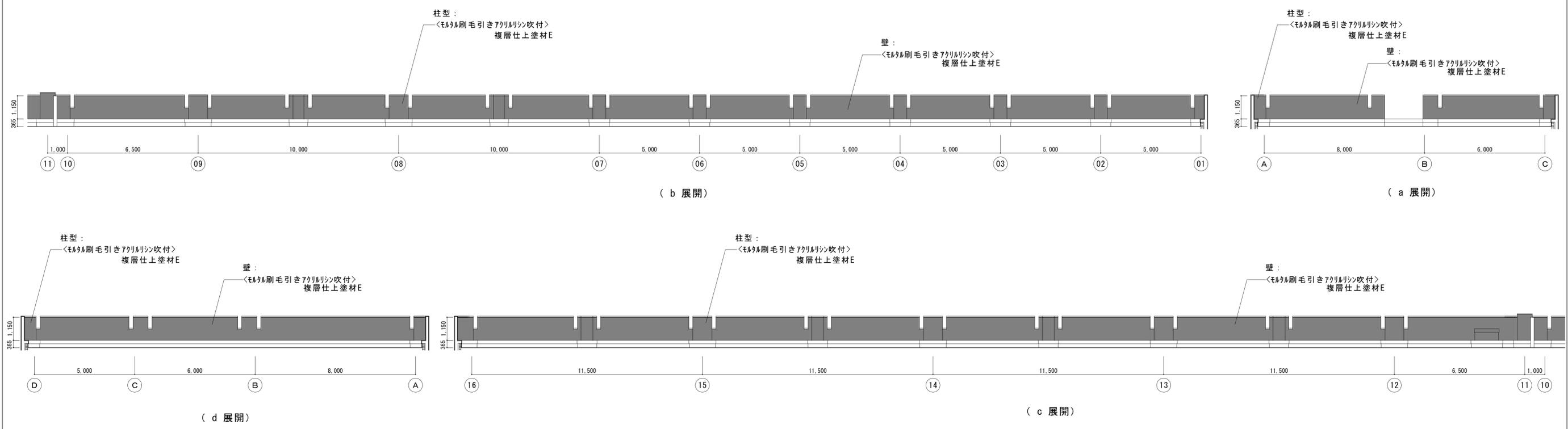


(改修後) 整備場棟 矩計図 S=1:30

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	営業所・検車場棟及び整備場棟	枚数	No.10
	R階展開図1	設計	57枚の内 平成25年4月
縮尺	1/200 1/100	単位	MM
名古屋市交通局 営繕課		担当	尾崎



営業所・検車場棟及び整備場棟 R階平面図 S=1:200



営業所・検車場棟及び整備場棟 R階展開図1(矢視図) S=1:100

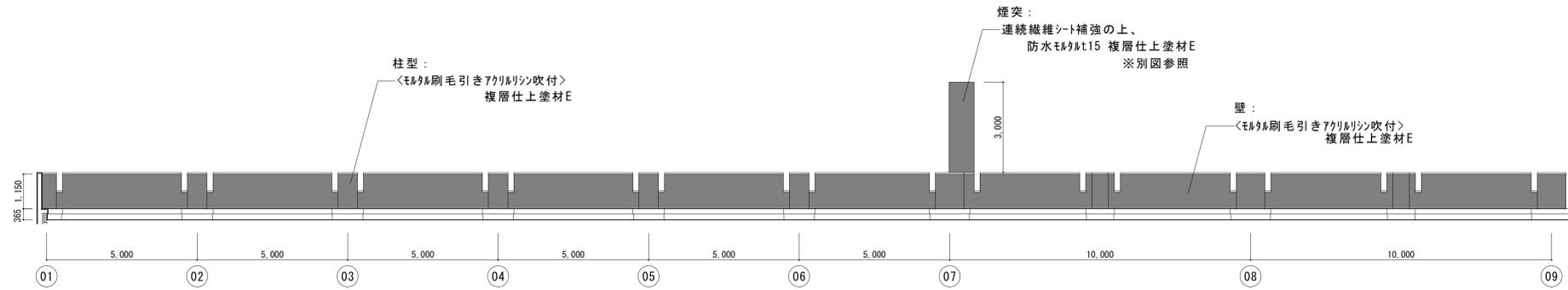
<凡例>

■ : 既設<モルタル刷毛引きアクリリシ吹付>面
複層仕上塗材E

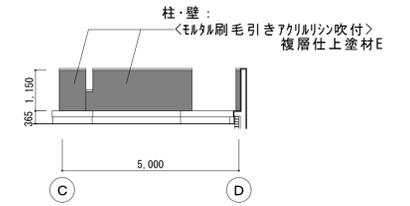
<注 記>

- ・<>は既設を示す。
- ・防水立上り部の防水モルタル破損・欠け部補修のこと。(16ヶ所 2㎡程度)
- ・スロープ部では、車が通行できるように足場等を設置し施工すること。

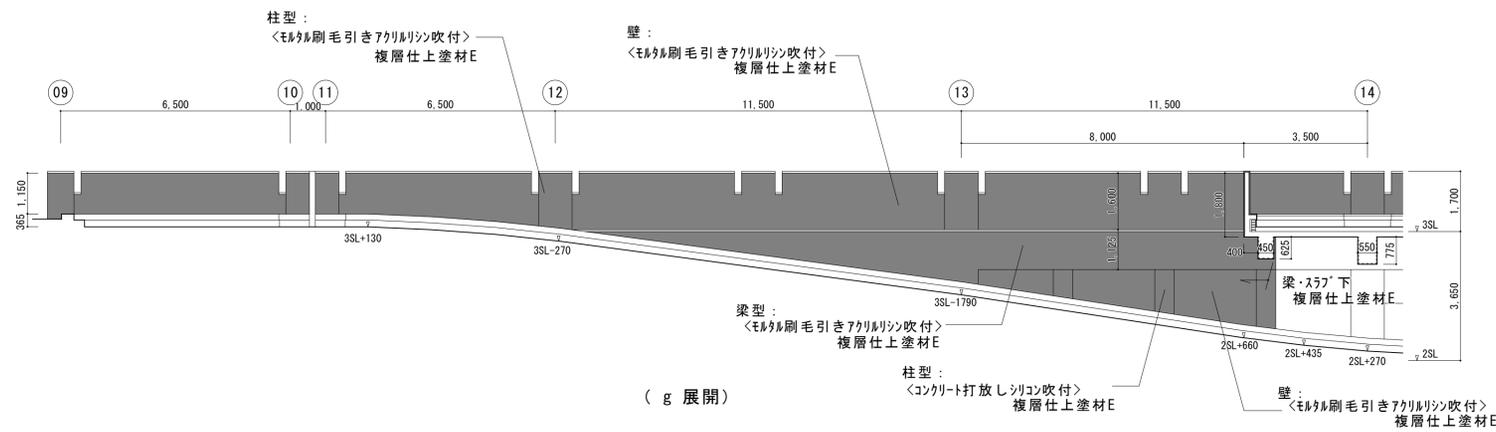
図面名	営業所・検車場棟及び整備場棟	枚数	No. 11	
	R階展開図2	設計	平成25年4月	
縮尺	1/100	単位	M	担当
			尾崎	
名古屋市交通局 営繕課				



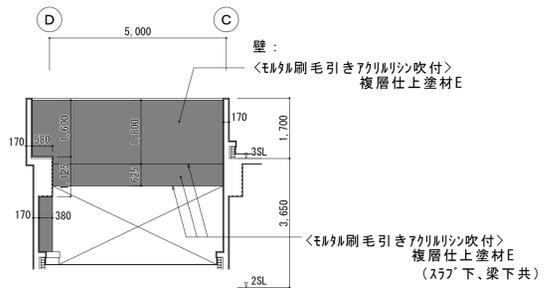
(e 展開)



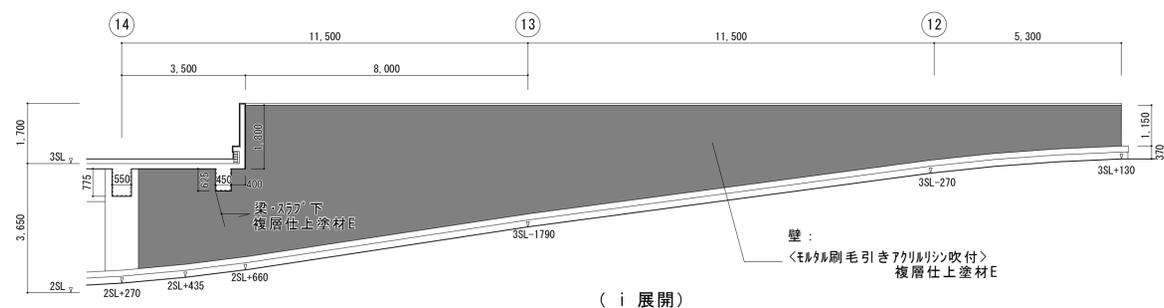
(f 展開)



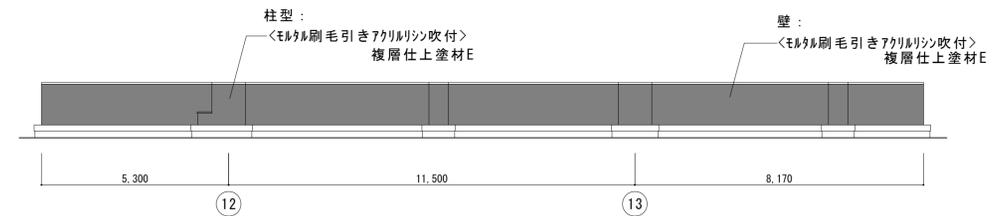
(g 展開)



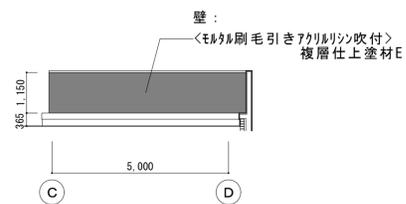
(h 展開)



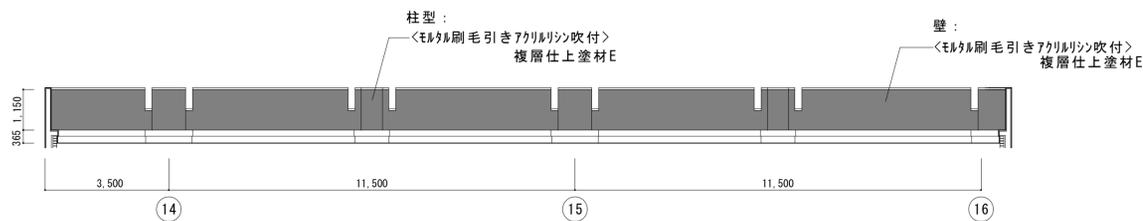
(i 展開)



(j 展開)



(k 展開)



(l 展開)

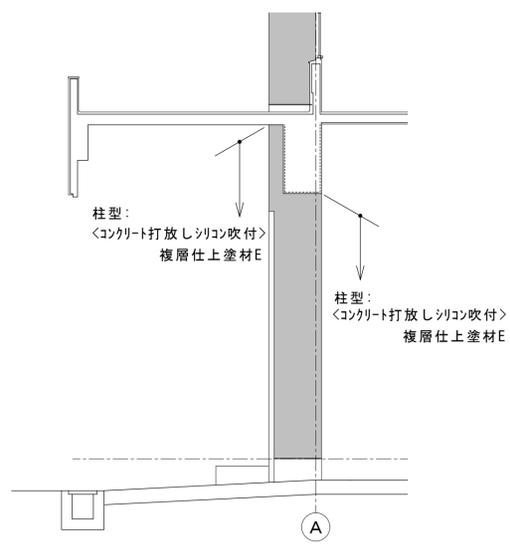
< 凡例 >

■ : 既設<モルタル刷毛引きアクリリシ吹付>面
複層仕上塗材E

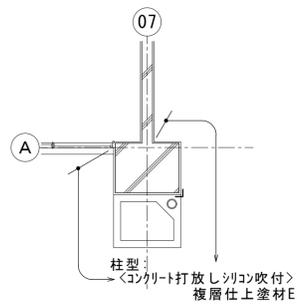
< 注 記 >

- ・<>は既設を示す。
- ・スラブ部では、車が通行できるように足場等を設置し施工すること。

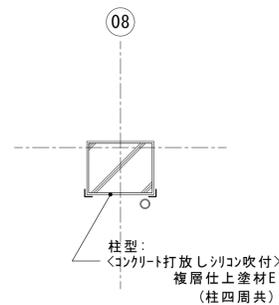
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図 番 名	1階 検車場・整備場 A通柱改修図	枚数	No.12 57枚の内
		設計	平成25年4月
縮尺	1/50	単位	MM 相当 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



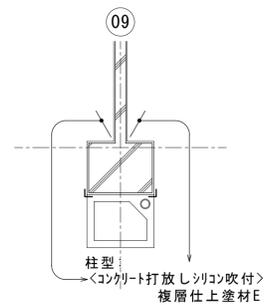
(1階 検車場 A通断面)



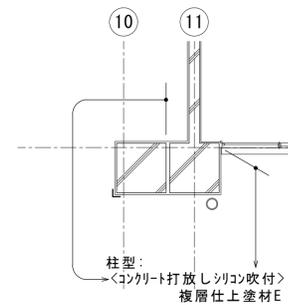
(07通)



(08通)



(09通)



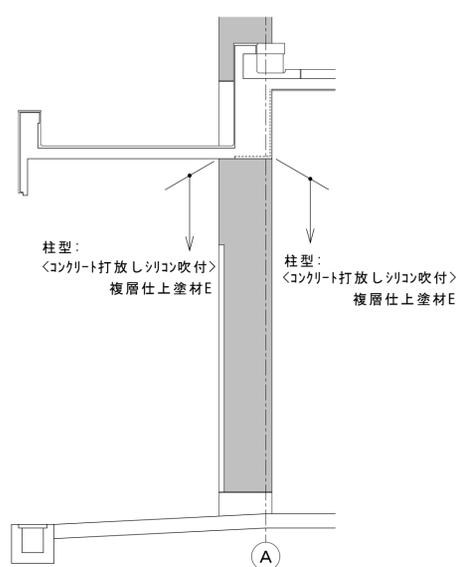
(10通～11通)

<凡 例>

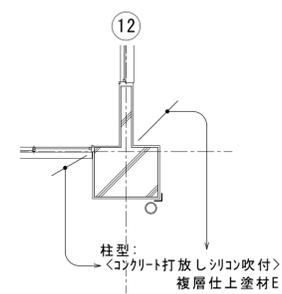
L : コナベ'ート(L=75*75*6 L=3500)
 SOP塗装替え
 検車場 : 6箇所
 整備場 : 8箇所

<注 記>

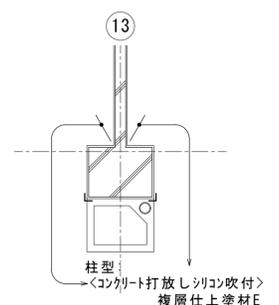
- ・ < >は既設を示す。
- ・ 検車場及び整備場内は夜間にバスを駐車するので、バスが格納できるように施工計画を立て、足場等を設置すること。



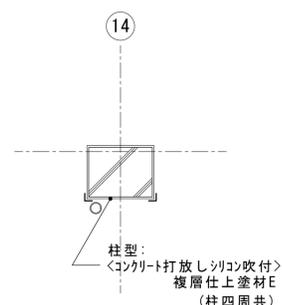
(1階 整備場 A通断面)



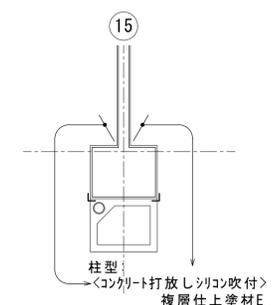
(12通)



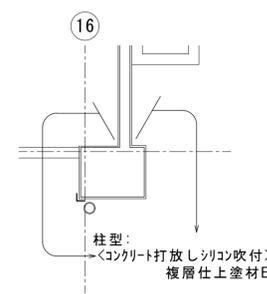
(13通)



(14通)

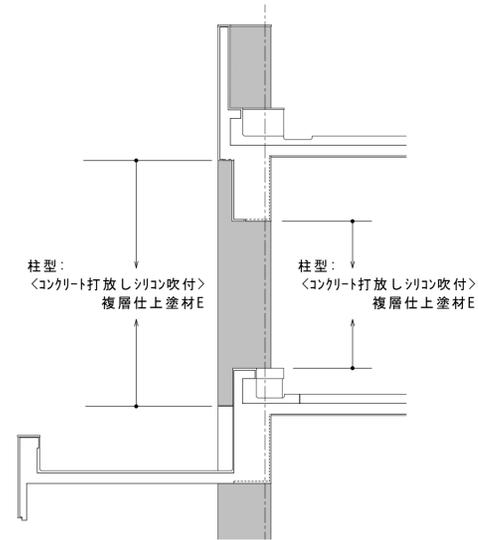


(15通)

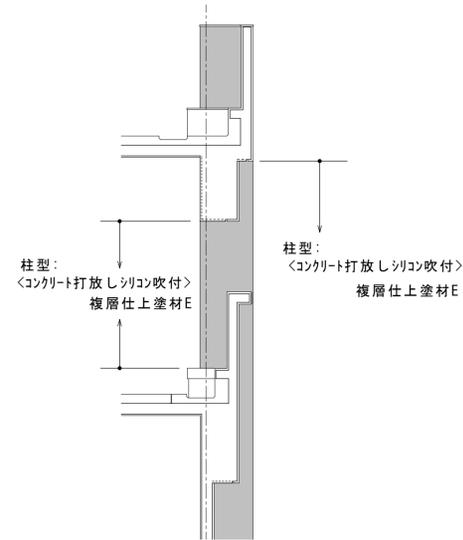


(16通)

図面名	2階 駐車場 柱改修図	枚数	No.13	57枚の内
		設計	平成25年4月	
縮尺	1/50	単位	MM	担当
				尾崎

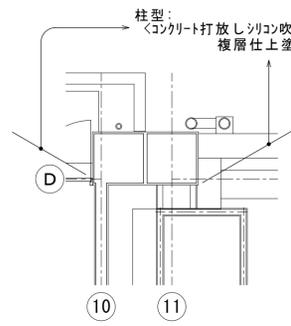


(2階 駐車場 A通断面)

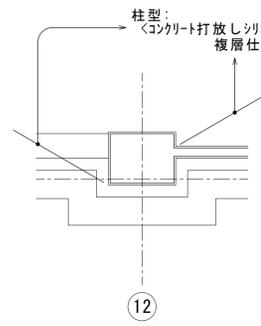


(2階 駐車場 D通断面)

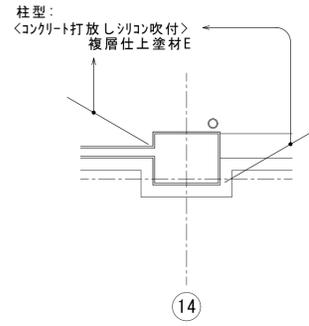
<注 記>
・< >は既設を示す。



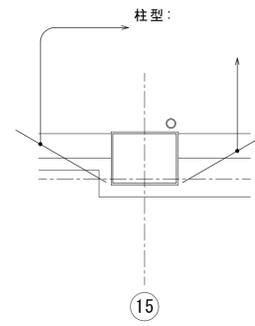
(D通-11通 平面)



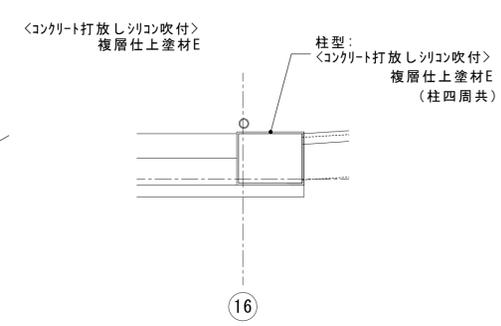
(D通-12通 平面)



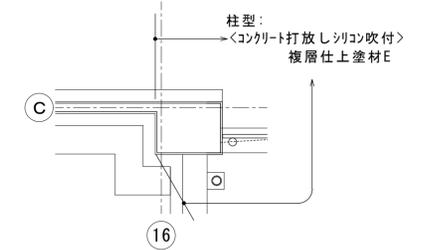
(D通-14通 平面)



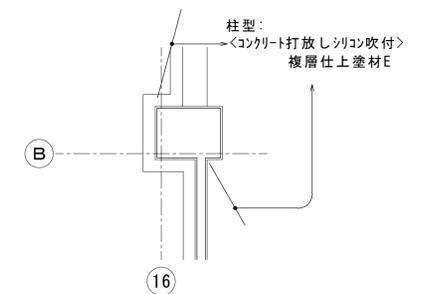
(D通-15通 平面)



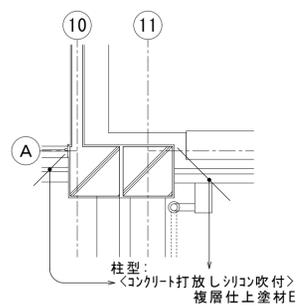
(D通-16通 平面)



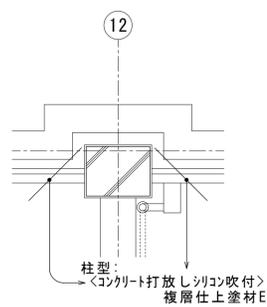
(C通-16通 平面)



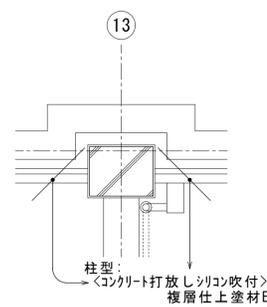
(B通-16通 平面)



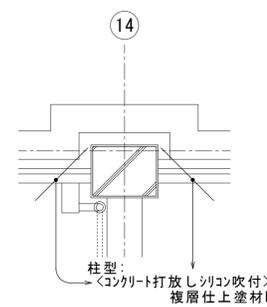
(A通-11通 平面)



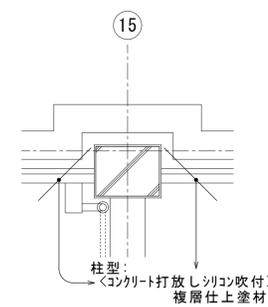
(A通-12通 平面)



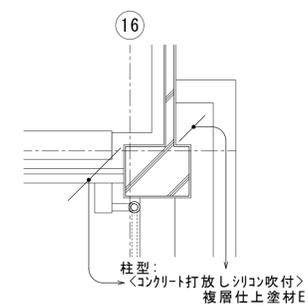
(A通-13通 平面)



(A通-14通 平面)

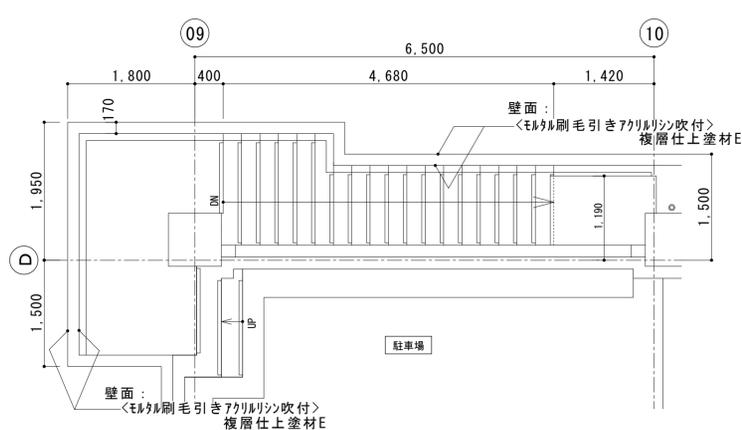


(A通-15通 平面)

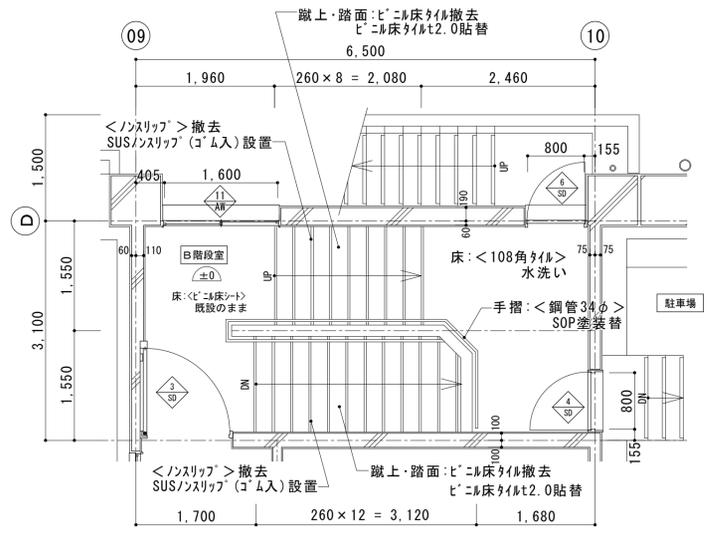


(A通-16通 平面)

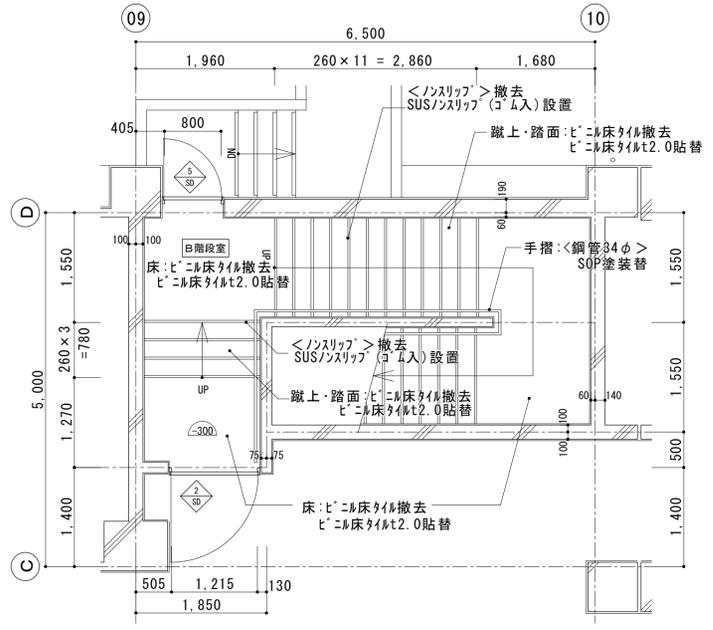
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	改修後 2階段	枚数	No.15
	平面詳細図・断面展開図	設計	57枚の内
縮尺	1/50	単位	MM
		担当	尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



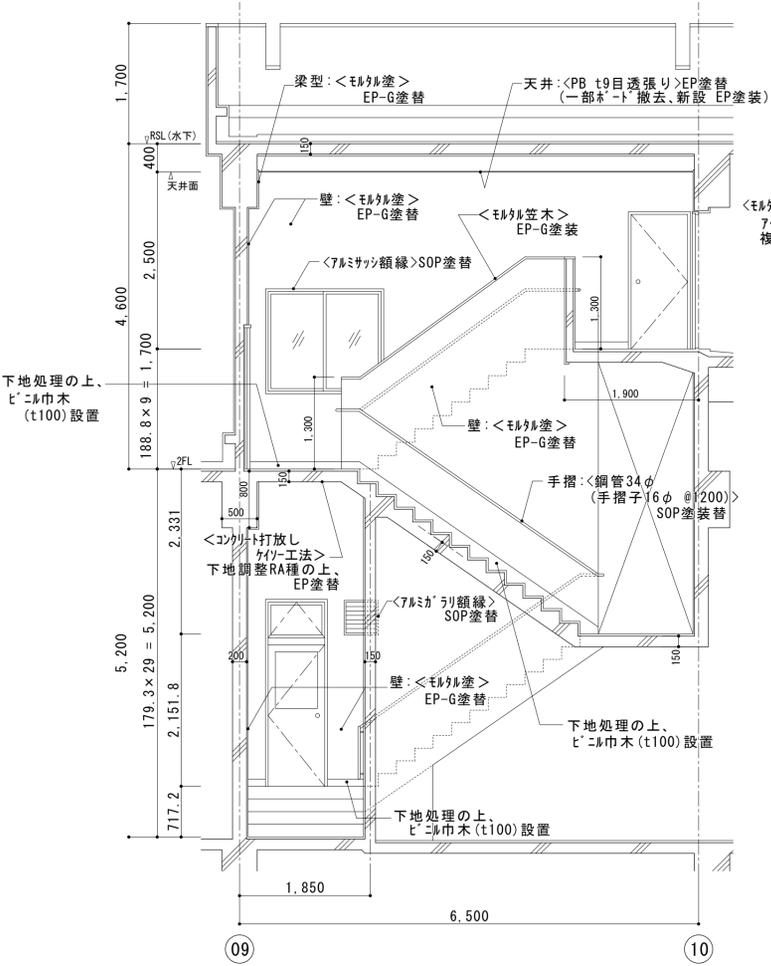
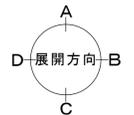
(改修後) B階段室 R階平面詳細図 S=1:50



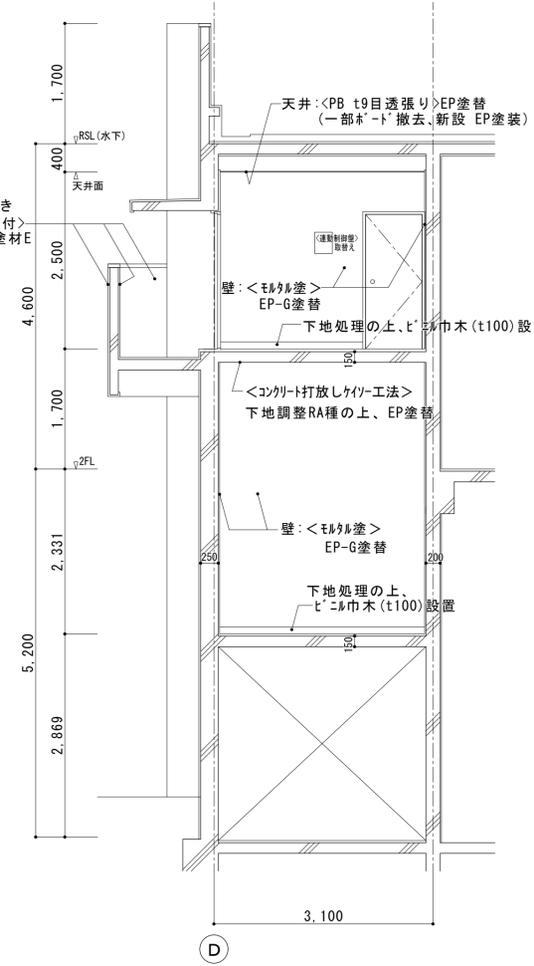
(改修後) B階段室 2階平面詳細図 S=1:50



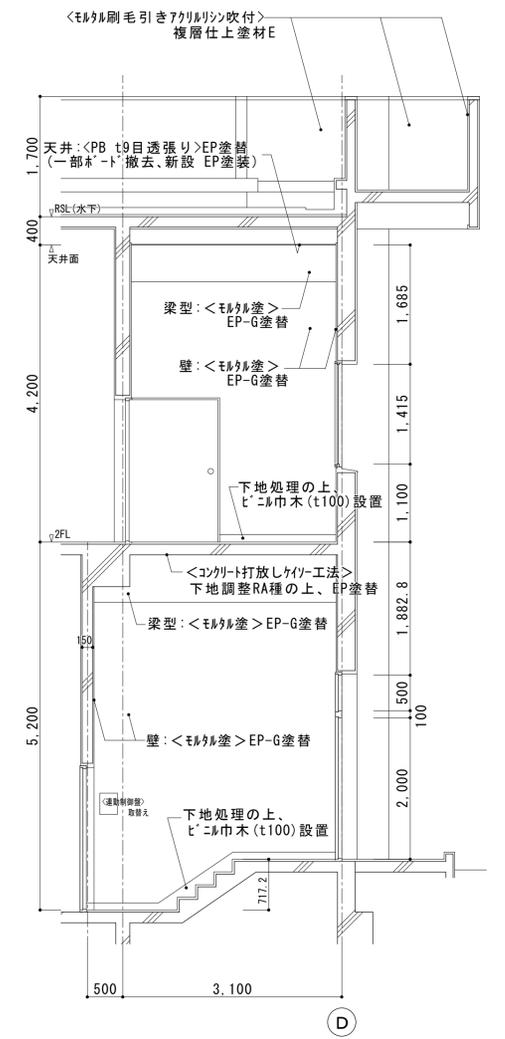
(改修後) B階段室 1階平面詳細図 S=1:50



(改修後) B階段室 断面展開図 S=1:50



B



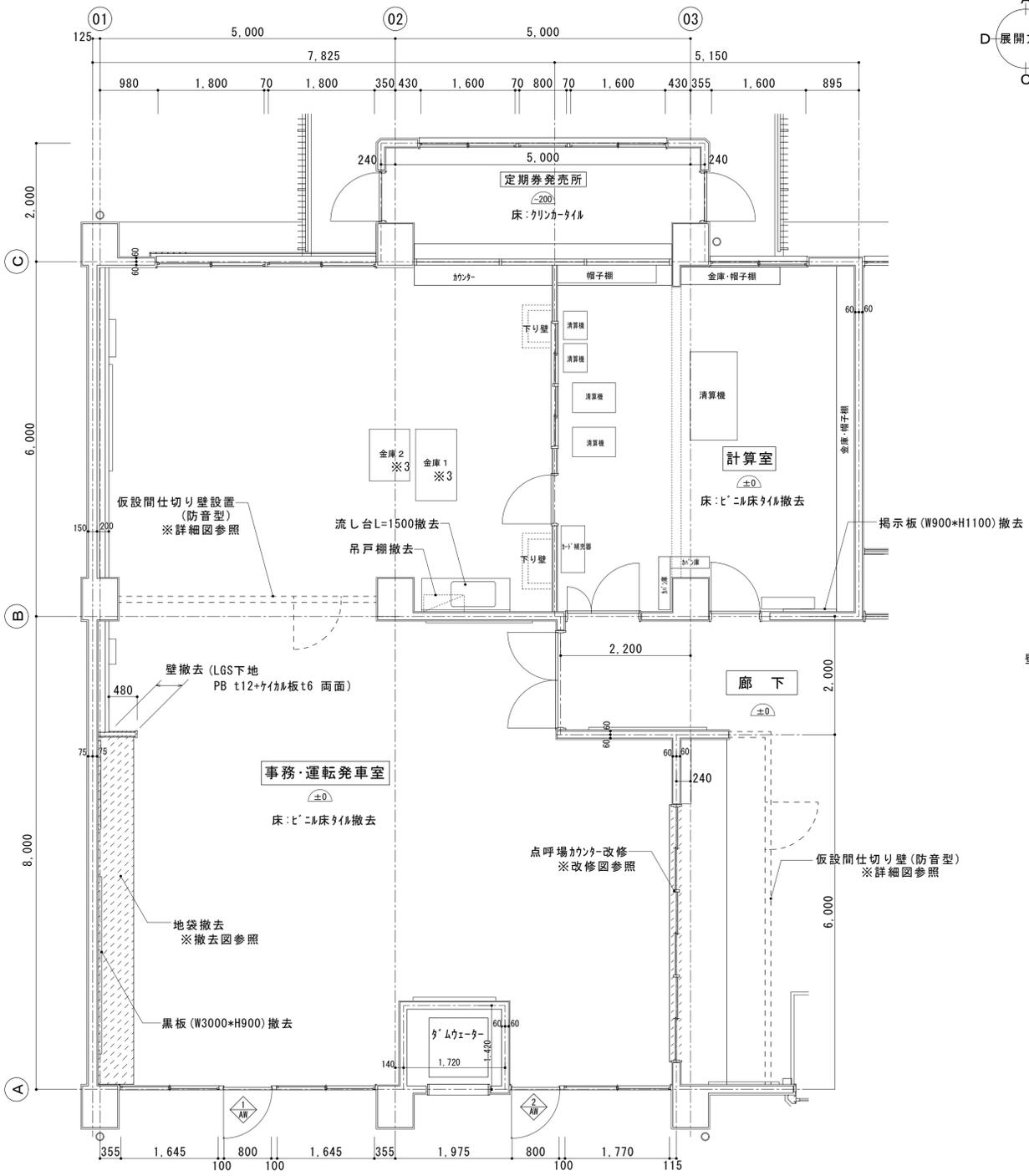
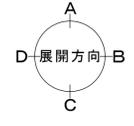
D

図面名	1階 事務運転発車室・計算室	枚数	No.16
	平面詳細図	設計	57枚の内 平成25年4月
縮尺	1/50	単位	MM 担当 尾崎

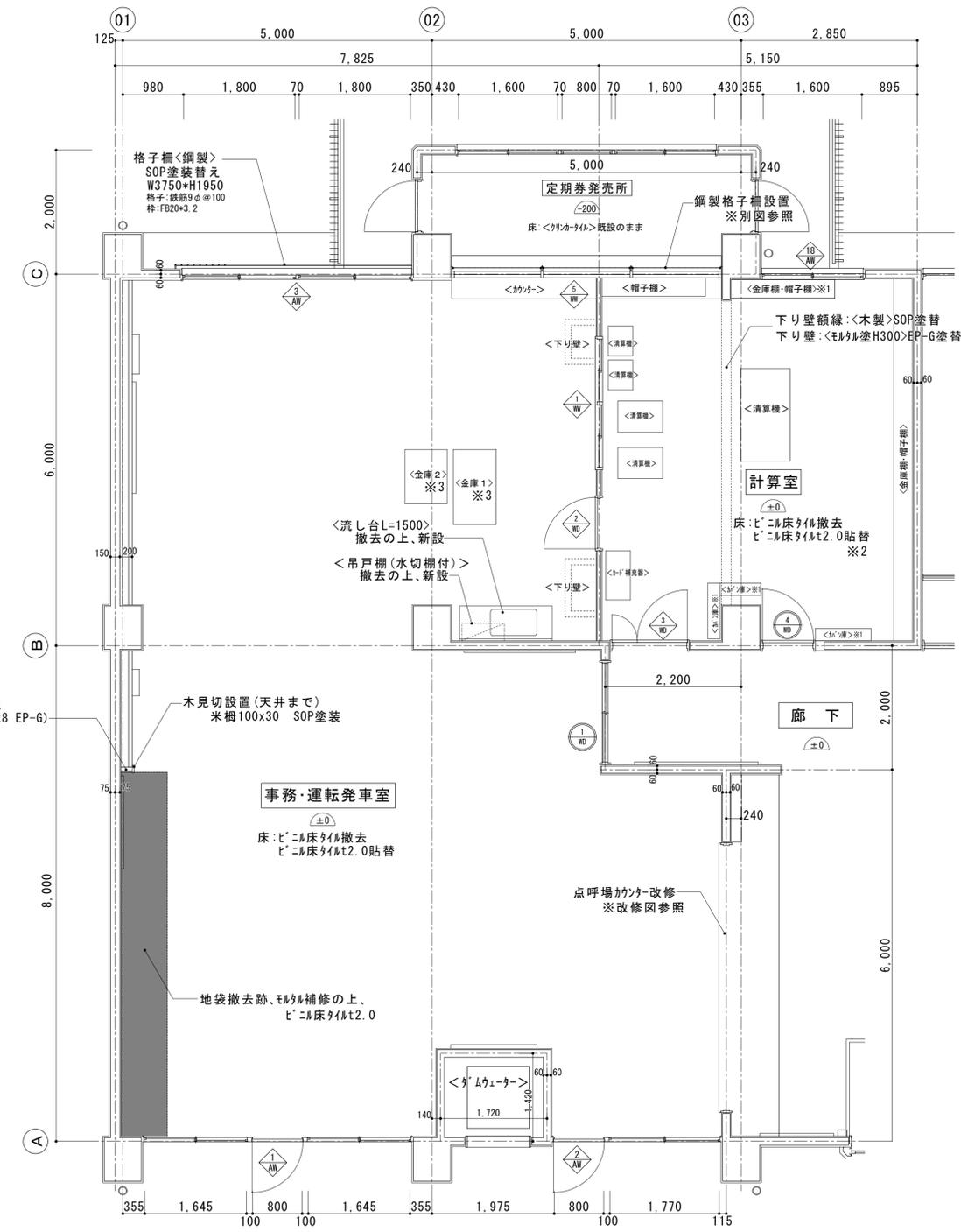
名古屋市交通局営繕課

- <凡例>
- ※1：計算室<金庫棚・帽子棚><カバン庫>は一時取外し・復旧とする。
 - ※2：計算室<清算機><カード補充器>は既設位置のまま施工を行い、各機器下の床張替えは除く。
 - ※3：事務運転発車室<金庫1><金庫2>は施工時に、事務運転発車室内の監督員指定の場所に一時移設し、工事完了後復旧すること。
 <金庫1>：1210*695*H1750 640kg
 <金庫2>：880*680*H1290 600kg

- <注記>
- ・事務運転発車室は、仮設間仕切り壁(防音型)を設置し2分割施工とする。
 - ・計算室での施工は、監督員・営業所と十分打合せを行い、清算機等の各機器及び各棚を利用できる状態で行うこと。

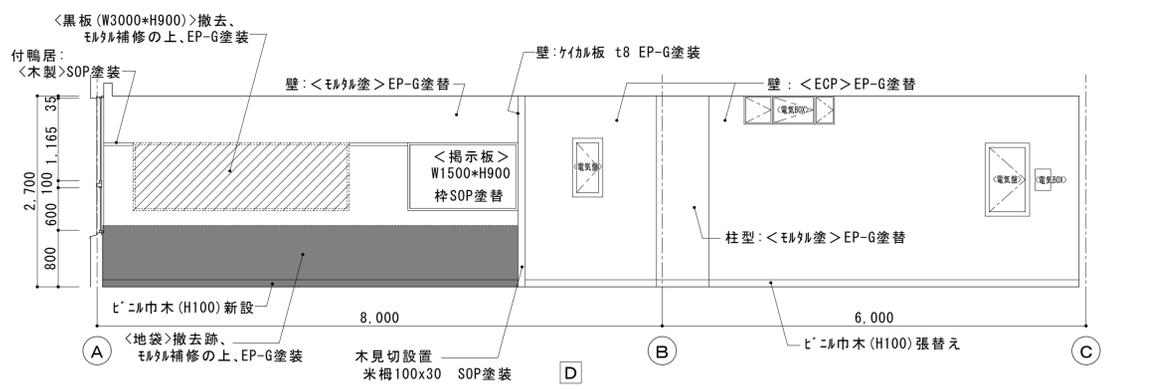
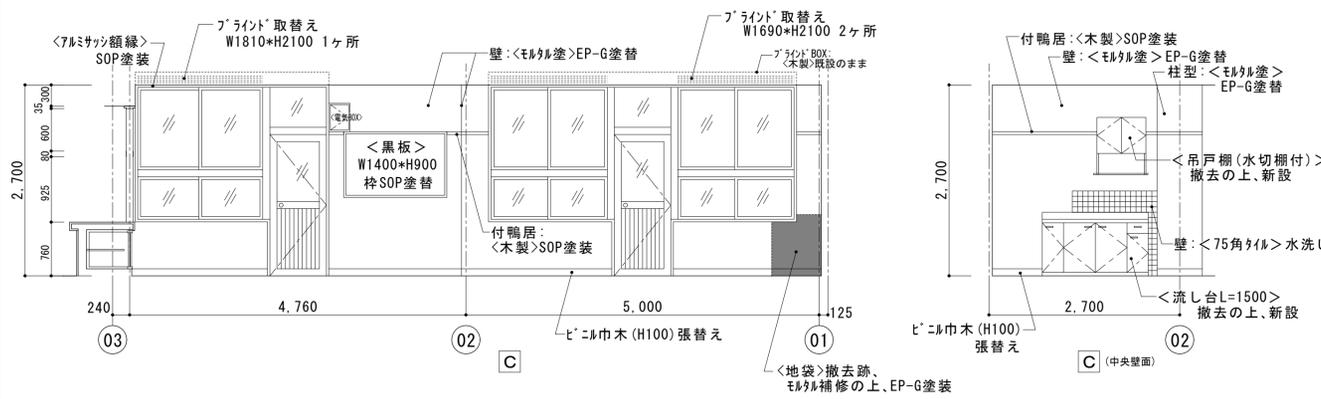
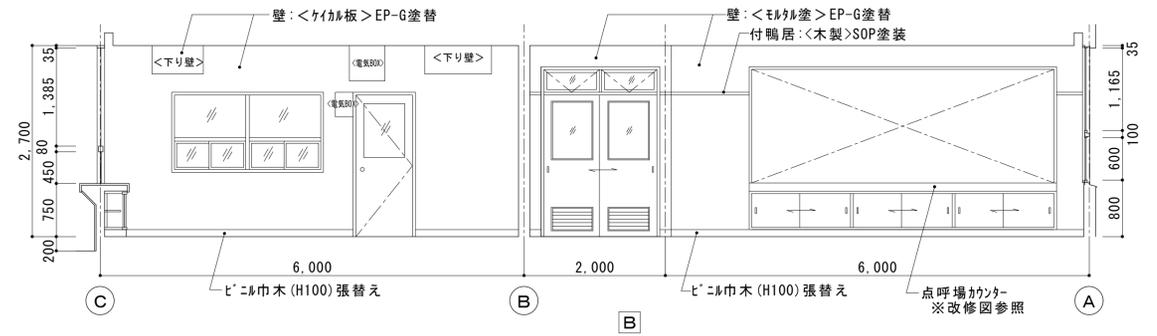
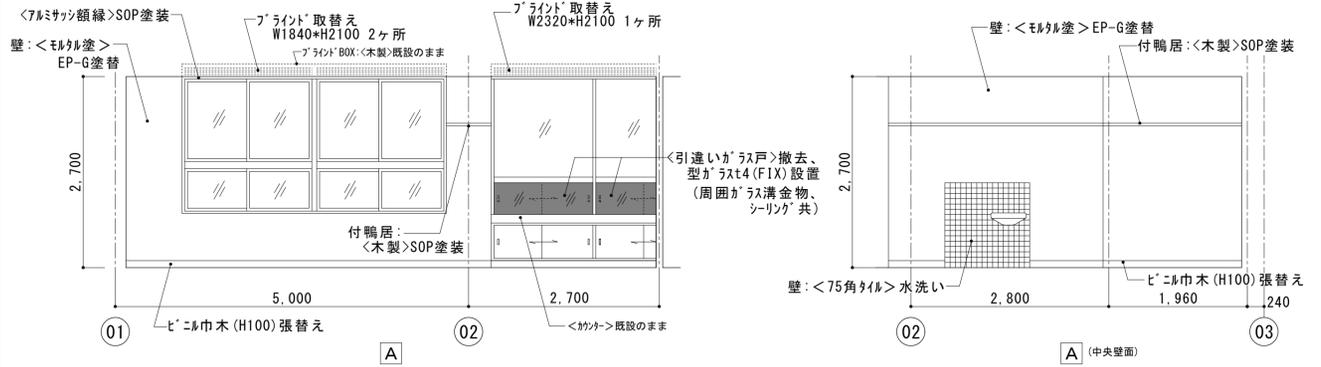


(改修前) 1階 事務運転発車室・計算室平面詳細図 S=1:50

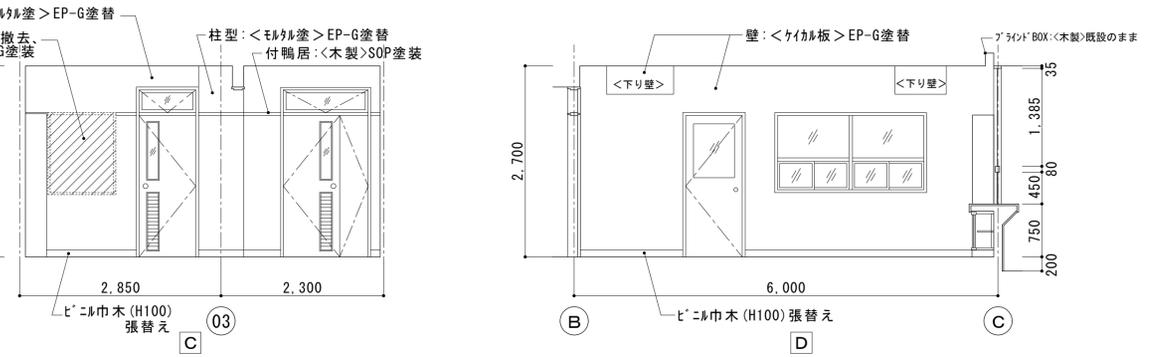
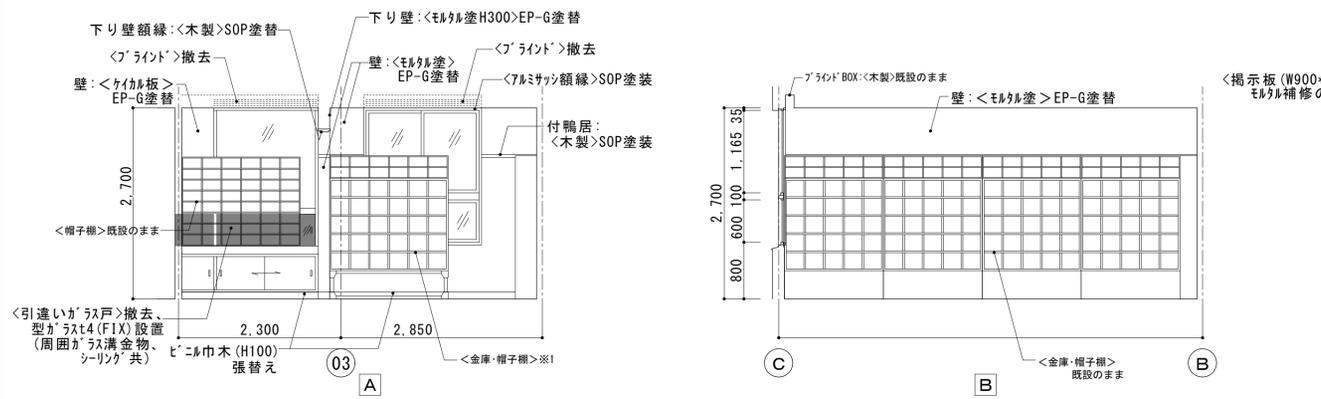


(改修後) 1階 事務運転発車室・計算室平面詳細図 S=1:50

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	1階 事務運転発車室 計算室	枚数	No. 17
	展開図	設計	57枚の内 平成25年4月
縮尺	1/50	単位	MM 相当 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			

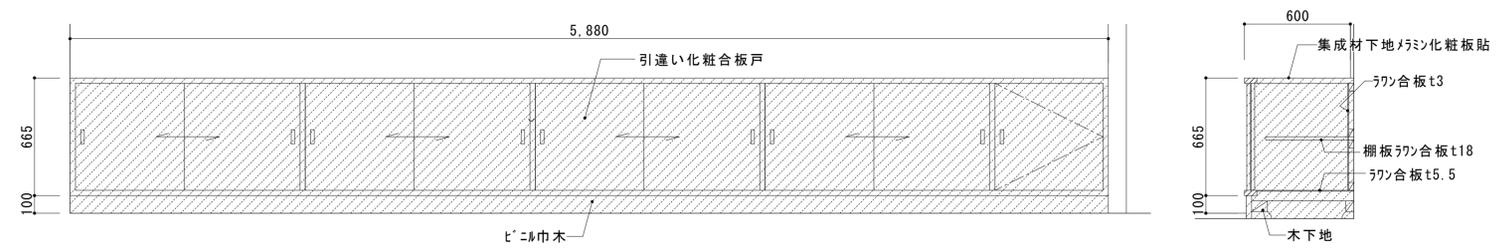


(改修後) 1階 事務運転発車室展開図 S=1:50



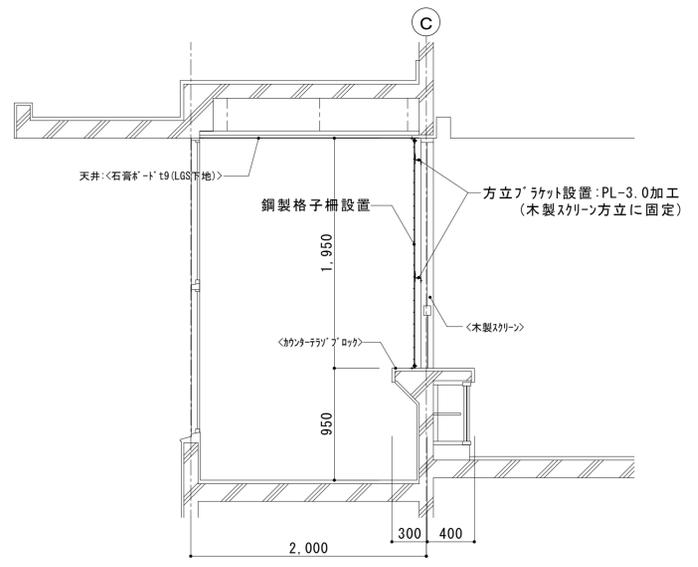
(改修後) 1階 計算室展開図 S=1:50

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）					
図面名	1階 事務運転発車室-計算室	枚数	No.18 57枚の内		
	その他詳細図	設計	平成25年4月		
縮尺	1/50 1/30 1/20 1/5	単位	MM	担当	尾崎
名古屋市交通局 営繕課					

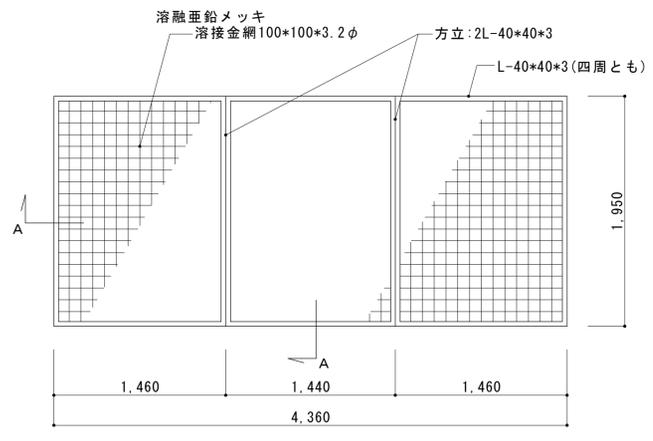


1階 事務運転発車室 地袋撤去図 S=1:20

: 撤去範囲を示す。



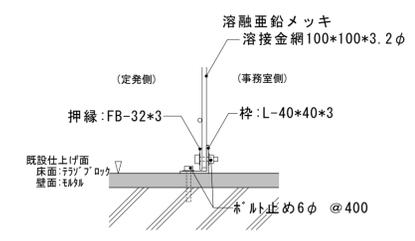
(鋼製格子柵 断面図 S=1:30)



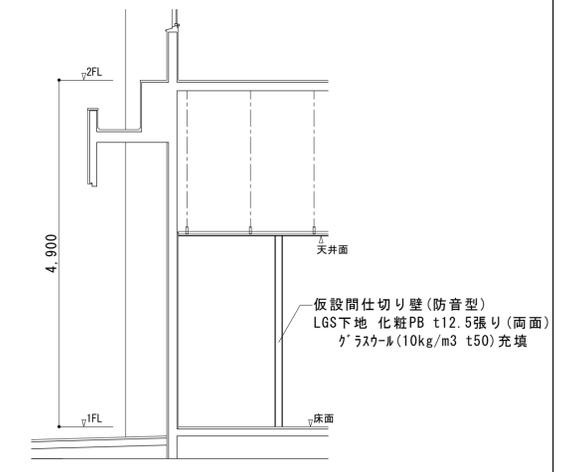
(鋼製格子柵 姿図 S=1:30)

鋼製格子柵詳細図

<注記>
各鋼材は錆止め塗料塗りとする。(色はグレー色)

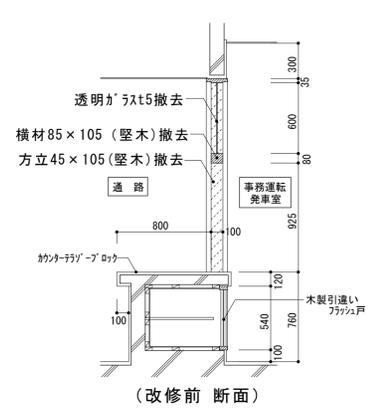


(A断面詳細 S=1:5)

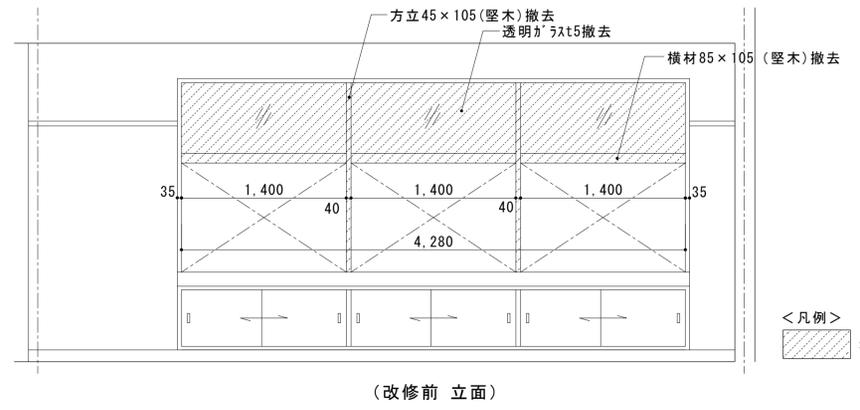


<注記>
既設取合い部分は目張りをすること。
設置する仮設扉はアルミ製とし、錠付とする。

仮設間仕切り壁詳細図 S=1:50

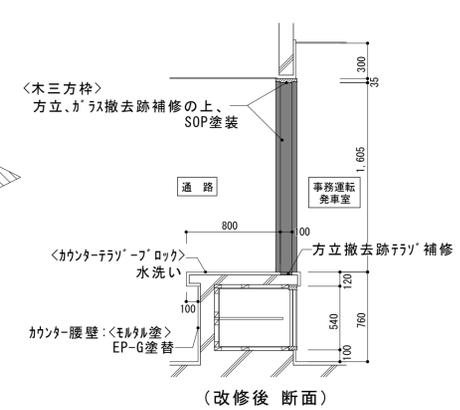
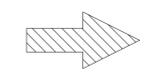


(改修前 断面)

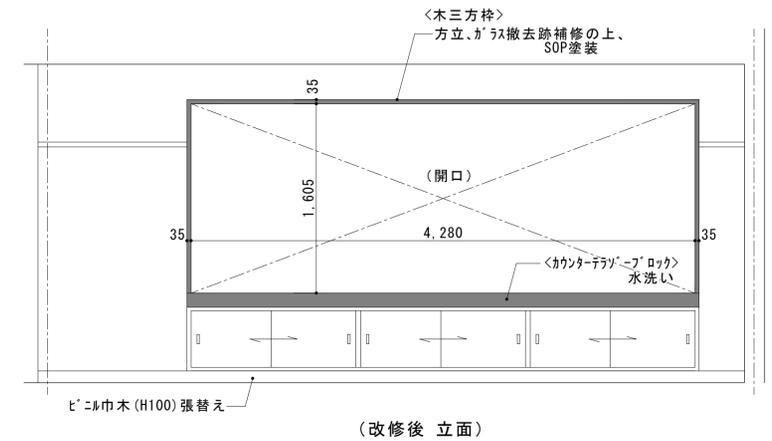


(改修前 立面)

<凡例>
 : 撤去範囲を示す。



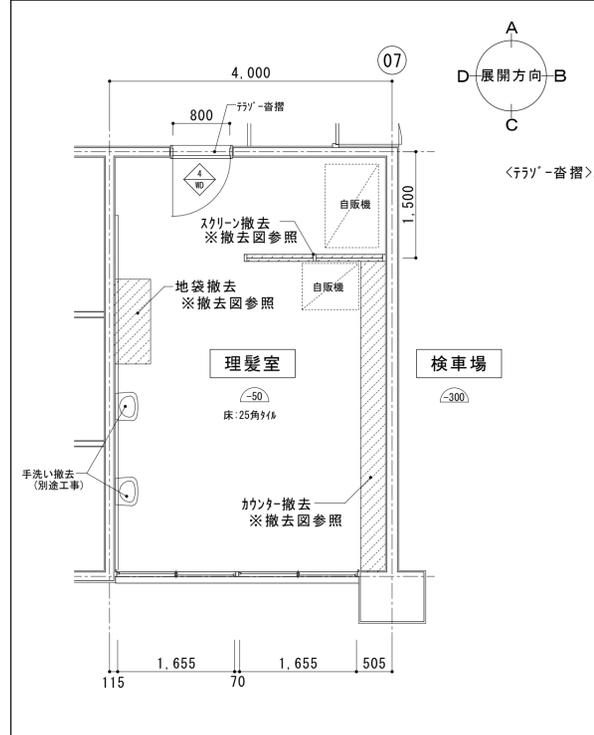
(改修後 断面)



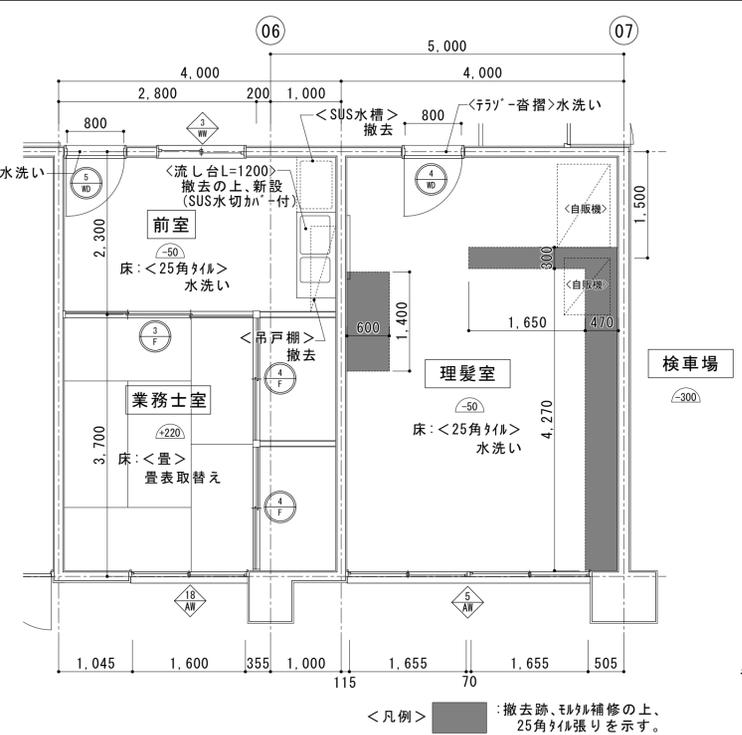
(改修後 立面)

1階 事務運転発車室 点呼場カウンター改修図 S=1:30

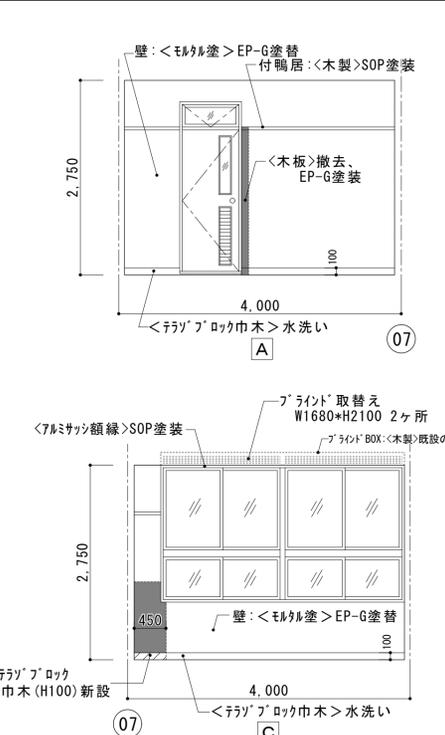
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）	
図面名	改修後 1階 業務士室・理髪室 平面詳細図、展開図、撤去図
枚数	No.20 57枚の内
設計	平成25年4月
縮尺	1/50 1/20
単位	M/M
担当	尾崎
名古屋市交通局 営繕課	



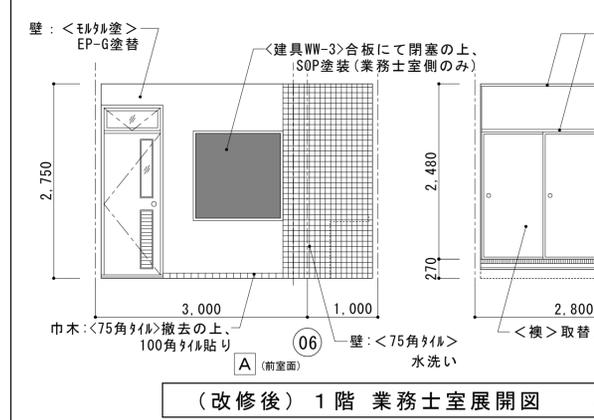
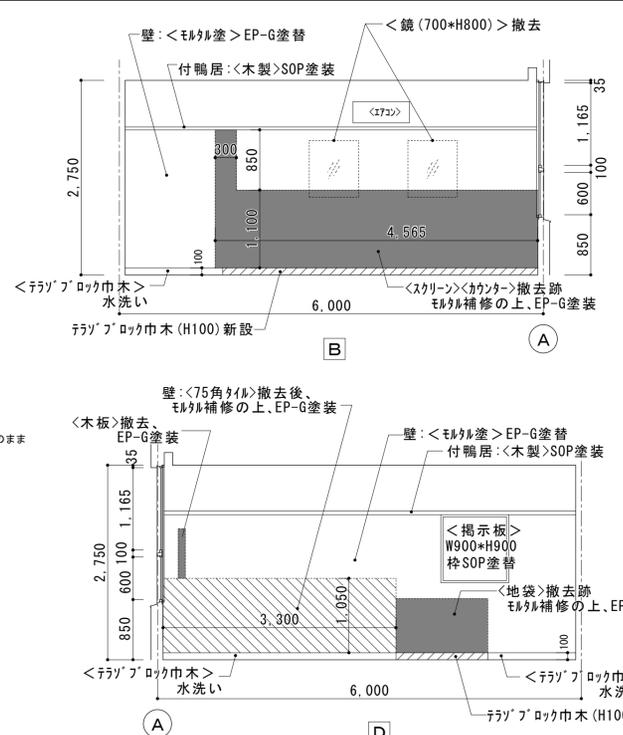
(改修前) 1階 理髪室平面詳細図 S=1:50



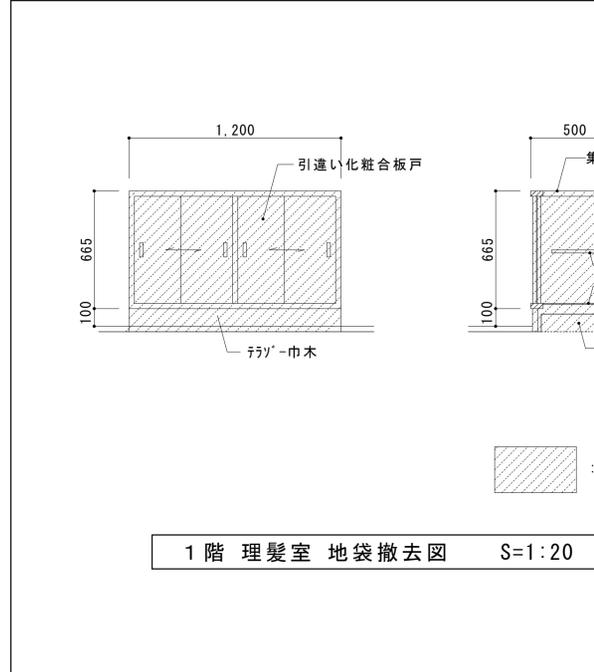
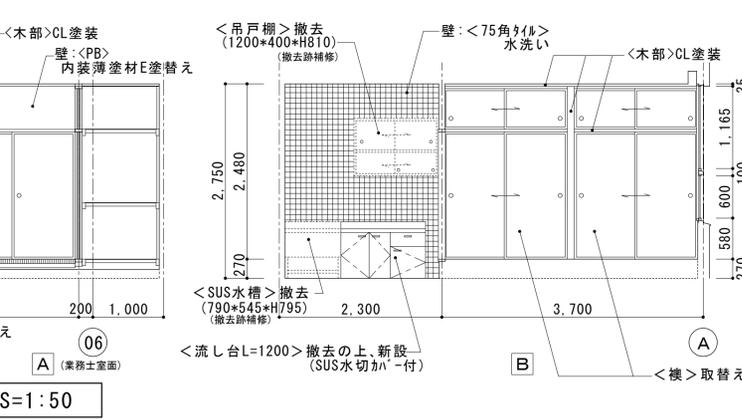
(改修後) 1階 業務士室・理髪室平面詳細図 S=1:50



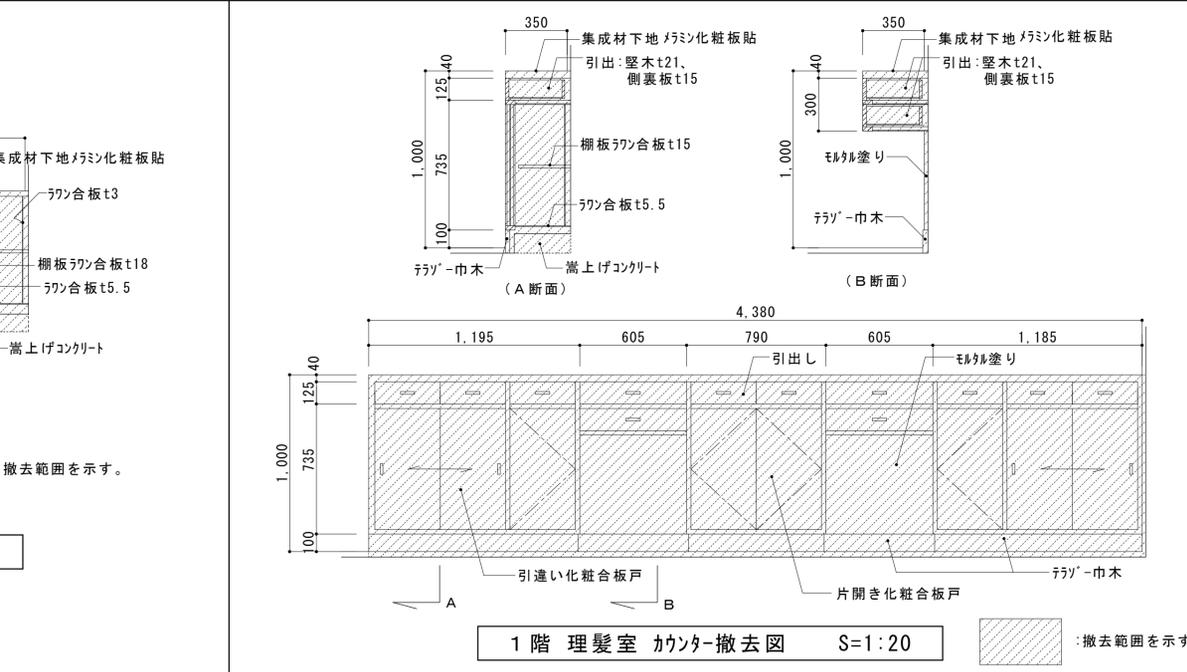
(改修後) 1階 理髪室展開図 S=1:50



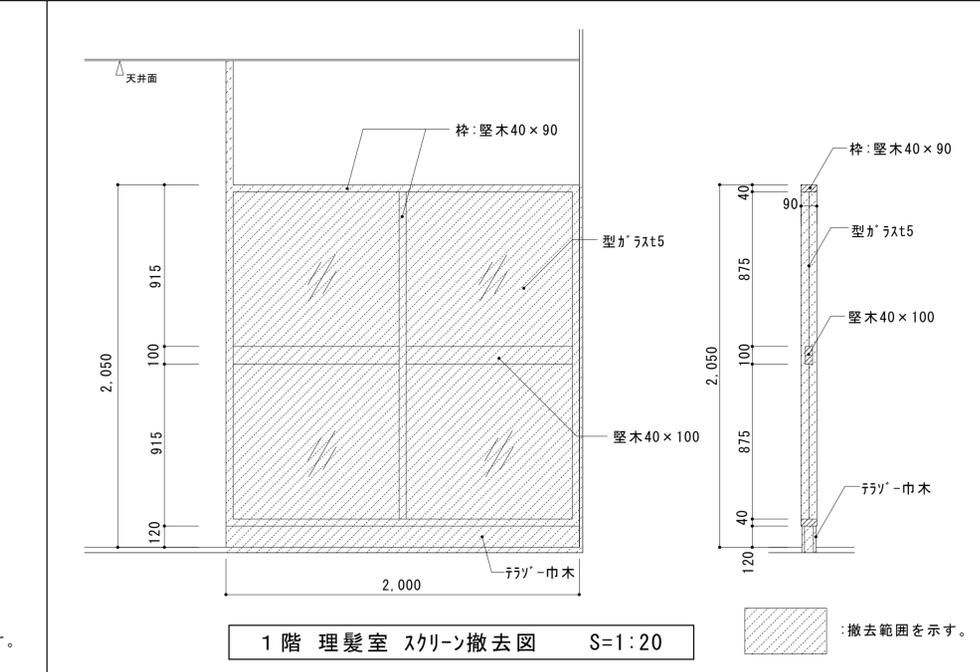
(改修後) 1階 業務士室展開図 S=1:50



1階 理髪室 地袋撤去図 S=1:20

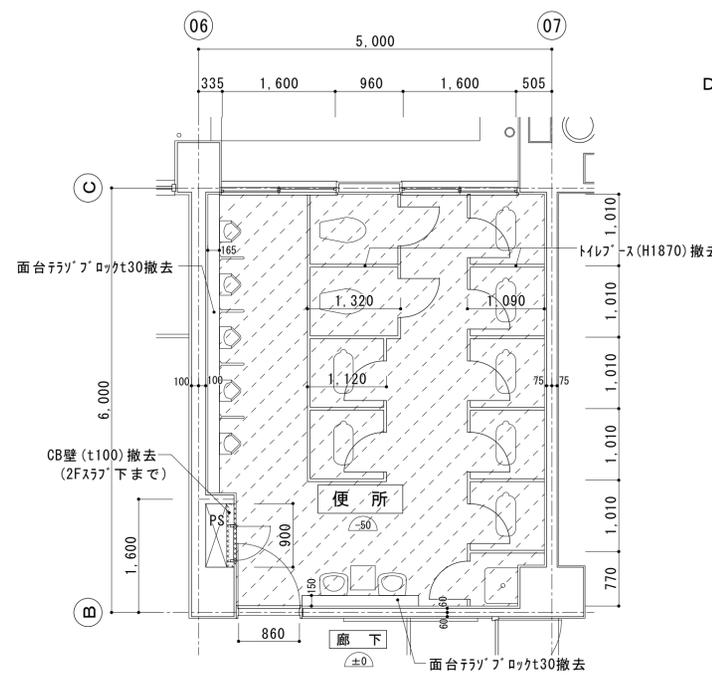


1階 理髪室 カウンター撤去図 S=1:20



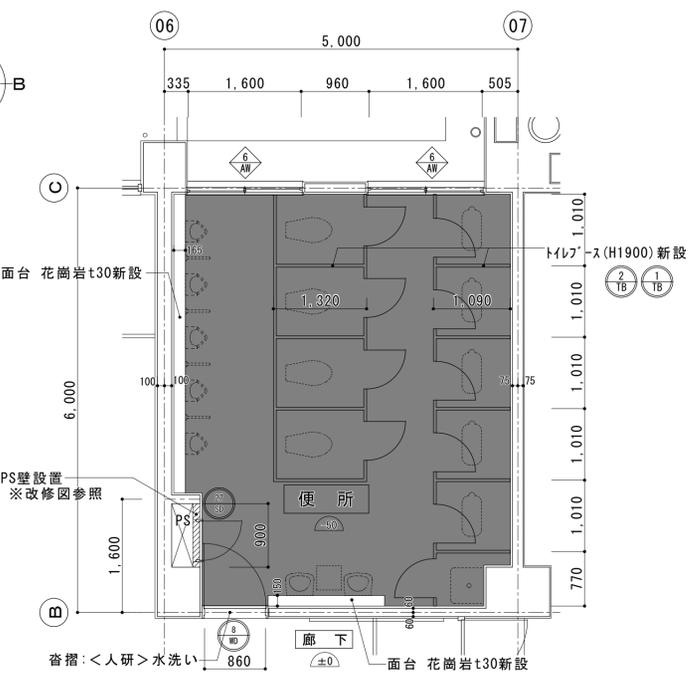
1階 理髪室 スクリーン撤去図 S=1:20

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	改修前・後 1階 便所	枚数	No.21
	平面詳細図・断面詳細図・展開図	設計	平成25年4月
縮尺	1/50 1/30	単位	M M
		担当	尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



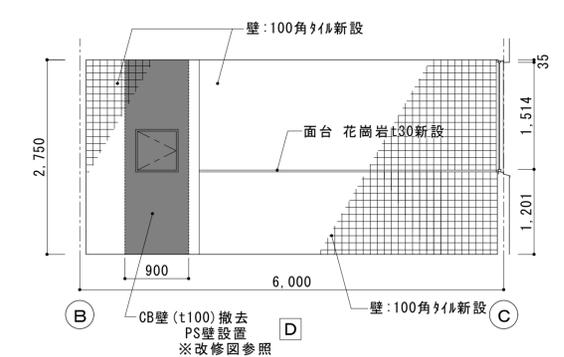
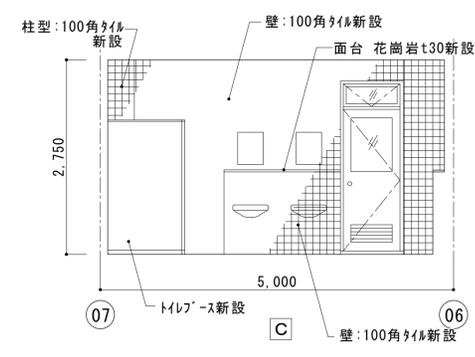
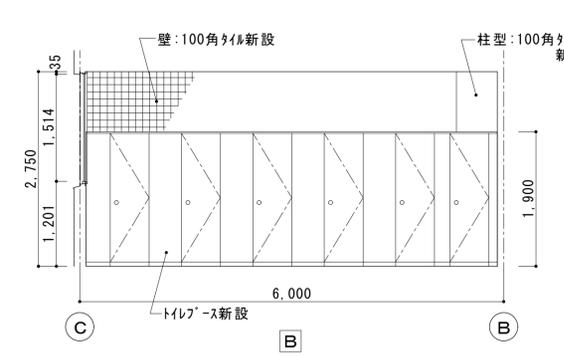
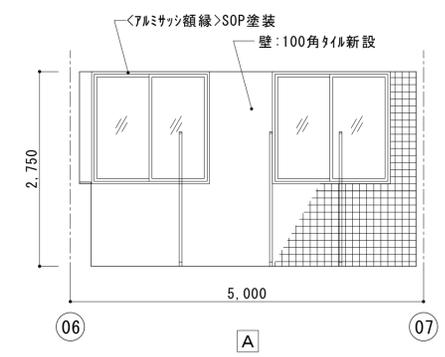
床:25角タイル撤去(和便器7基共)
豆砂利コンクリート t50共
土間コンクリート t100共
9φ@200桁コ共(壁周囲残し)

(改修前) 1階 便所平面詳細図 S=1:50

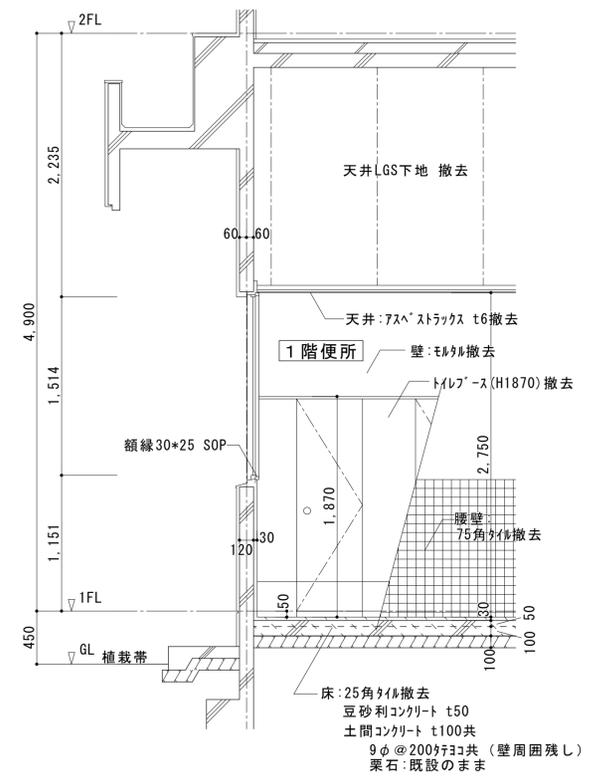


床:50角タイル新設
土間コンクリート t150打設
D10 @200桁コ共
(壁周囲既設鉄筋に重ね継手)

(改修後) 1階 便所平面詳細図 S=1:50

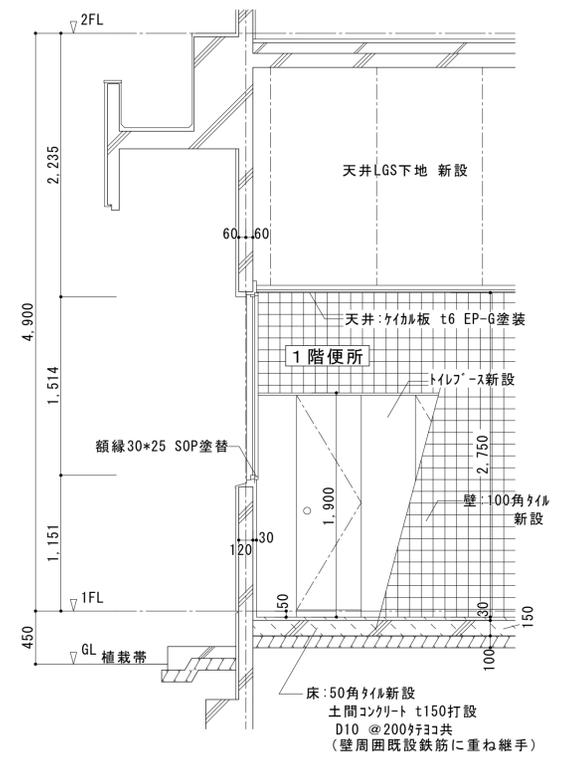


(改修後) 1階 便所展開図 S=1:50



床:25角タイル撤去
豆砂利コンクリート t50
土間コンクリート t100共
9φ@200桁コ共(壁周囲残し)
栗石:既設のまま

(改修前) 1階 便所断面詳細図 S=1:30



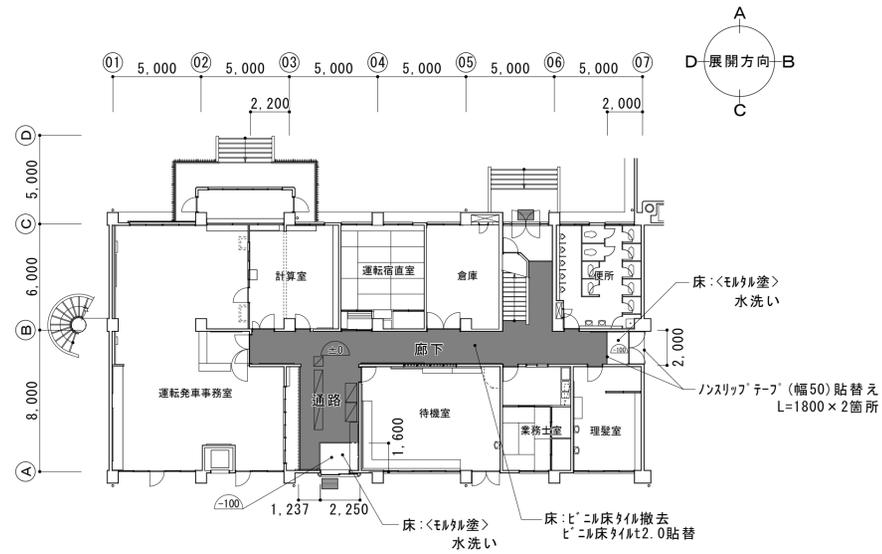
床:50角タイル新設
土間コンクリート t150打設
D10 @200桁コ共
(壁周囲既設鉄筋に重ね継手)

(改修後) 1階 便所断面詳細図 S=1:30

<トイレバス建具表>

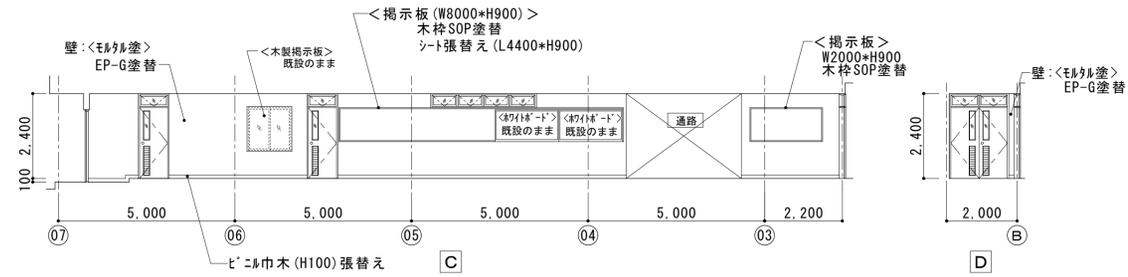
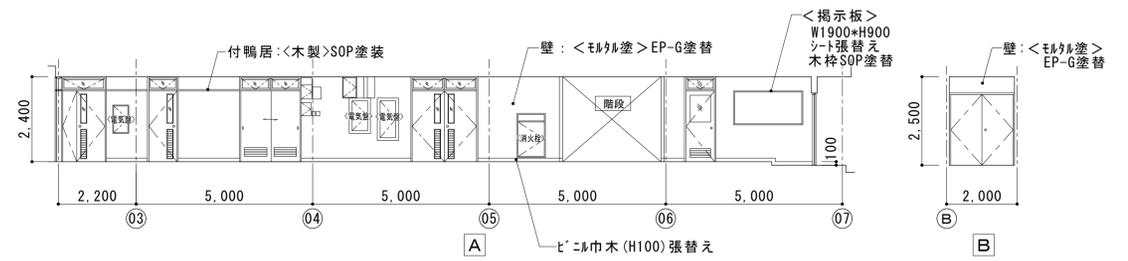
符号・形式	① 18 トイレバス	② 18 トイレバス
断面		
位置	1F便所	1F便所
数量	1	1
仕上	見込	見込
備考	ホリスチル化粧合板	ホリスチル化粧合板
数量	40	40
附子		
付属金物	表示付角ラッチ、戸当り、ヒンジ、帽子掛け、握玉付空錠(SK用)	表示付角ラッチ、戸当り、ヒンジ、帽子掛け
備考	ステンレス笠木、ステンレス巾木	ステンレス笠木、ステンレス巾木

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	1階廊下・通路 平面図・展開図	枚数	No.22 57枚の内
設計	1階便所 PS壁改修図	設計	平成25年4月
縮尺	1/200 1/100 1/50 1/10	単位	MM
		担当	尾崎
名古屋市交通局 営繕課			

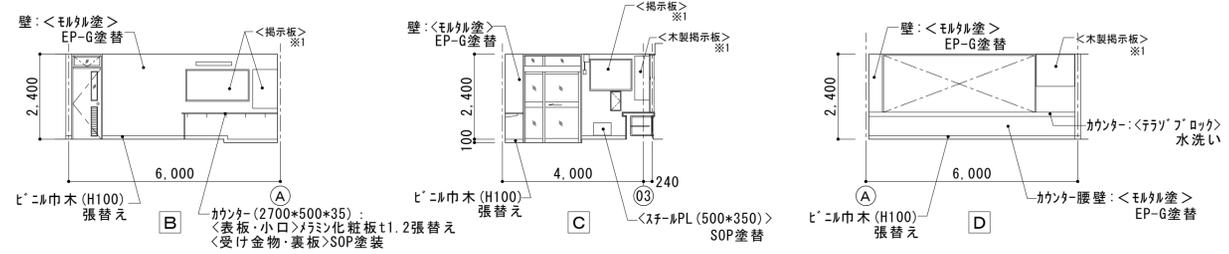


(改修後) 1階廊下・通路平面図 S=1:200

<注記>
・ノンスリップテープは 株式会社「アール」製 N-002 又は同等品とする。

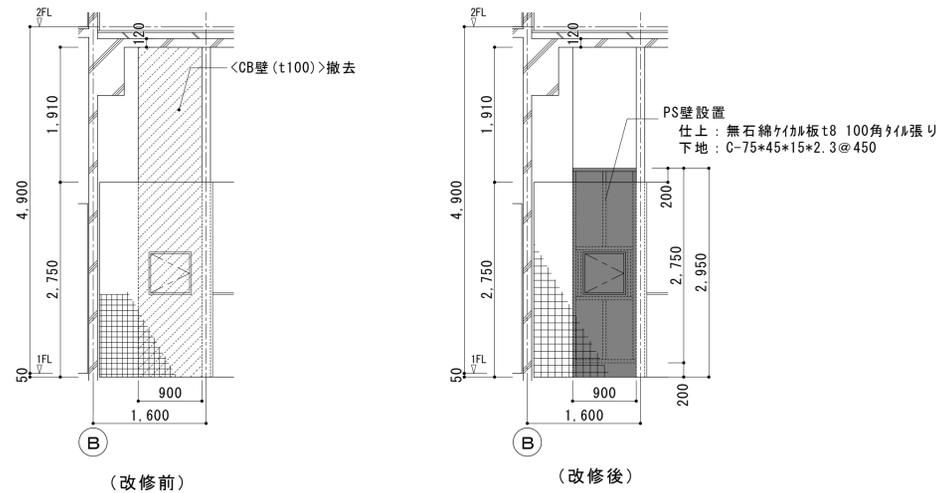


(改修後) 1階廊下展開図 S=1:100

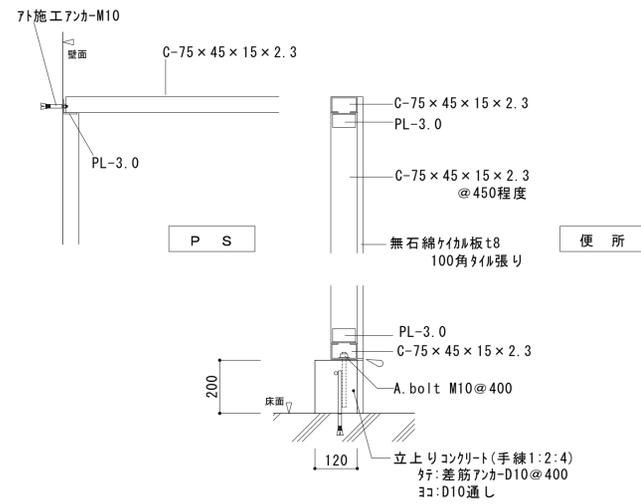


(改修後) 1階通路展開図 S=1:100

<凡例>
※1: 壁塗替時に<掲示板>等一時撤去・復旧すること。

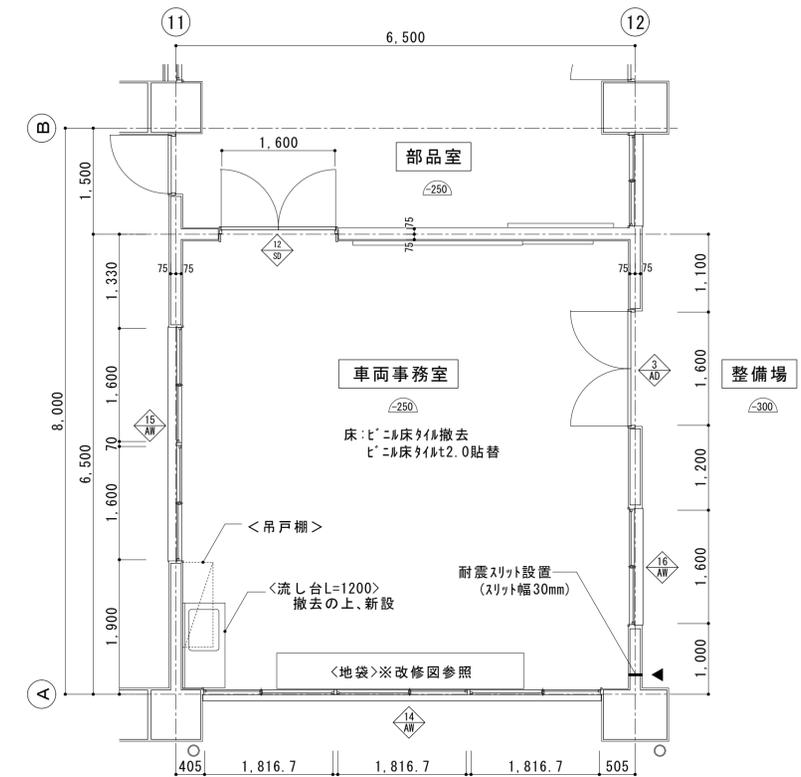
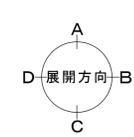


1階便所 PS壁改修図 S=1:50

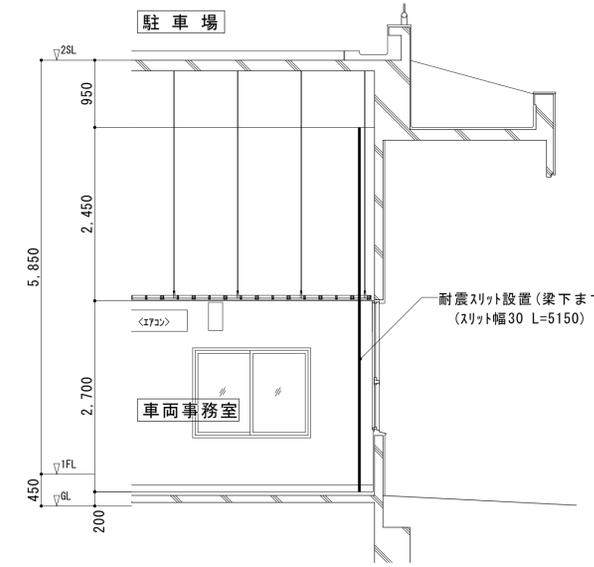


1階便所 PS壁 詳細図 S=1:10

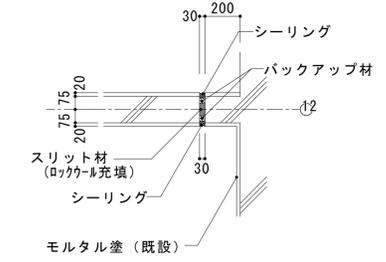
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	改修後 1階 車両事務室	枚数	No.23
	平面詳細図・展開図	設計	57枚の内 平成25年4月
縮尺	1/50	単位	M M 担 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



(改修後) 1階 車両事務室平面詳細図 S=1:50



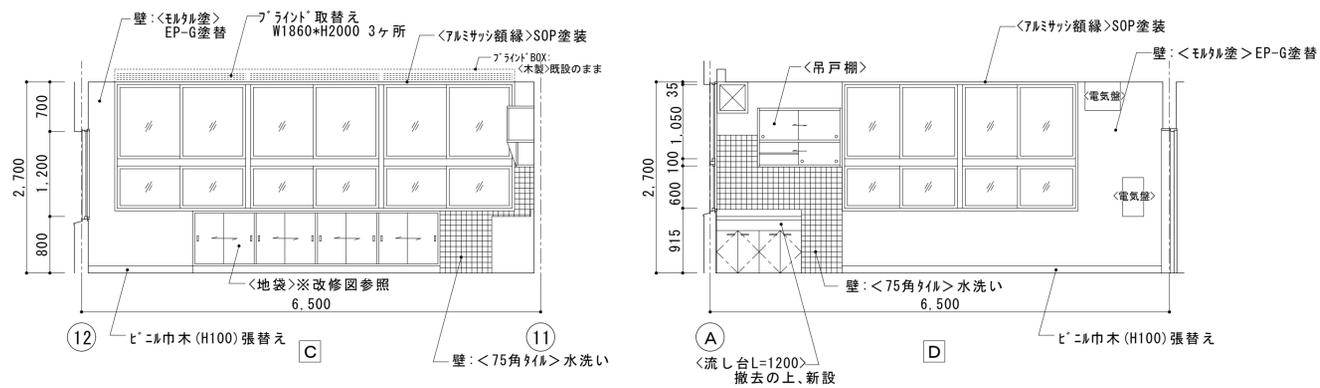
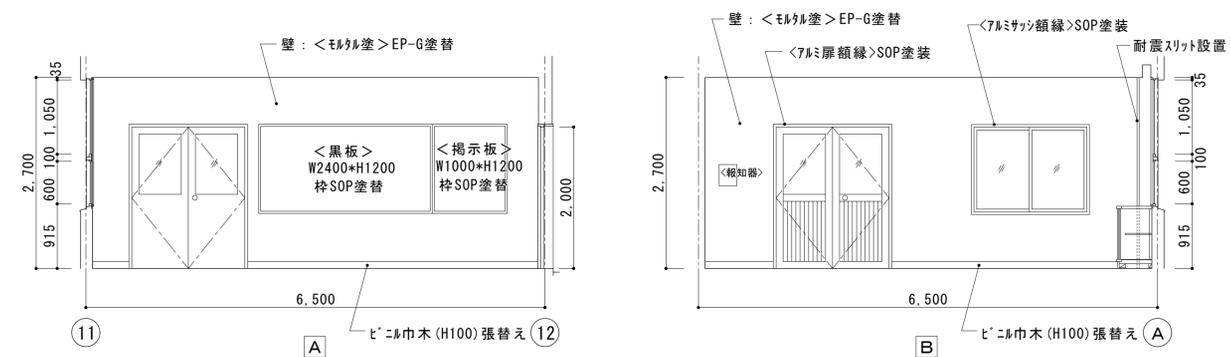
1階 車両事務室断面展開図 S=1:50



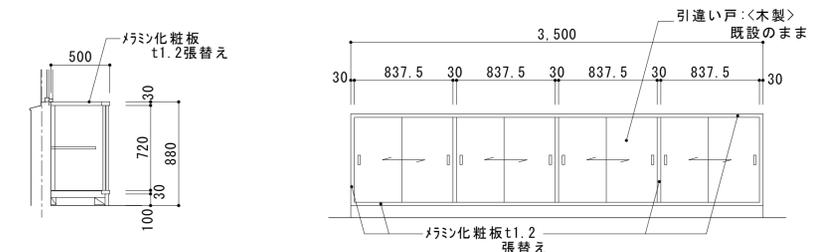
耐震スリット詳細図 S=1:20

シーリング材はポリウレタン系とする。

- <耐震スリット設置 注記>
- ・スリットの施工は、ウォールソーイング工法（端部は連続コア27φにて削孔の上、手すりによる整形処理）とする。
 - ・スリット工事部の露出鉄筋には、防錆処理（錆転換型プライマー塗布）をおこなう。
 - ・空調ドレン配管撤去及びエアコン室外機への配管・配線撤去は別途工事とする。

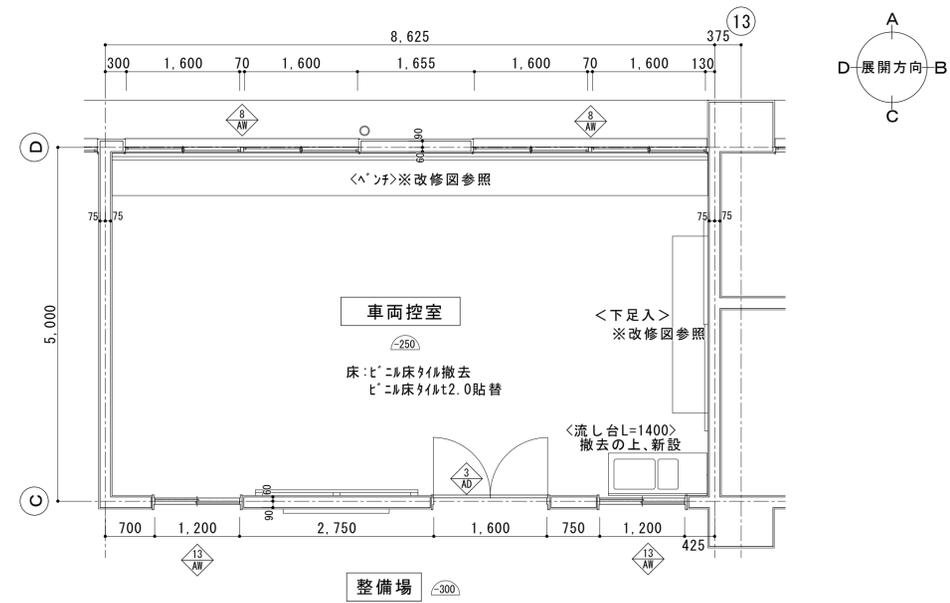


(改修後) 1階 車両事務室展開図 S=1:50

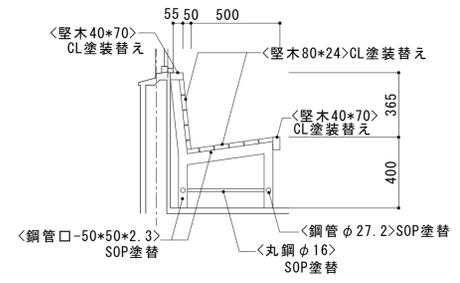


1階 車両事務室 地袋改修図 S=1:30

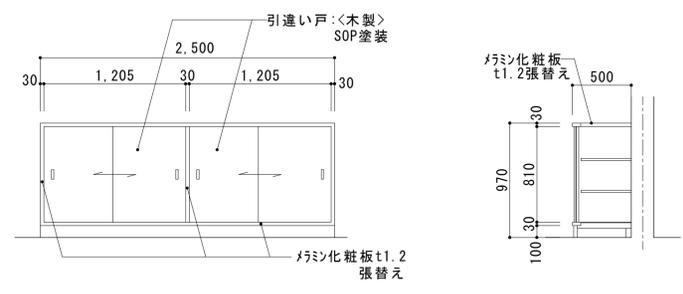
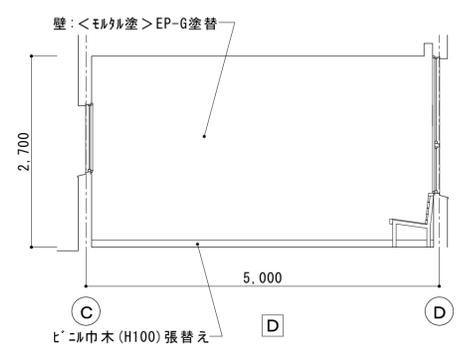
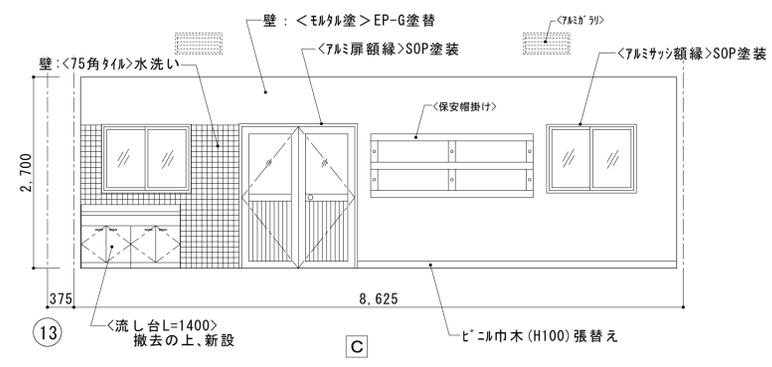
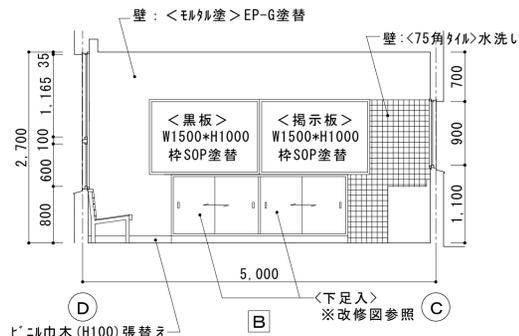
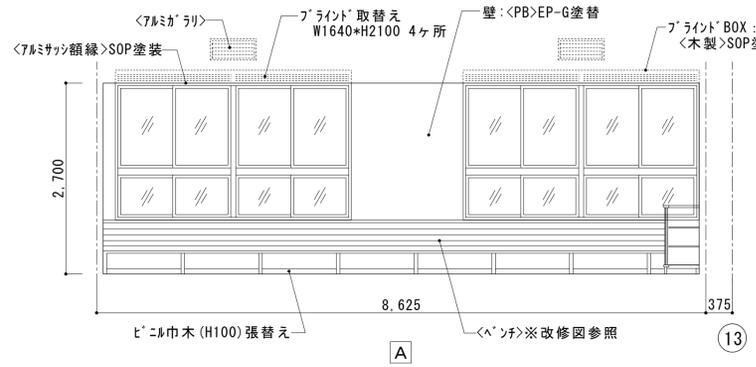
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	改修後 1階 車両控室	枚数	No.24
	平面詳細図・展開図	設計	平成25年4月
縮尺	1/50	単位	MM
		担当	尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



(改修後) 1階 車両控室平面詳細図 S=1:50



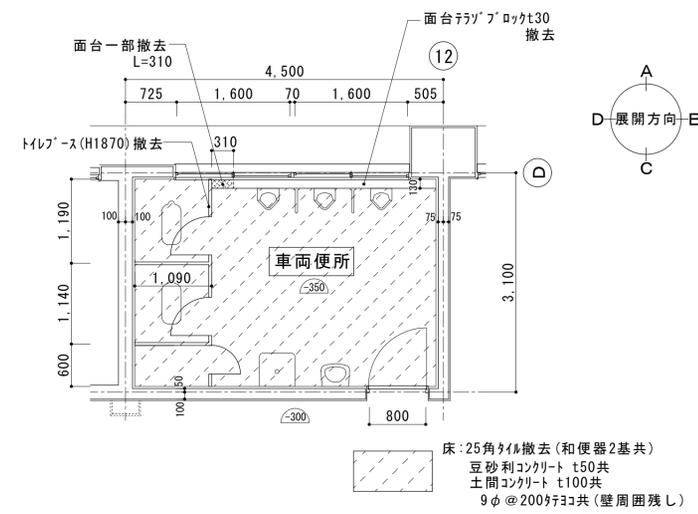
1階 車両控室ベンチ改修図 S=1:20



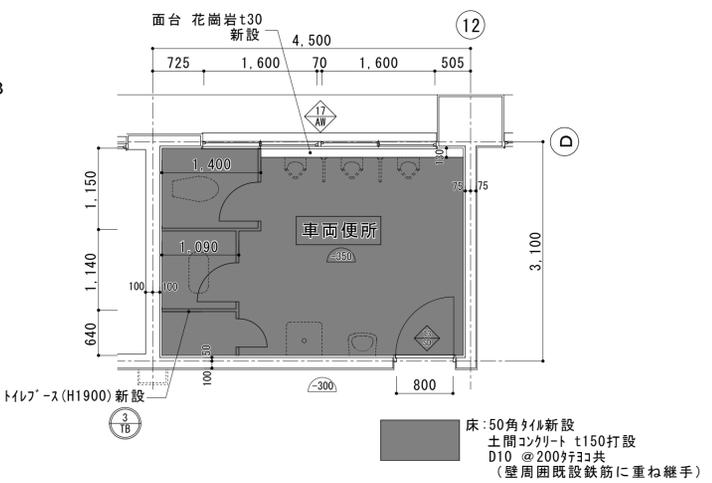
1階 車両控室 下足入改修図 S=1:30

(改修後) 1階 車両控室展開図 S=1:50

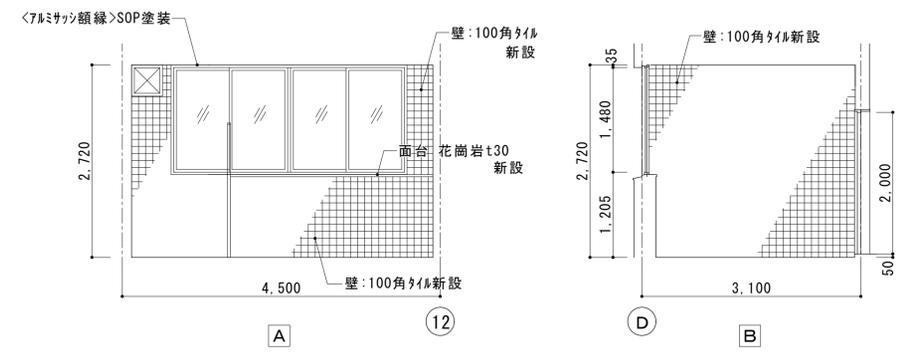
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	改修前・後 1階 車両便所	枚数	No.25 57枚の内
	平面詳細図・断面詳細図・展開図	設計	平成25年4月
縮尺	1/50 1/30	単位	MM 相当 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



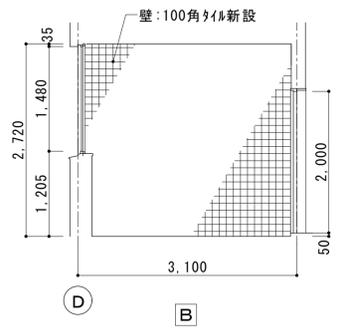
（改修前）1階 車両便所平面詳細図 S=1:50



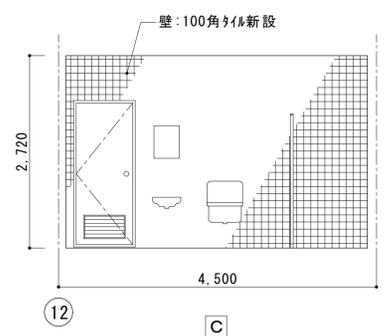
（改修後）1階 車両便所平面詳細図 S=1:50



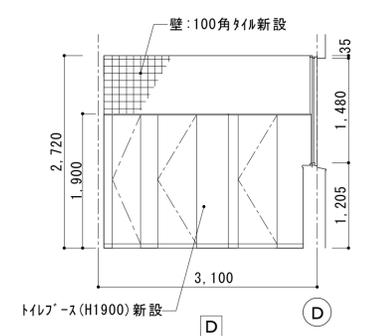
A



B



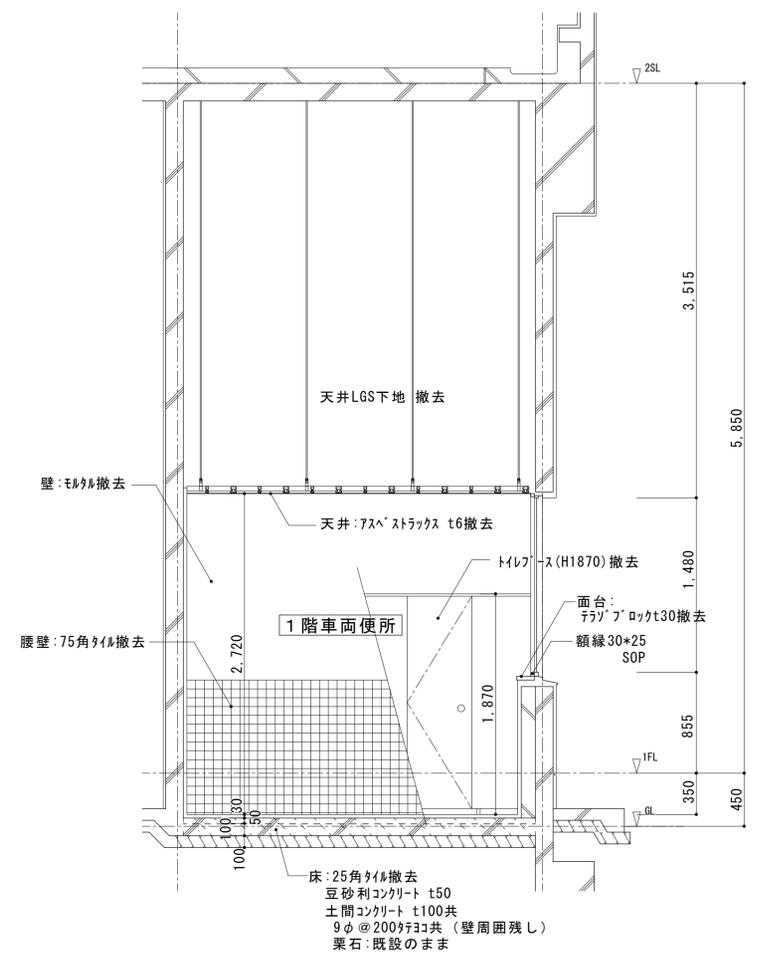
C



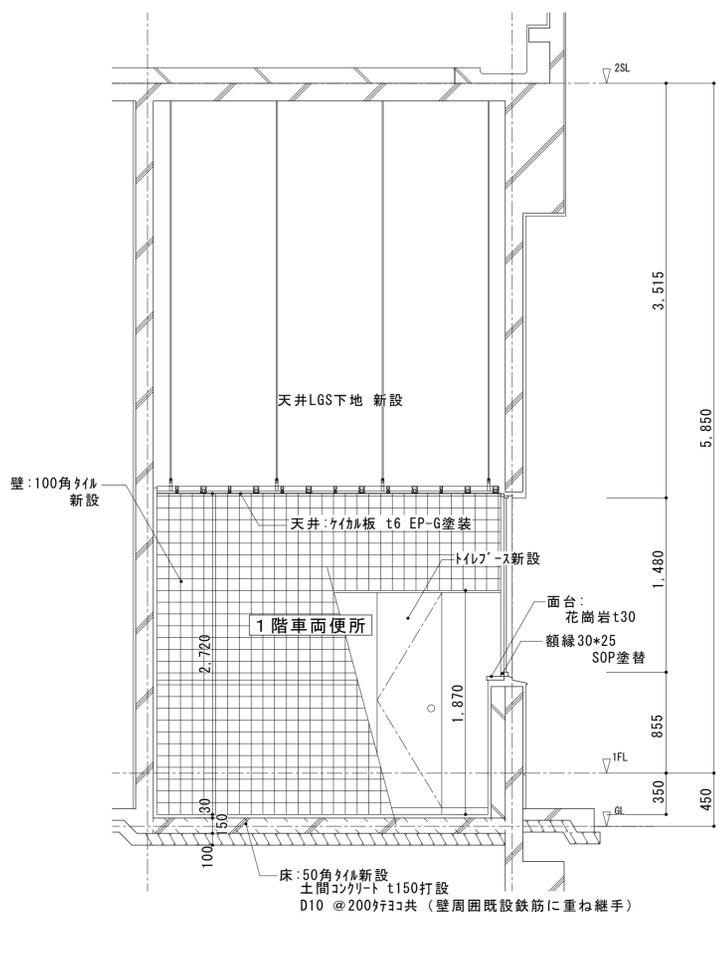
D

（改修後）1階 車両便所展開図 S=1:50

符号・形式	③/⑧ トイレ-ス		
姿			
位置	1F 車両便所	1	
仕上	見込	ホ-リスチル化粧合板	40
備子			
付属金物	表示付角ラッチ(2ヶ)、戸当り(3ヶ)、ヒンジ(3ヶ)、帽子掛け(2ヶ)、握玉付空錠(SK用)(1ヶ)		
備考	ステンレス笠木、ステンレス巾木		

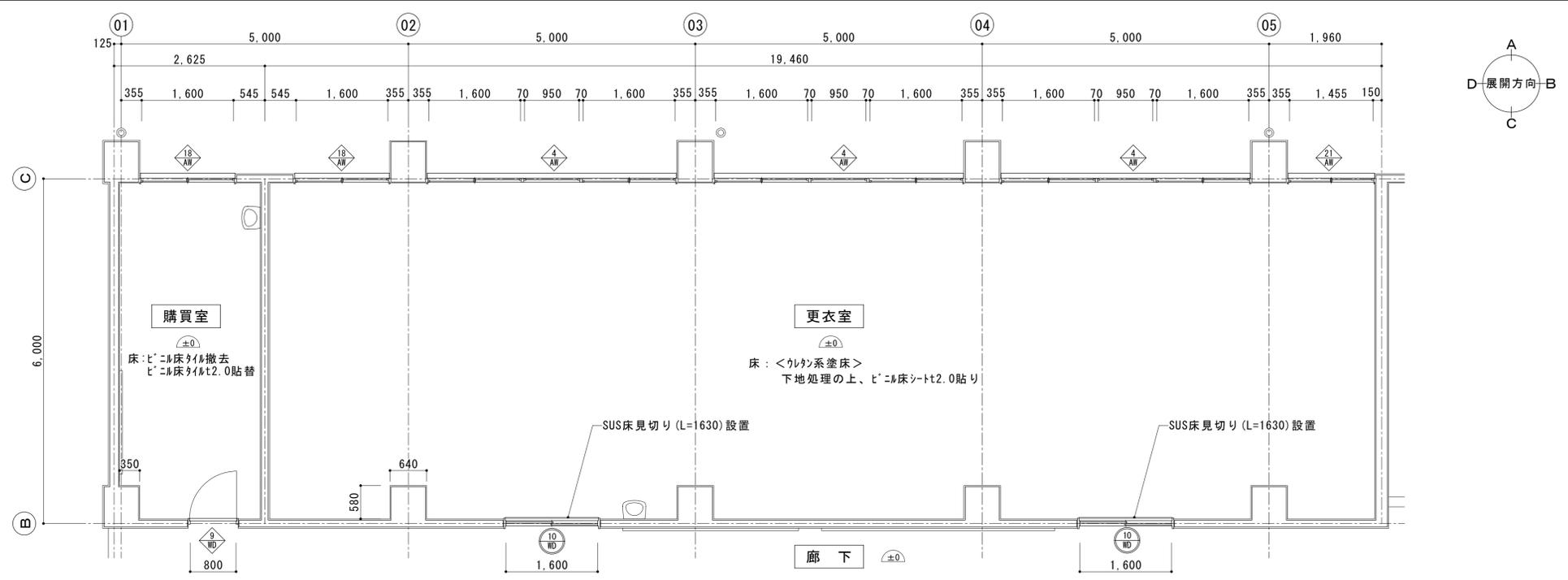


（改修前）1階 車両便所 断面詳細図 S=1:30



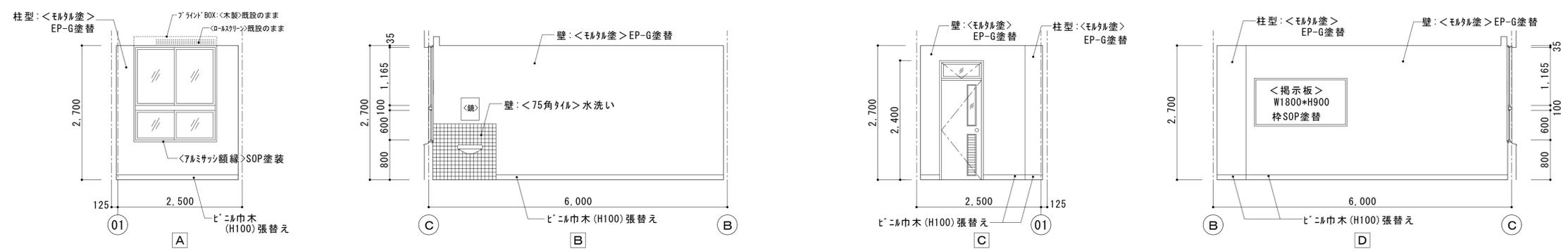
（改修後）1階 車両便所 断面詳細図 S=1:30

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	2階 購買室・更衣室	枚数	No.26
	平面詳細図・展開図	設計	平成25年4月
縮尺	1/50	単位	MM
		担当	尾崎
名古屋市交通局 営繕課			

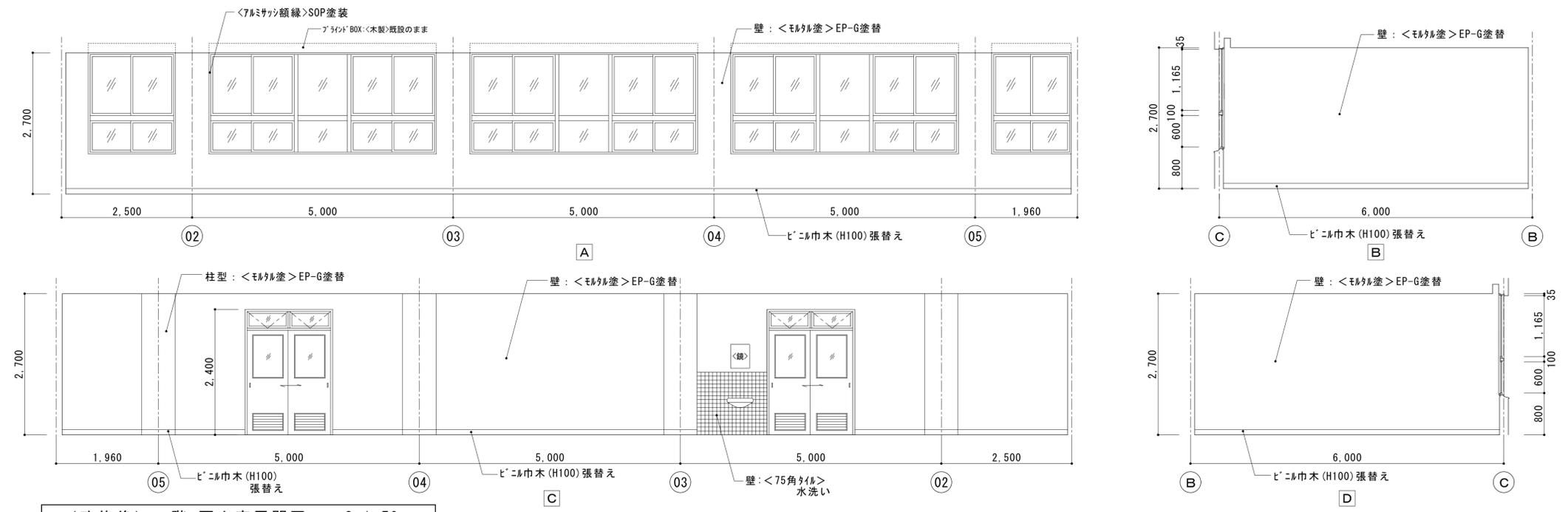


- <注記>
- ・更衣室は2分割施工とする。
 - ・施工部外に粉塵等が飛散しないようにシート等で区画すること。
 - ・更衣室既設塗床面のクラック・欠けを補修のこと。
 - ・更衣室ビニル床シートはウレタン樹脂系接着剤を使用のこと。

（改修後）2階 購買室・更衣室平面詳細図 S=1:50

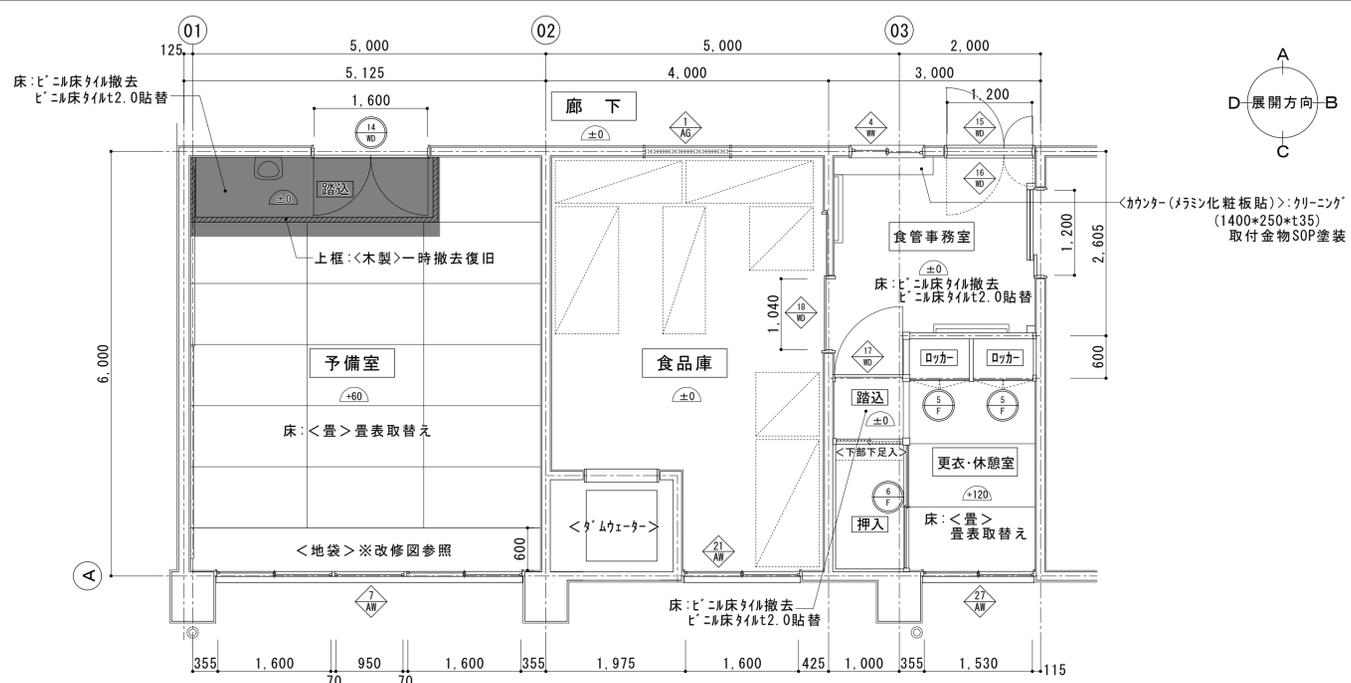


（改修後）2階 購買室展開図 S=1:50



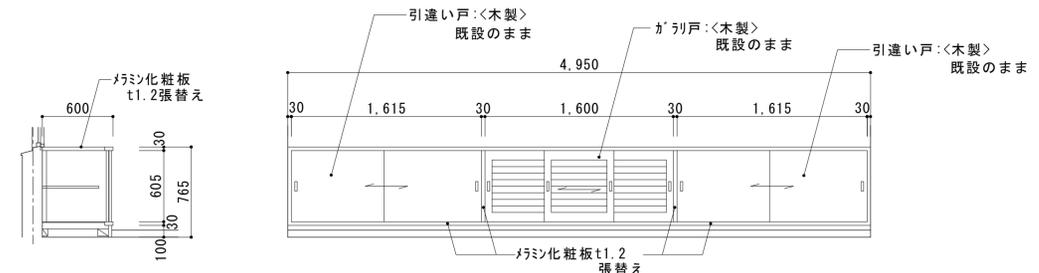
（改修後）2階 更衣室展開図 S=1:50

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	2階 予備室・食管事務室・更衣休憩室	枚数	No. 27
	平面詳細図・展開図	設計	平成25年4月
縮尺	1/50	単位	MM
		担当	尾崎
名古屋市交通局 管轄課			

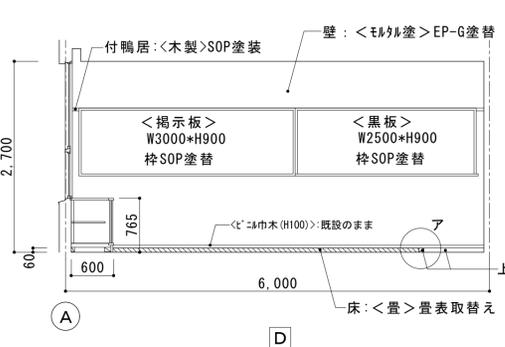
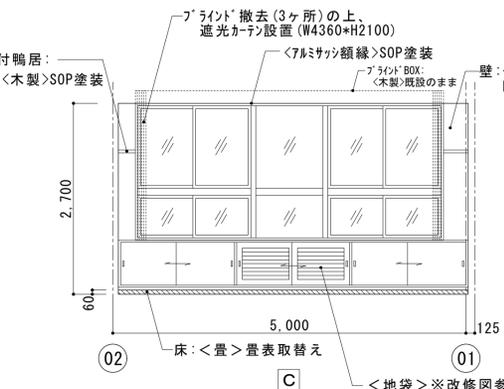
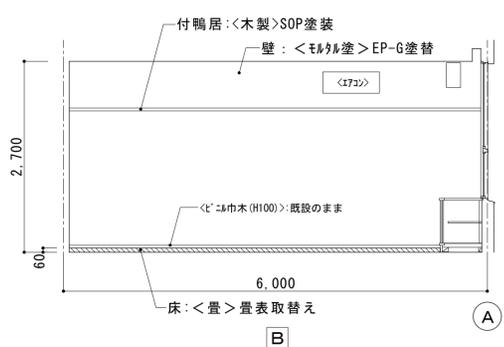
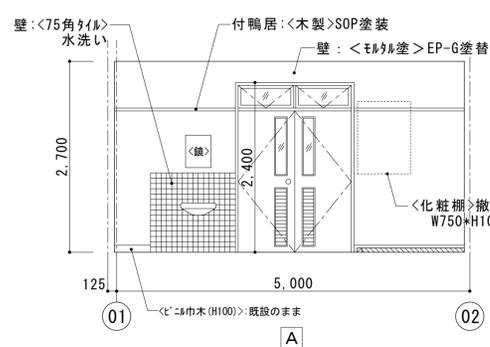


(改修後) 2階 予備室・更衣休憩室平面詳細図 S=1:50

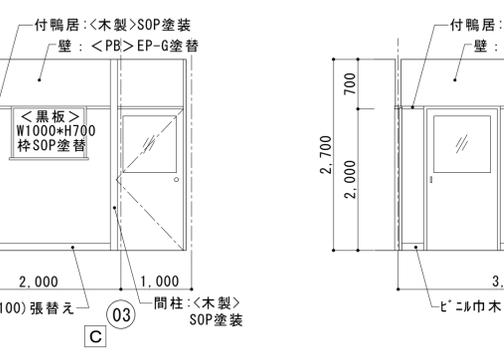
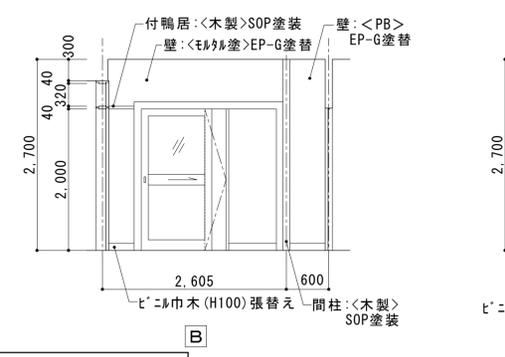
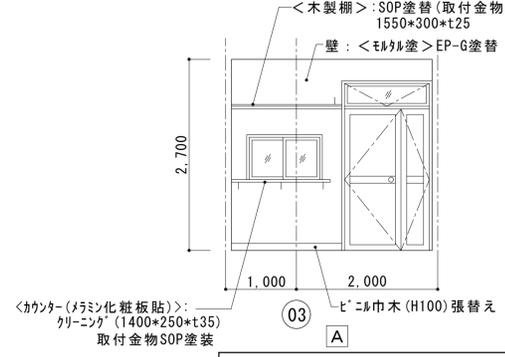
- <注記>
- ・遮光カーテンは、シングル、引分け、遮光1級、片ひだとし、タテバインド及びふさ掛け付とする。
 - ・遮光カーテン召合せの重ねかけは300mm以上とする。
 - ・カーテンレール及びフックはステンレス製とする。



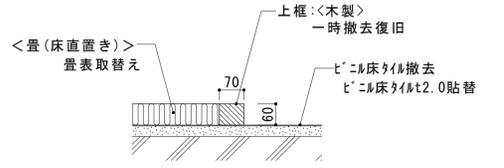
2階 予備室 地袋改修図 S=1:30



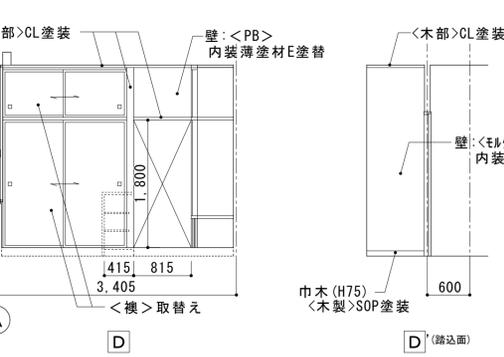
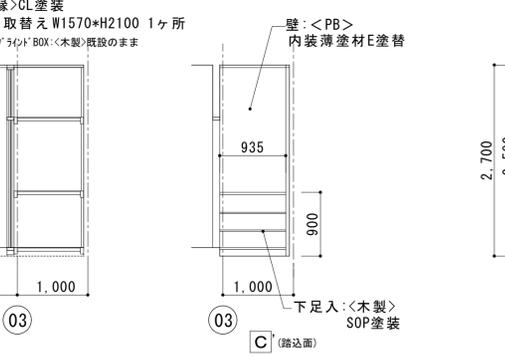
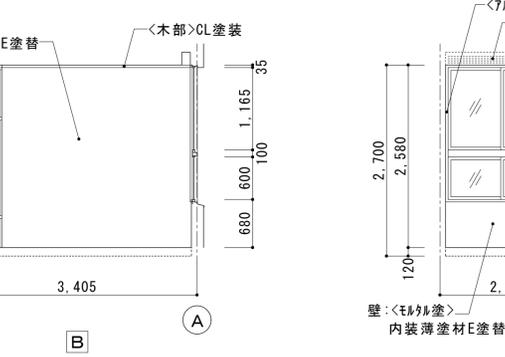
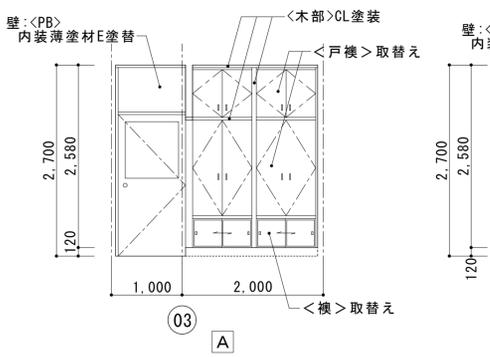
(改修後) 2階 予備室展開図 S=1:50



(改修後) 2階 食管事務室展開図 S=1:50

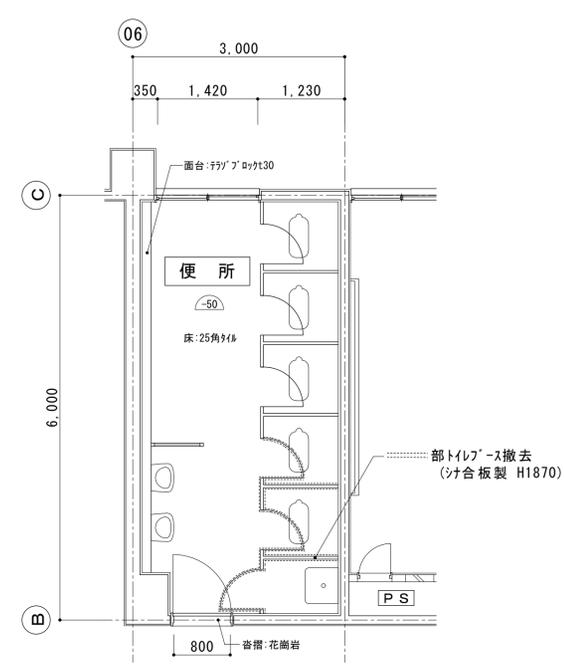


(ア部 詳細 S=1:10)

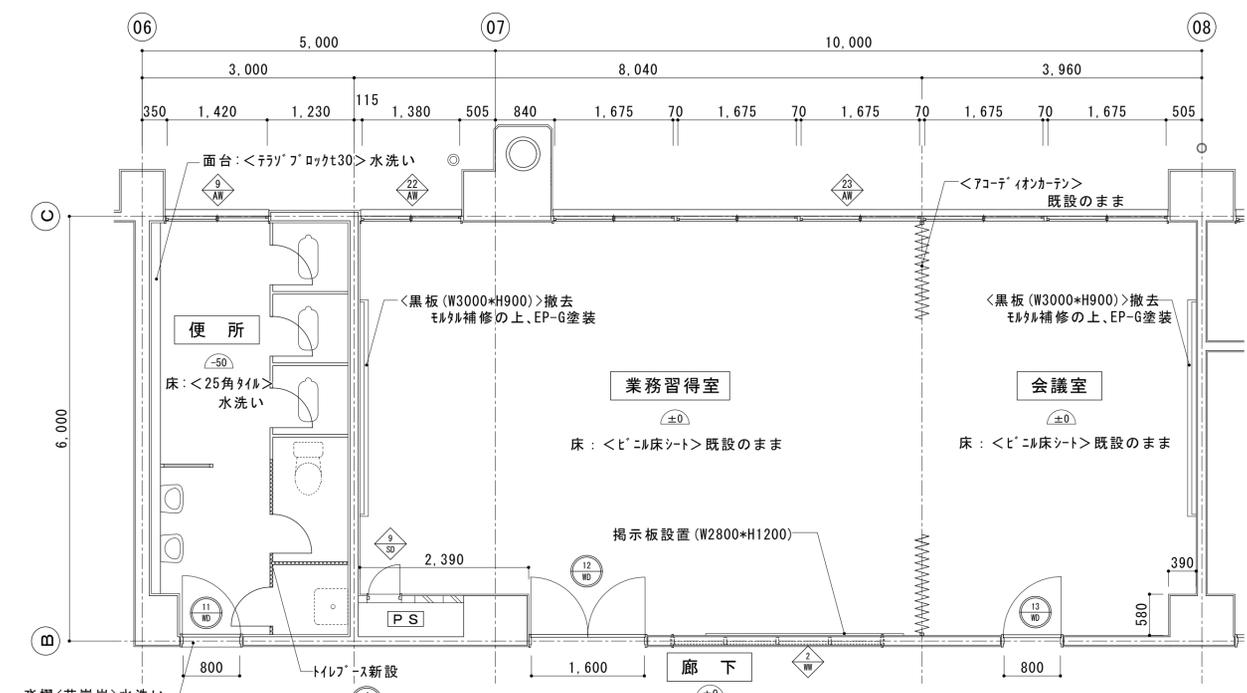


(改修後) 2階 更衣休憩室展開図 S=1:50

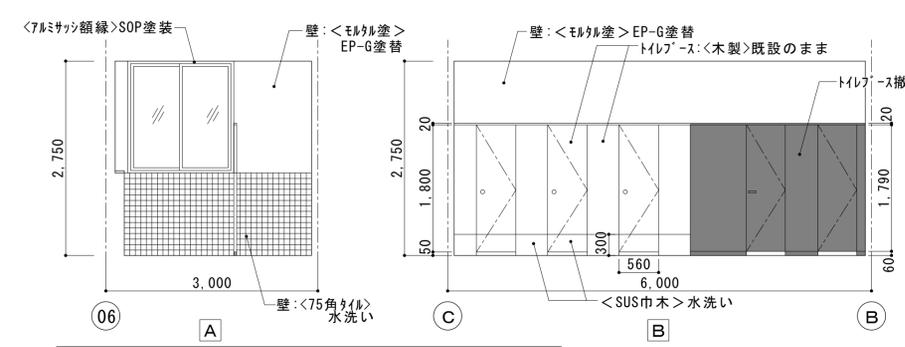
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	2階 便所・業務習得室・会議室	枚数	No.28
平面詳細図・展開図		設計	平成25年4月
縮尺	1/50	単位	MM
		担当	尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



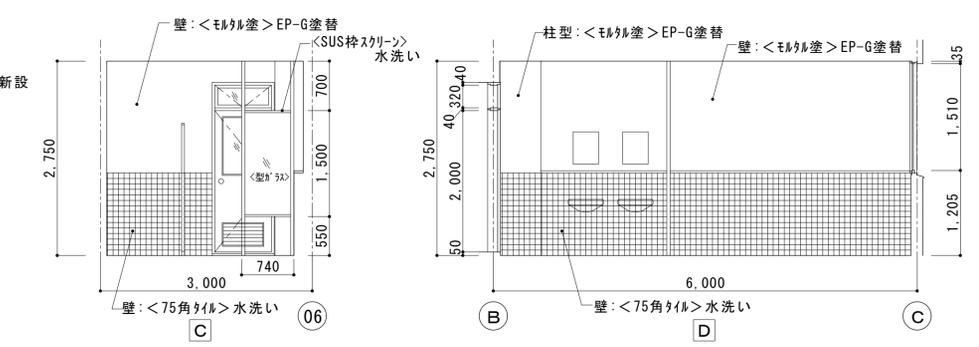
（改修前）2階 便所平面詳細図 S=1:50



（改修後）2階 便所・業務習得室・会議室平面詳細図 S=1:50



（改修後）2階 便所展開図 S=1:50

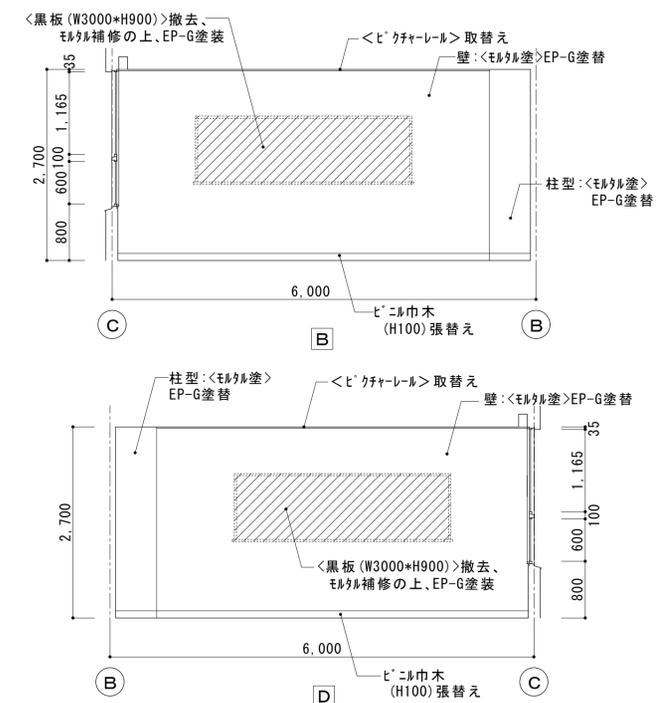
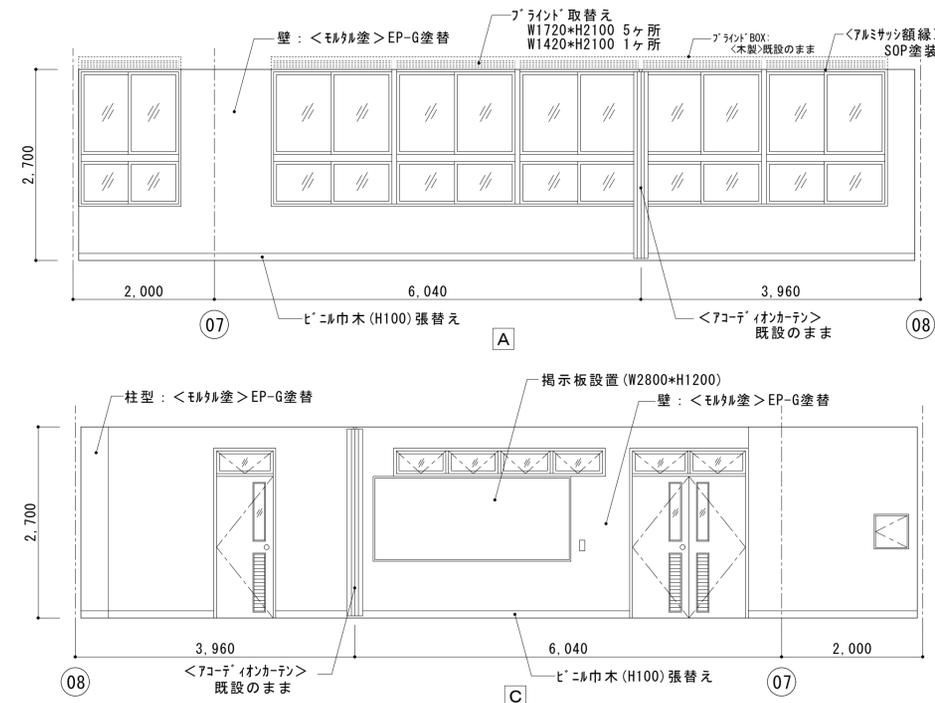


（改修後）2階 業務習得室・会議室展開図 S=1:50

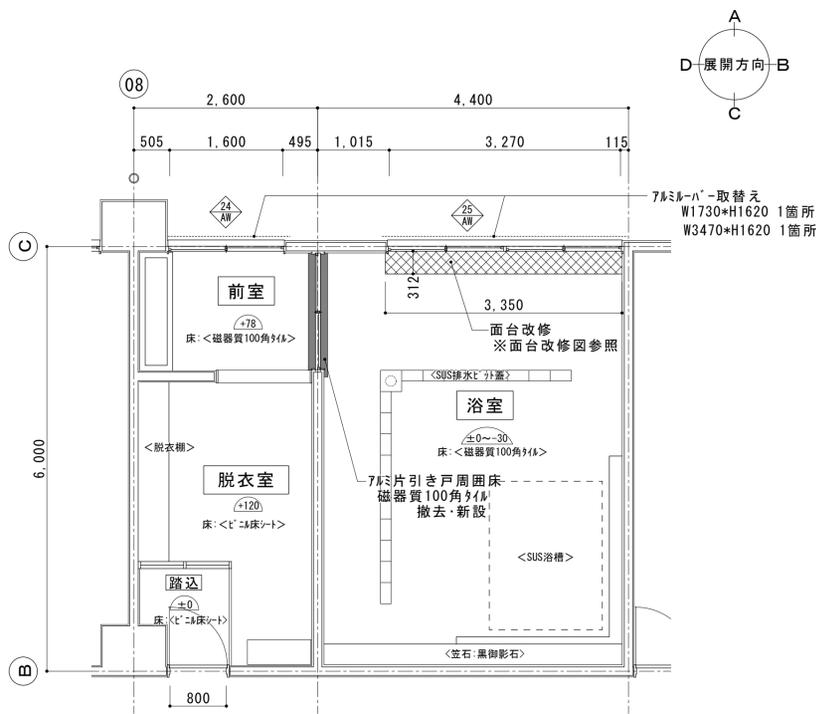
<注記>
 ・2階 便所壁75角タイル破損部タイル張替えのこと(18枚程度)。
 ・掲示板は寸合板t5.5下地、ビニルシート貼、7mmミサシとする。

<トイレース建具表>

符号・形式	① T18 トイレース
位置	2F 便所
数量	1
仕上	見込 木質化粧化粧板
数量	40
備子	
付属金物	表示付角ラッチ、戸当り、ヒンジ、帽子掛け、ケースハンドル錠 (SK用)
備考	ステンレス木、ステンレス巾木

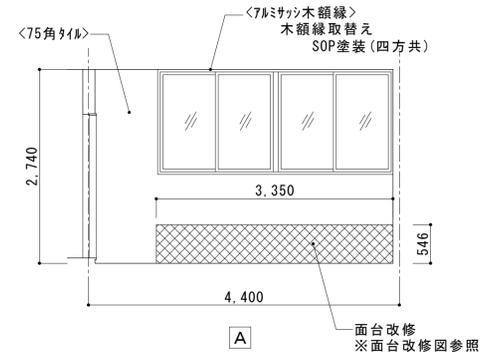


大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	2階 浴室・車両宿直室	枚数	No. 29
	平面詳細図・展開図	設計	平成25年4月
縮尺	1/50 1/20 1/10	単位	MM
名古屋市交通局営繕課		担当	尾崎

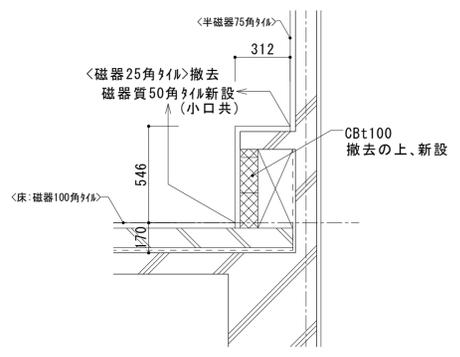


(改修後) 2階 浴室平面詳細図 S=1:50

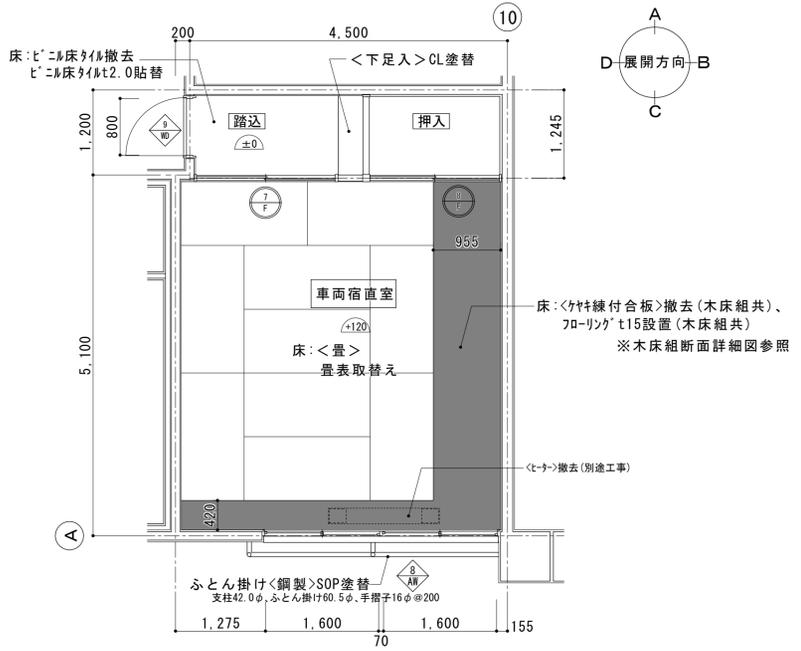
<注記>
 ・7mmミルバ-は、ABC商会機7mmカラSL-6
 又は同等品とする。



(改修後) 2階 浴室展開図 S=1:50

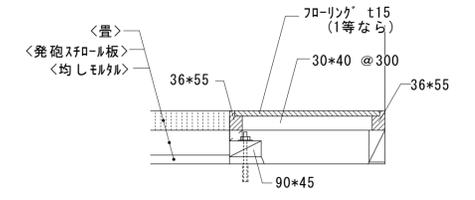


2階 浴室 面台改修図 S=1:20

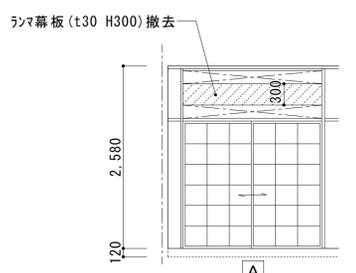


(改修後) 2階 車両宿直室平面詳細図 S=1:50

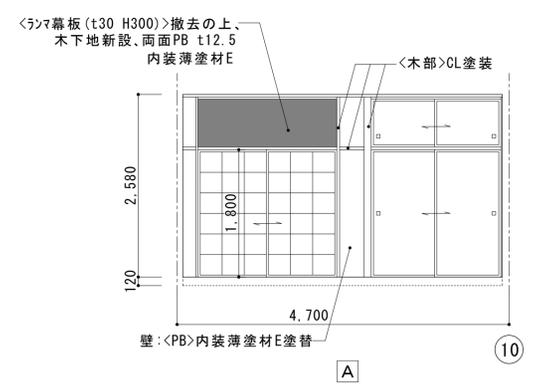
<注記>
 ・遮光カーテンは、シツル引分け、遮光1級、片ひだとし、
 タツェパツト及びふさ掛け付とする。
 ・遮光カーテン召合せの重ねかけは300mm以上とする。
 ・カーテンレール及びフックはステンレス製とする。



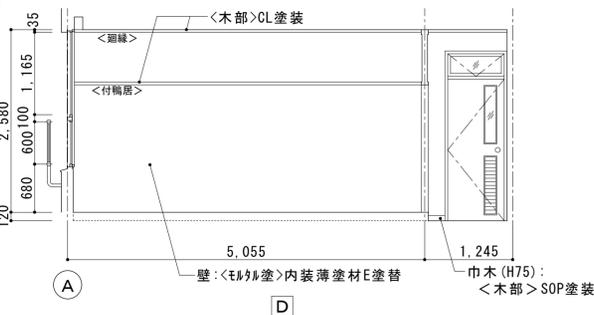
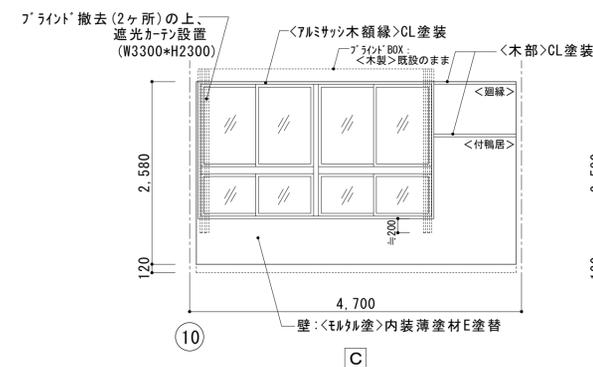
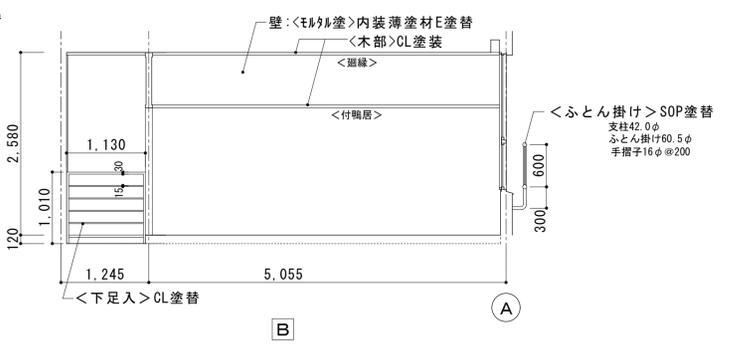
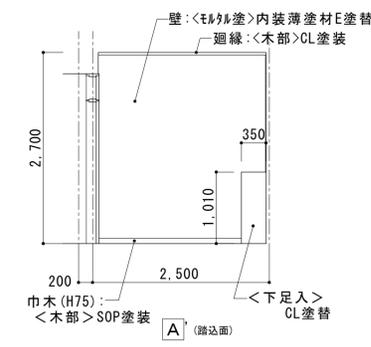
木床組断面詳細図 S=1:10



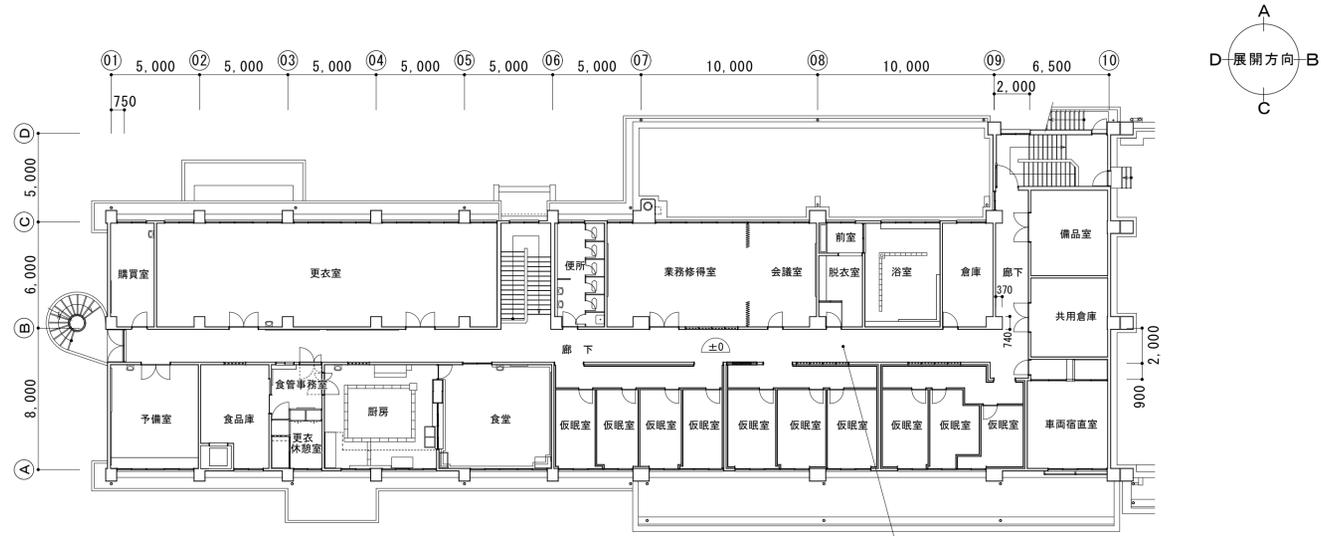
(改修前) 欄間部展開図 S=1:50



(改修後) 2階 車両宿直室展開図 S=1:50

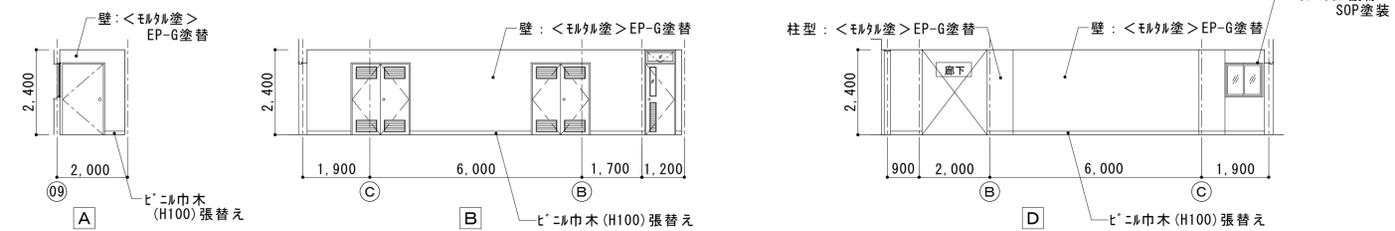
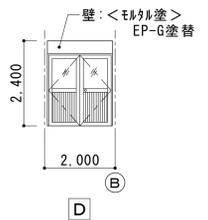
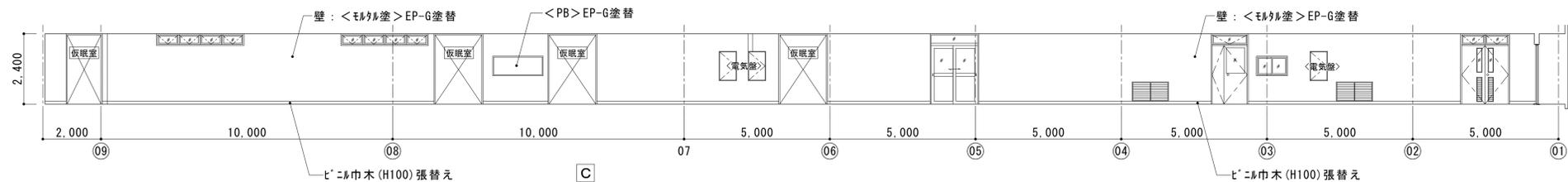
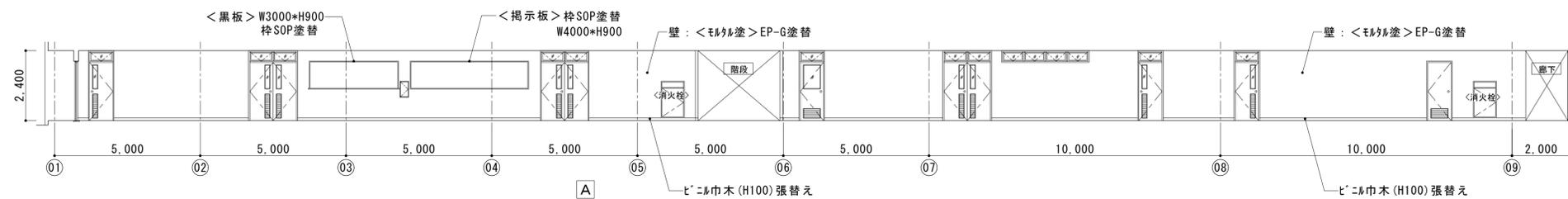


大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	改修後 2階 廊下	枚数	No.30
	平面図・展開図	設計	57枚の内 平成25年4月
縮尺	1/200 1/100	単位	M M 担 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



(改修後) 2階 廊下平面図 S=1:200

床:<ビニル床シート>
既設のまま



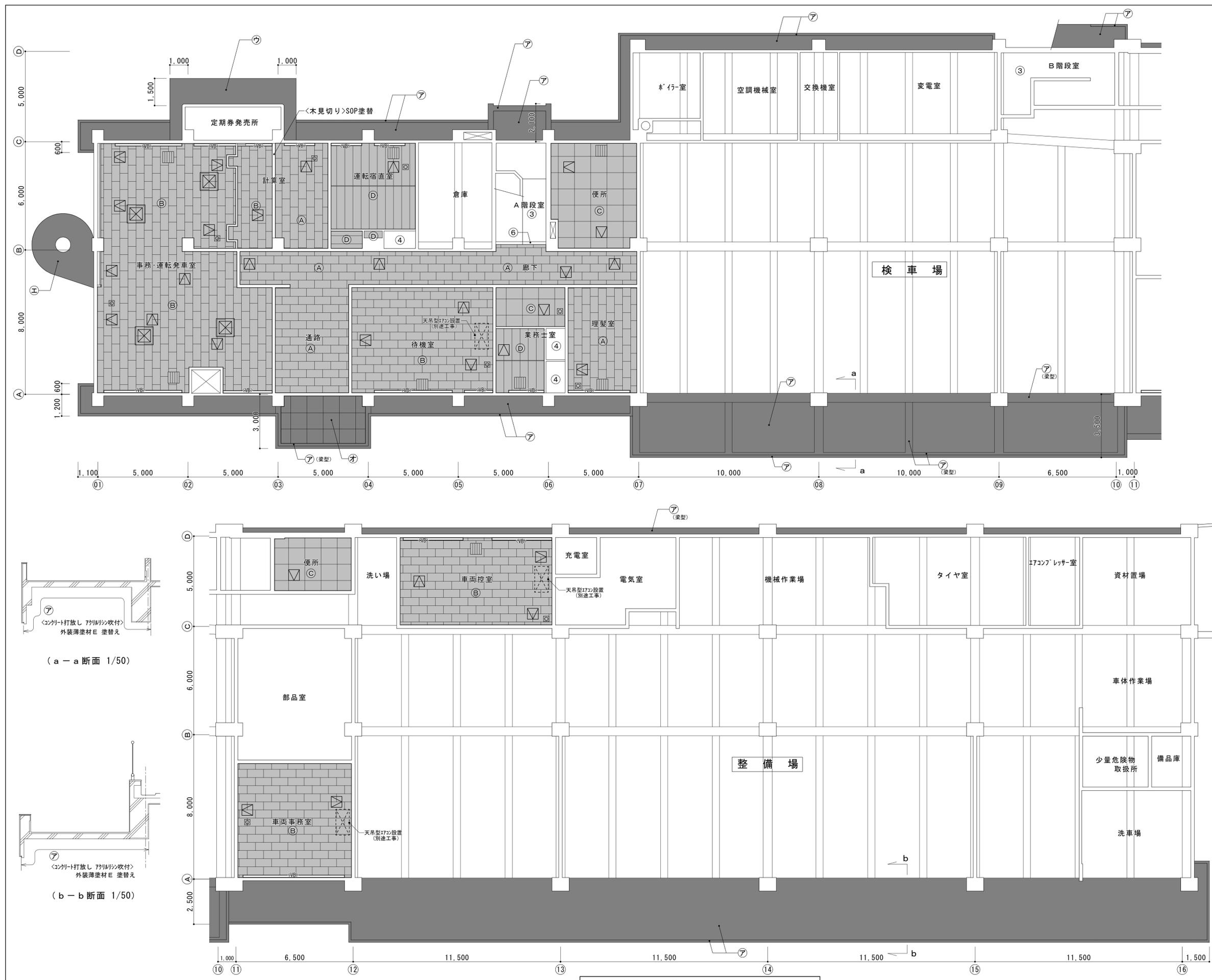
(改修後) 2階 廊下展開図 S=1:100

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図名	改修後 1階 天井伏図	枚数	No.31 57枚の内
設計		設計	平成25年4月
縮尺	1/100 1/50	単位	M/M 担当 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			

<改修後>
仕上凡例

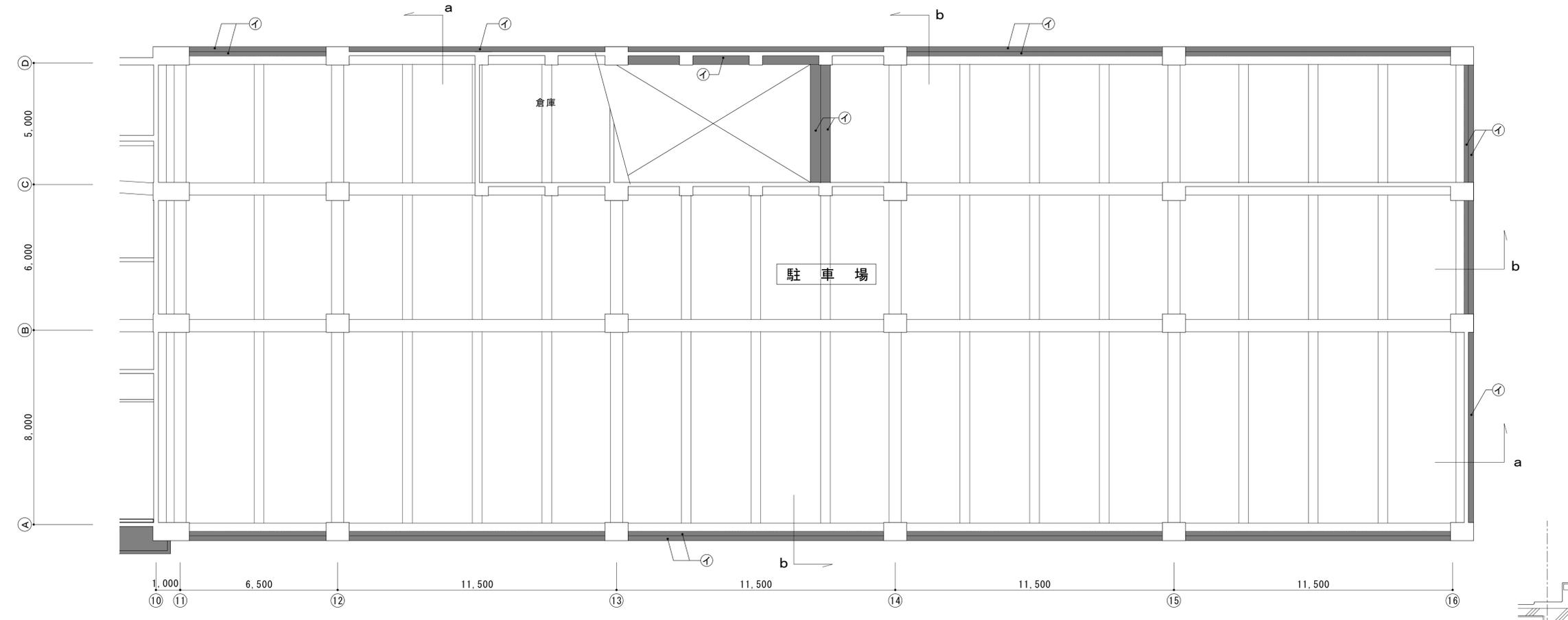
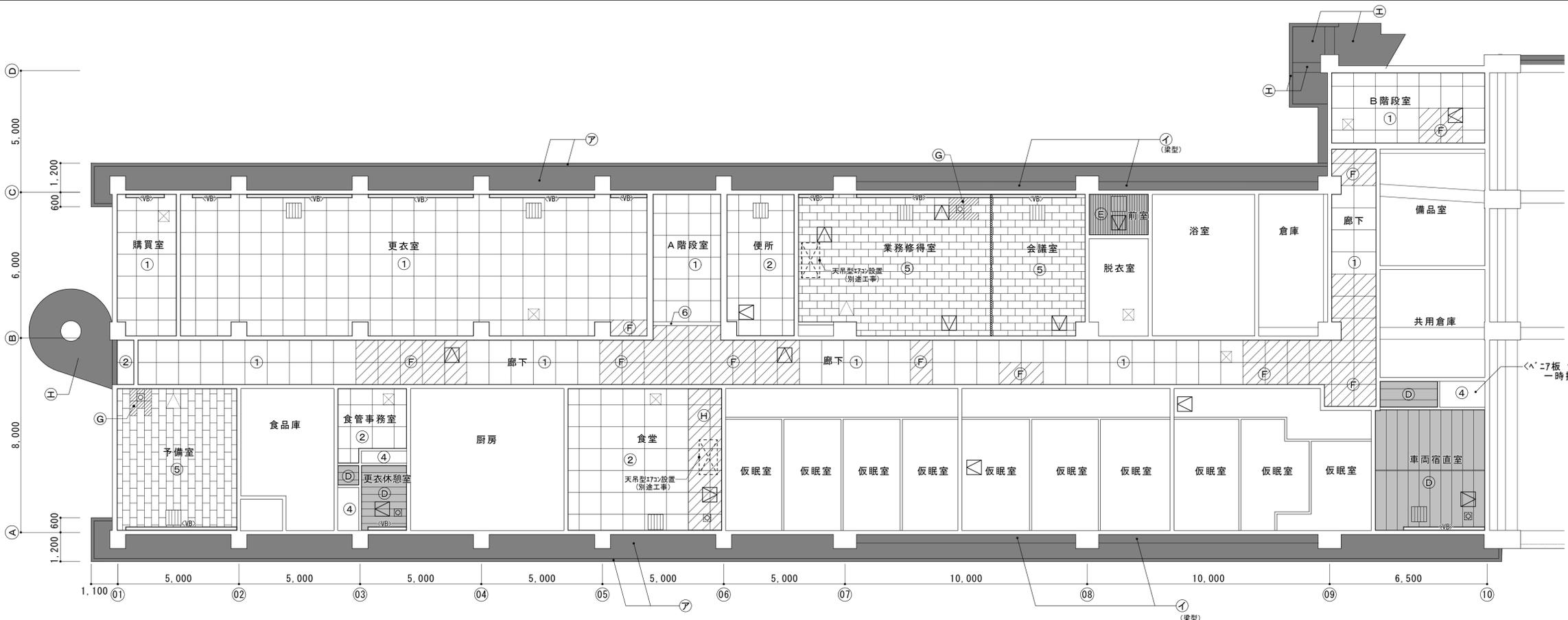
符号	仕上
(A)	PB t9.0目透張り撤去(LGS下地共)の上、LGS下地 化粧PB t9.5
(B)	PB t9.0下張り 岩綿吸音板t9.0撤去(LGS下地共)の上、LGS下地 化粧PB t9.5
(C)	7ｽｽﾞｽﾄﾗｯｸｽt6.0目透張り撤去(LGS下地共)の上、LGS下地 ケーブル板t6.0(目透張り)EP-G塗装 化粧PB t9.5敷目板張り撤去(木下地共)の上、LGS下地 化粧PB t9.5(和室用)設置
(D)	7ｽｽﾞｽﾄﾗｯｸｽt6.0目透張り撤去(LGS下地共)の上、LGS下地 アルミﾊﾞﾝﾄﾞﾚﾙt1.0設置(7ｽｽﾞｽﾄﾗｯｸｽ)
(E)	PB t9.0目透張り撤去の上、PB t9.0(目透張り) EP塗装
(F)	PB t9.0下張り 岩綿吸音板t9.0撤去の上、PB t9.0下張り 岩綿吸音板t9.0 EP塗装
(G)	7ｽｽﾞｽﾄﾗｯｸｽt6.0目透張り撤去の上、ケーブル板 t6.0(目透張り) EP-G塗装
(H)	7ｽｽﾞｽﾄﾗｯｸｽt6.0目透張り撤去の上、ケーブル板 t6.0(目透張り) EP-G塗装
①	<PB t9.0目透張り EP(ﾌﾗｯﾄﾝ仕上)> EP塗替
②	<7ｽｽﾞｽﾄﾗｯｸｽt6.0目透張り EP(ﾌﾗｯﾄﾝ仕上)> EP-G塗替
③	<合板仮枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ケｲﾌﾞｰ工法> 下地調整RA種の上、EP塗装
④	<ﾊﾞﾆｰ板 t3.0> 既設のまま
⑤	<PB t9.0下張り 岩綿吸音板t9.0> EP塗替
⑥	<ﾓﾙﾀﾙ塗 ｺﾞﾗｺｰﾄ> EP-G塗替
㉗	<ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ｱｶﾘｼﾝ吹付> 外装薄塗材E 塗替え
㉘	<ﾓﾙﾀﾙ刷毛引 ｱｶﾘｼﾝ吹付> 複層塗材E 塗替え
㉙	<ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ> 複層塗材E 塗替え
㉚	<ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し> 外装薄塗材E 塗装
㉛	<7ｽｽﾞｽﾄﾗｯｸｽt6.0 ｱｶﾘｼﾝ吹付> 外装薄塗材E 塗替え
㉜	<ｱﾙﾐ換気ｸﾞﾘﾙ 620角> クﾘｰﾈｯｸ
㉝	<天井点検口 600角> 既設のまま
㉞	<天井点検口 450角> 既設のまま
<VB>	<ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ｷﾞｯｸｽ>
△	天井点検口 600角 設置
⊠	天井換気扇 (別途工事)
⊡	天井開口補強300角(本工事)
⊢	天井開口補強700角(本工事)

<注 記>
 ・<>は既設を示す。
 ・検車場及び整備場内は夜間にバスを駐車するので、バスが格納できるように施工計画を立て、足場等を設置すること。



(改修後) 1階 天井伏図 S=1:100

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	改修後 2階 天井伏図	枚数	No.32 57枚の内
設計		設計	平成25年4月
縮尺	1/100 1/50	単位	M M 担 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			

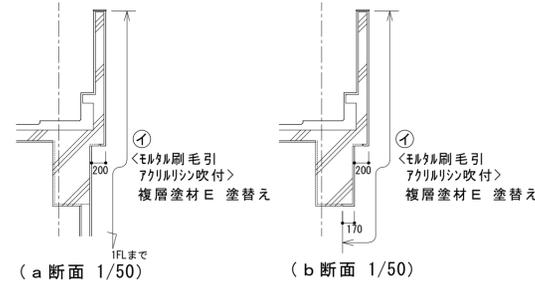


<改修後>
仕上凡例

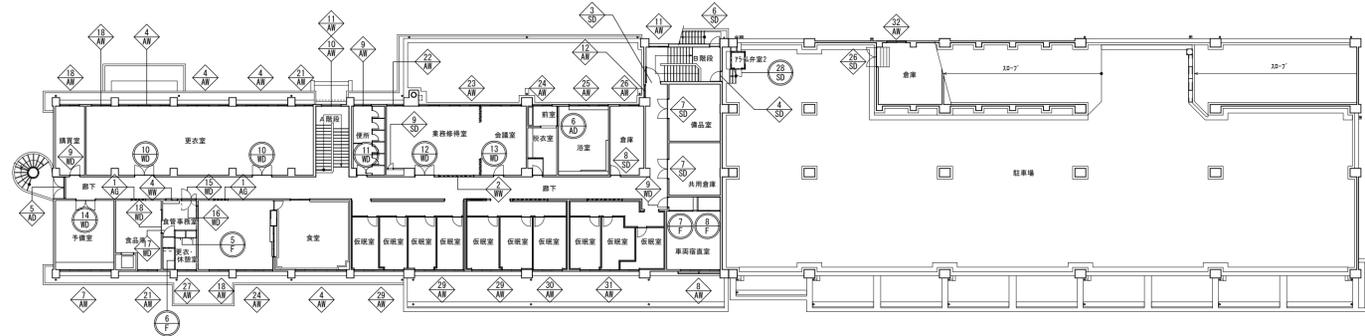
符号	仕上
(A)	PB t9.0目透張り撤去(LGS下地共)の上、LGS下地 化粧PB t9.5
(B)	PB t9.0下張り 岩綿吸音板t9.0撤去(LGS下地共)の上、LGS下地 化粧PB t9.5
(C)	7スベストラックt6.0目透張り撤去(LGS下地共)の上、LGS下地 ケイカル板t6.0(目透張り)EP-G塗装
(D)	化粧PB t9.5敷目板張り撤去(木下地共)の上、LGS下地 化粧PB t9.5(和室用)設置
(E)	7スベストラック撤去(LGS下地共)の上、LGS下地 7スベストラックt1.0設置(7スベリ縁)
(F)	PB t9.0目透張り撤去の上、PB t9.0(目透張り) EP塗装
(G)	PB t9.0下張り 岩綿吸音板t9.0撤去の上、PB t9.0下張り 岩綿吸音板t9.0 EP塗装
(H)	7スベストラックt6.0目透張り 撤去の上、ケイカル板 t6.0(目透張り) EP-G塗装
①	<PB t9.0目透張り EP(フロン仕上)> EP塗替
②	<7スベストラックt6.0目透張り EP(フロン仕上)> EP-G塗替
③	<合板仮枠コンクリート打放し ケイソ工法> 下地調整RA種の上、EP塗装
④	<7スベ板 t3.0> 既設のまま
⑤	<PB t9.0下張り 岩綿吸音板t9.0> EP塗替
⑥	<モルタル塗 ソラコート> EP-G塗替
ア	<コンクリート打放し アクリリシ吹付> 外装薄塗材 E 塗替え
イ	<モルタル刷毛引 アクリリシ吹付> 複層塗材 E 塗替え
ウ	<コンクリート打放し 吹付タイル> 複層塗材 E 塗替え
エ	<コンクリート打放し> 外装薄塗材 E 塗装
オ	<7スベストラックt6.0 アクリリシ吹付> 外装薄塗材 E 塗替え
グリ	<7スベ換気グリル 620角> クリニク
ク	<天井点検口 600角> 既設のまま
ケ	<天井点検口 450角> 既設のまま
クボ	<7スベライントボックス>
ク	天井点検口 600角 設置
ク	天井換気扇 (別途工事)
ク	天井開口補強300角(本工事)
ク	天井開口補強700角(本工事)

<注 記>
・<>は既設を示す。

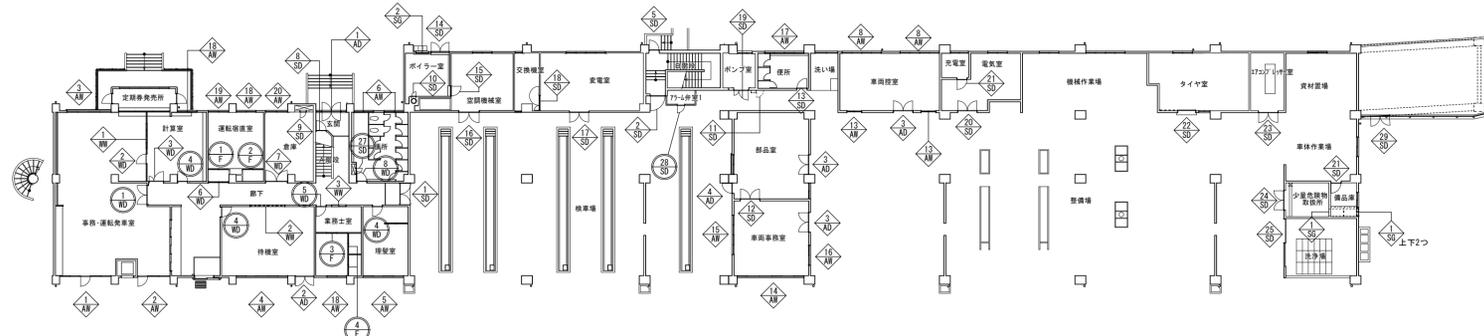
(改修後) 2階 天井伏図 S=1:100



大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	営業所・検車場棟 整備場棟	枚数	No. 33
	建具表 1	設計	平成25年4月
縮尺	1/50	単位	MM 担当 尾崎
名古屋市交通局営繕課			



2階 建具符号図



1階 建具符号図

<凡例>

- : 既設撤去の上、新設建具
- : 既設流用建具

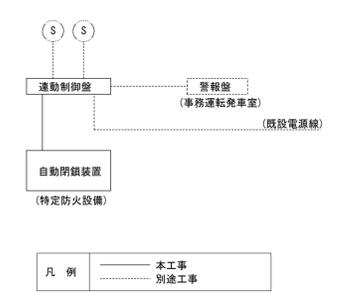
<建具工事特記事項>

1. 建物全ての建具を調査をして係員に報告の上、調整をすること。
2. 建具は全て現地調査をして図面作成の上、係員の確認を得ること。
3. 建具金物、ガラスは原則として見本提出の上、係員の確認を得ること。
4. 既設建具枠は、下地調整の上SOP塗替とする。
5. 既設アルミ建具額縁は、下地調整の上SOP塗替とする。
6. 既設ピボットヒンジの撤去跡の補修をすること。
7. 新設錠は既設マスターキーに組込むこと。

符号・形式	7#ミ2段引違い窓(片開き扉付)		7#ミ2段引違い窓(片開き扉付)		7#ミ2段引違い窓		7#ミ2段2連引違い窓		7#ミ2段2連引違い窓	
位置	1F事務運転発車室		1F事務運転発車室		1F事務運転発車室		1F待機室、2F更衣室、2F食堂		1F理髪室	
数量	1		1		1		5		1	
仕上	見込		見込		見込		見込		見込	
見込	70		70		70		70		70	
備 考	既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング	
符号・形式	7#ミ引違い窓	7#ミ2段2連引違い窓	7#ミ2段2連引違い窓	7#ミ引違い窓	7#ミ引違い窓	7#ミ引違い窓	7#ミ引違い窓	7#ミ引違い窓		
位置	1F便所	2F予備室	1F車両控室、2F車両直室	2F便所	A階段室	A階段室、B階段室	2F廊下	1F車両控室		
数量	2	1	3	1	1	2	1	2		
仕上	見込									
見込	70	70	70	70	70	70	70	70		
備 考	既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング									

符号・形式		14 AM 7mm2段3連引違い窓		15 AM 7mm2段2連引違い窓		16 AM 7mm引違い窓		17 AM 7mm2連引違い窓		18 AM 7mm2段引違い窓		19 AM 7mm2段引違い窓		大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）	
位置	数量	1F車両事務室	1	1F車両事務室	1	1F車両事務室	1	1F車両便所	1	1F計算室、1F運転宿直室、1F作業士室 2F購買室、2F更衣室、2F厨房	6	1F運転宿直室	1	図面名	営業所・検車場棟 整備場棟 建具表 2
仕上	見込	70		70		70		70		70		70	枚数	No.34 57枚の内	
備考		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		設計	平成25年4月
符号・形式		20 AM 7mm2段引違い窓		21 AM 7mm2段引違い窓		22 AM 7mm2段連窓引違い窓		23 AM 7mm引違い窓		24 AM 7mm2段引違い窓		25 AM 7mm引違い窓		縮尺	1/50
位置	数量	1F倉庫	1	2F更衣室、2F食品庫	2	2F業務習得室	1	2F業務習得室	1	2F浴室前室	1	2F浴室	1	2F倉庫	1
仕上	見込	70		70		70		70		70		70		70	
備考		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		付属金物	
符号・形式		27 AM 7mm2段引違い窓		28 AM 7mm2段2連引違い窓		29 AM 7mm2段2連引違い窓		30 AM 7mm2段引違い窓		31 AM 7mm2段連窓引違い窓		32 AM 7mm引違い窓		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング	
位置	数量	1F更衣・休憩室	1	2F厨房	1	2F仮眠室	3	2F仮眠室	1	2F仮眠室	1	2F駐車場倉庫	1		
仕上	見込	70		70		70		70		70		70			
備考		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング			
符号・形式		1 AD 7mmミラマ両袖付両開き戸		2 AD 7mmミラマ付親子開き戸		3 AD 7mm両開き戸		4 AD 7mm片開き戸		5 AD 7mm両開き戸		6 AD 7mm片引き戸（カバ-工法）		7 AD 7mmガラリ	
位置	数量	1F廊下	1	1F待機室	1	1F車両事務室、部品庫、車両控室	3	1F部品庫	1	2F廊下	1	2F浴室	1	1F食品庫、厨房	2
仕上	見込	100		100		100		70		70		70		70	
備考		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち（5mm部除く） 開閉調整、クリーニング		トアフェック取替え 既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち 開閉調整、クリーニング		既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち、クリーニング		戸当り取替え 既設が「スクット撤去の上シーリング」打ち 開閉調整、クリーニング		※扉・枠とも取替え 戸車、引手 下部レール枠のみ既設撤去・新設 新設サッシ周囲シーリング		SUS防虫網（16メッシュ）取替え、クリーニング（片面）	

符号・形式		1 SD	2 SD	3 SD	4 SD	5 SD	6 SD	7 SD	8 SD	9 SD	大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）		
図	面	鋼製両開き戸		鋼製片開き戸		鋼製片開き戸		鋼製片開き戸		鋼製両開き戸		図面名 営業所・検車場棟 整備場棟 建具表3	
		特定防火設備		特定防火設備		特定防火設備		特定防火設備				枚数 No. 35 設計 平成25年4月	
位置	数量	1F廊下	1	B階段室1F	1	B階段室2F	1	B階段室2F	1	2F備品庫、2F共用倉庫	2	1F倉庫、 2F業務習得室	2
仕上	見込	SOP塗替え	90	SOP塗替え	90	SOP塗替え	90	SOP塗替え	90	SOP塗替え	90	SOP塗替え	60
備	考	ドアチェック・フラス落し・順位調整器取替え 煙感知器連動制御装置及び自動閉鎖装置取替え 2次側配管・配線は本工事。1次側及び防災機器 への配線は別途工事。（煙感知器連動閉鎖工事区分表）参照。		ドアチェック取替え 煙感知器連動制御装置及び自動閉鎖装置取替え 2次側配管・配線は本工事。1次側及び防災機器 への配線は別途工事。（煙感知器連動閉鎖工事区分表）参照。		ドアチェック取替え、自動閉鎖装置取替え 煙感知器連動制御装置（SD-4と兼用） 2次側配管・配線は本工事。1次側及び防災機器 への配線は別途工事。（煙感知器連動閉鎖工事区分表）参照。		ドアチェック取替え 煙感知器連動制御装置及び自動閉鎖装置取替え 2次側配管・配線は本工事。1次側及び防災機器 への配線は別途工事。（煙感知器連動閉鎖工事区分表）参照。		シリコン・本締付モ/ロック錠取替え 7-ムストパ・取替え		7-ムストパ・取替え	
符号・形式	10 SD	11 SD	12 SD	13 SD	14 SD	15 SD	16 SD	17 SD	18 SD	19 SD	20 SD		
図	面	鋼製片開き戸		鋼製片開き戸		鋼製両開き戸		鋼製片開き戸		鋼製両開き戸		鋼製親子戸	
		500 350		600 600		2,000 1,600		2,000 788		2,000 1,700		2,000 1,200	
位置	数量	1Fホウ室	1	1F受水槽改め口	1	1F車両事務室	1	1F車両便所	1	1Fホウ室	1	1F空調機械室	1
仕上	見込	SOP塗替え	60	SOP塗替え	60	SOP塗替え	90	SOP塗替え	90	SOP塗替え	90	SOP塗替え	90
備	考					7-ムストパ・取替え		7-ムストパ・取替え		7-ムストパ・取替え フラス落し取替え		7-ムストパ・取替え ビス・ワットビス 撤去・丁番設置 スチール1.6にてカ'リ閉塞	
符号・形式	20 SD	21 SD	22 SD	23 SD	24 SD	25 SD	26 SD	27 SD		28 SD	29 SD		
図	面	鋼製両開き戸		鋼製片開き戸		鋼製片引きハンカ'戸		鋼製両開き戸		鋼製片引きハンカ'戸		鋼製両開き戸	
		2,000 1,600		2,000 800		2,000 1,500		2,000 1,600		2,050 2,000		2,000 1,600	
位置	数量	1F電気室	1	1F充電室、1F備品庫	2	1F待合室	1	1F少量危険物取扱所	1	1F少量危険物取扱所	1	1F洗浄場	1
仕上	見込	SOP塗替え	90	SOP塗替え	90	SOP塗替え	90	SOP塗替え	90	SOP塗替え	90	SOP塗替え	90
備	考	7-ムストパ・取替え		7-ムストパ・取替え		7-ムストパ・取替え		7-ムストパ・取替え		フラス落し取替え		7-ムストパ・取替え	
符号・形式	27 SD	28 SD	29 SD	30 SD	31 SD	32 SD	33 SD	34 SD	35 SD	36 SD	37 SD		
図	面	鋼製片開き戸		鋼製片開き戸		鋼製両開き戸		鋼製ガラリ		鋼製ガラリ		鋼製親子戸	
		450 450 扉撤去（枠共）		500 500		2,000 800		2,050 1,700		250 600		400 1,000	
位置	数量	1F便所	1	1F便所	1	1F7-ム弁室1 2F7-ム弁室2	2	スロ'下	1	1F少量危険物取扱所	3	1Fホウ室	1
仕上	見込	<SOP>	60	SOP塗装	90	SOP	120	SOP塗替え	90	SOP塗替え（見え掛り）	70	SOP塗替え	70
備	考	<丁番、押ホ' 2' 式平面錠>		丁番、ケースハント' Rシリコン' 錠		丁番、ケースハント' R空錠、ドアチェック、戸当り		ドアチェック取替え、7-ムストパ・取替え フラス落し取替え、開閉調整		<鋼網40メッシュ>撤去 SUS防虫網（16メッシュ）設置		〔煙感知器連動閉鎖工事区分表〕	



<注 記>

- 連動制御盤は壁付け露出型。
- 連動制御盤は、自動閉鎖装置を手動で開放したとき警報発報させるか選択できるものとする。
- 自動閉鎖装置は壁埋込み型。
- 既設撤去新設後、周囲補修。

〔煙感知器連動閉鎖工事区分表〕

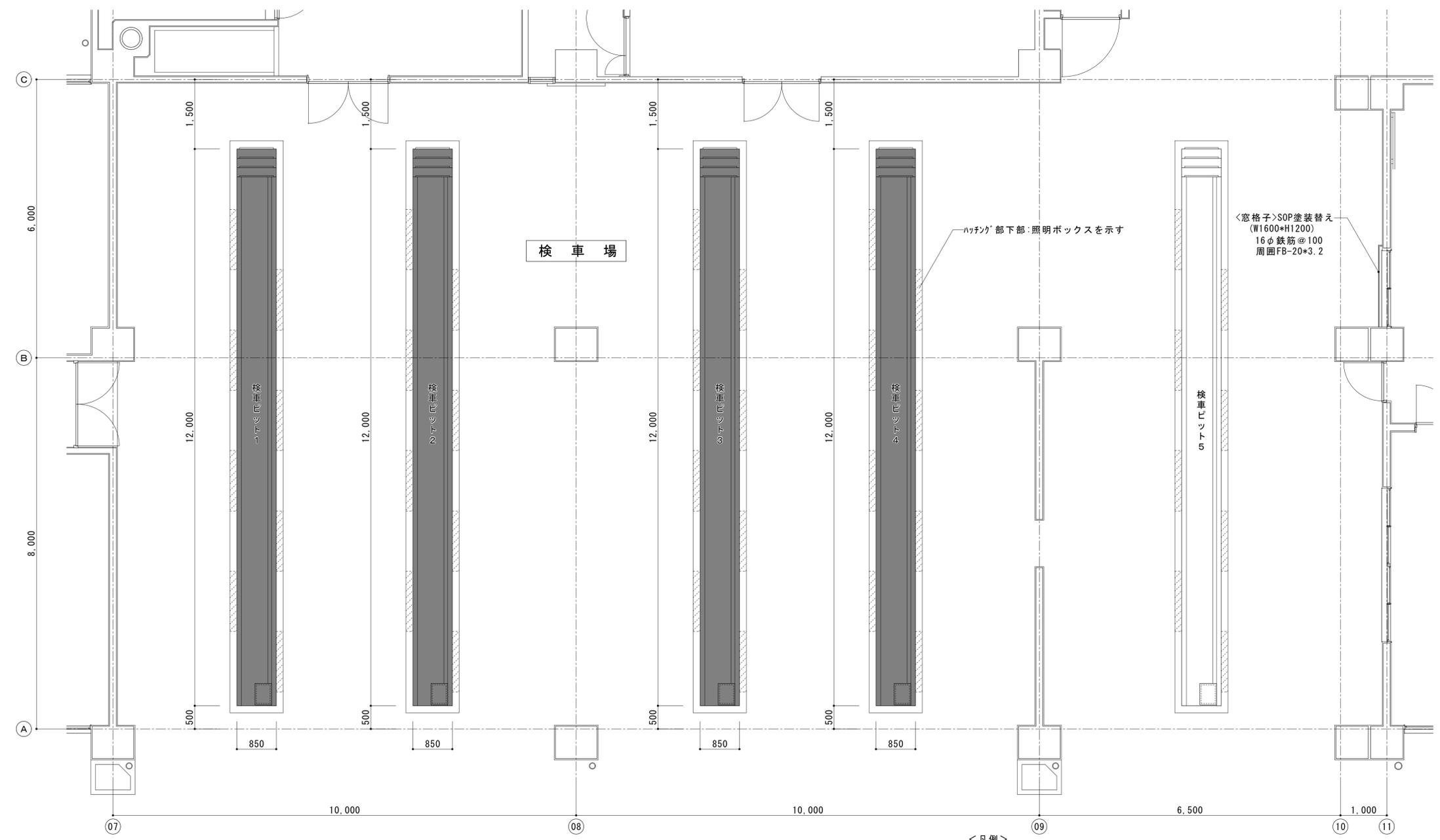
符号・形式		① 木製ランマ付両開き戸 → 木製ランマ付引違い戸		② 木製片開き戸		③ 木製ランマ付親子戸		④ 木製ランマ付片開き戸		⑤ 木製ランマ付片開き戸		⑥ 木製ランマ付引違い戸		⑦ 木製ランマ付両開き戸		⑧ 木製ランマ付片開き戸					
図	名	(既設)		(改修後)																	
位置	数量	1F事務運転発車室	1	1F事務運転発車室	1	1F計算室	1	1F計算室	1	1F待機室、1F理髪室、1F計算室	3	1F業務士室	1	1F運転直室	1	1F倉庫	1	1F便所	1		
仕上	見込	<SOP>	36	新設戸:SOP塗装<ランマ>SOP塗替え	36	SOP塗替え	36	SOP塗替え	36	新設戸:SOP塗装<ランマ>SOP塗替え	36	新設戸:SOP塗装<ランマ>SOP塗替え	36	SOP塗替え	36	SOP塗替え	36	新設戸:SOP塗装<ランマ>SOP塗替え	36		
硝子		<型>ガラス3		フロート5						型ガラス4		型ガラス4						型ガラス4			
付属金物		<ヒ>ホットピンツ、モ/ロック、ドアフェック、<フ>ランス落し		戸車、引手、ステンレス丸(埋込)、シリンダー引違戸錠				ドアフェック取替え		丁番、本締め付モ/ロック錠、ドアフェック、計算室扉:スチール補強プレート 800*500*t1.0取付		丁番、本締め付モ/ロック錠、ドアフェック、		戸車取替え		ドアフェック取替え		丁番、本締め付モ/ロック錠、ドアフェック、			
備考				木枠改修																	
符号・形式		⑨ 木製ランマ付片開き戸		⑩ 木製ランマ付両開き戸 → 木製ランマ付引違い戸		⑪ 木製ランマ付片開き戸		⑫ 木製ランマ付両開き戸		⑬ 木製ランマ付片開き戸		⑭ 木製ランマ付両開き戸		⑮ 木製ランマ付親子開き戸		⑯ 木製ランマ付親子開き網戸		⑰ 木製片開き戸			
図	名	(既設)		(改修後)																	
位置	数量	2F購買室、2F車両直室	2	2F更衣室	2	2F更衣室	2	2F便所	1	2F業務習得室	1	2F業務習得室	1	2F予備室	1	2F食管事務室	1	2F食管事務室	1	2F更衣・休憩室	1
仕上	見込	SOP塗替え	36	<SOP>	36	新設戸:SOP塗装<ランマ>SOP塗替え	36	新設戸:SOP塗装	36	新設戸:SOP塗装<ランマ>SOP塗替え	36	新設戸:SOP塗装<ランマ>SOP塗替え	36	新設戸:SOP塗装<ランマ>SOP塗替え	36	SOP塗替え	36	SOP塗替え	33	SOP塗替え	36
硝子				<型>ガラス3		型ガラス4		扉:型ガラス4、ランマ戸:フロート3		型ガラス4		型ガラス4									
付属金物		ドアフェック取替え		<ヒ>ホットピンツ、モ/ロック、ドアフェック、<フ>ランス落し		戸車、引手、ステンレス丸(埋込)、シリンダー引違戸錠		丁番、本締め付モ/ロック錠、ドアフェック、スベリ出し金物一式		丁番、本締め付モ/ロック錠、ドアフェック、ランス落し、戸当り		丁番、本締め付モ/ロック錠、ドアフェック、		丁番、本締め付モ/ロック錠、ドアフェック、ランマ戸:スベリ出し金物取替え		ドアフェック取替え		ドアストップ-取替え		SUS防虫網(16メッシュ)取替え	
備考				木枠改修		木枠欠け補修1箇所															
符号・形式		⑱ 木製片引き戸		⑲ 木製FIX付引違い窓		⑳ 木製4連スベリ窓		㉑ 木製引違い窓		㉒ 木製引違い窓		㉓ 木製引違い窓		㉔ 木製FIX付引違い窓							
図	名																				
		位置	数量	2F食品庫	1	1F計算室	1	1F待機室、2F業務習得室	2	1F業務士室	1	2F食管事務室	1	1F定期券売所	1						
仕上	見込	SOP塗替え	36	SOP塗替え	33	SOP塗替え	30		33	SOP塗装	33										
硝子											<ト>ナイト3撤去、型ガラス4設置										
付属金物																					
備考										業務士室側、合板にて閉塞の上、SOP塗装											
符号・形式		① 引違い障子戸		② ランマ付引違いワスマ戸		③ 3本引きワスマ戸		④ ランマ付引違いワスマ戸		⑤ 両開きワスマ戸(引違いワスマ戸)		⑥ ランマ付引違いワスマ戸		⑦ 引違い障子戸		⑧ ランマ付引違いワスマ戸					
図	名																				
		位置	数量	1F運転直室	1	1F運転直室	1	1F業務士室	1	1F業務士室	2	2F更衣・休憩室	2	2F更衣・休憩室	1	2F車両直室	1	2F車両直室	1		
仕上	見込	スワルス	32	新鳥の子紙	21	業務士室側:新鳥の子紙 前室側:スチール化粧合板	21	新鳥の子紙	21	新鳥の子紙	21	新鳥の子紙	21	スワルス	32	新鳥の子紙	21				
硝子		障子紙(和紙)												障子紙(和紙)							
付属金物		引手、平車、溝レール(既設敷居取付)		引手、平車、溝レール(既設敷居取付)		引手、平車、溝レール(既設敷居取付)		引手、平車、溝レール(既設敷居取付)		丁番、引手、取手、キャッチ		引手、平車、溝レール(既設敷居取付)		引手、平車、溝レール(既設敷居取付)		引手、平車、溝レール(既設敷居取付)					
備考				樞:カシュー塗		樞:カシュー塗		樞:カシュー塗		樞:カシュー塗		樞:カシュー塗		樞:カシュー塗		樞:カシュー塗					

大森営業所耐震改修その他工事(建築工事)

図面名	営業所・検車場棟 整備構様 建具表4	枚数	No.36 57枚の内
縮尺	1/50	設計	平成25年4月
単位	MM	担当	尾崎

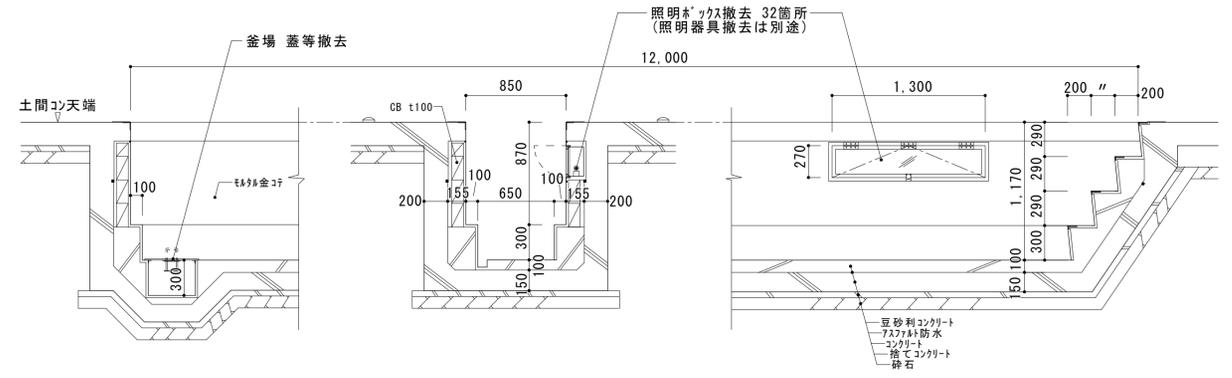
名古屋市交通局営繕課

大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図名	1階 検車場	枚数	No.38
	平面詳細図・断面詳細図	設計	57枚の内 平成25年4月
縮尺	1/50 1/30	単位	M M 担 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			

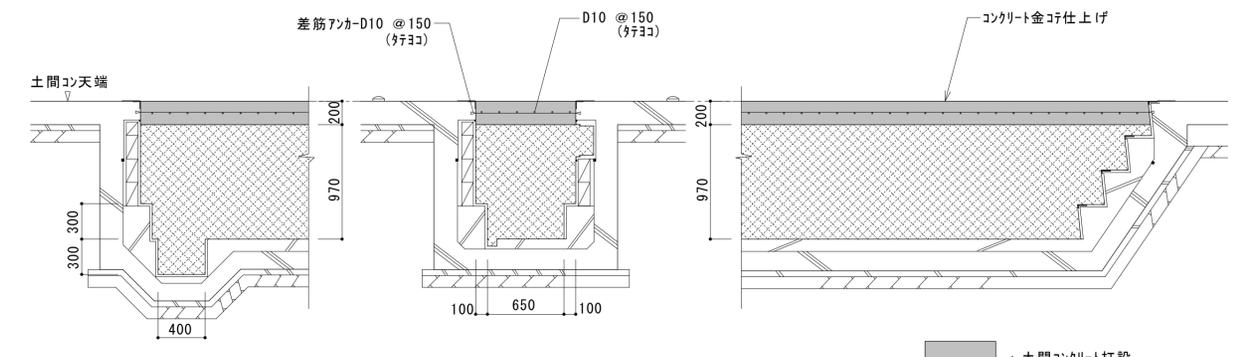


(改修) 1階 検車場平面詳細図 S=1:50

- <注記>
- ・夜間、検車場内にバスを駐車するので、支障の無いよう施工すること。
 - ・コンクリートの設計基準強度は21N/mm²とする。
(コンクリートの構造体強度補正は行わない)
 - ・コンクリートの強度試験は行うこと。
 - ・検査ピット1の既設蓋を検査ピット5へ移設のこと。
縞鋼板 900*1040*t6.0 10枚
縞鋼板 400*1040*t6.0 8枚

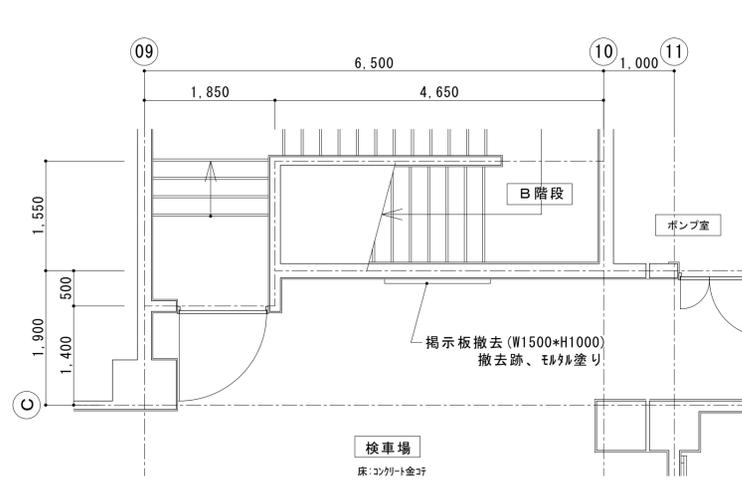


(改修前) 1階 検車場ピット断面詳細図 S=1:30

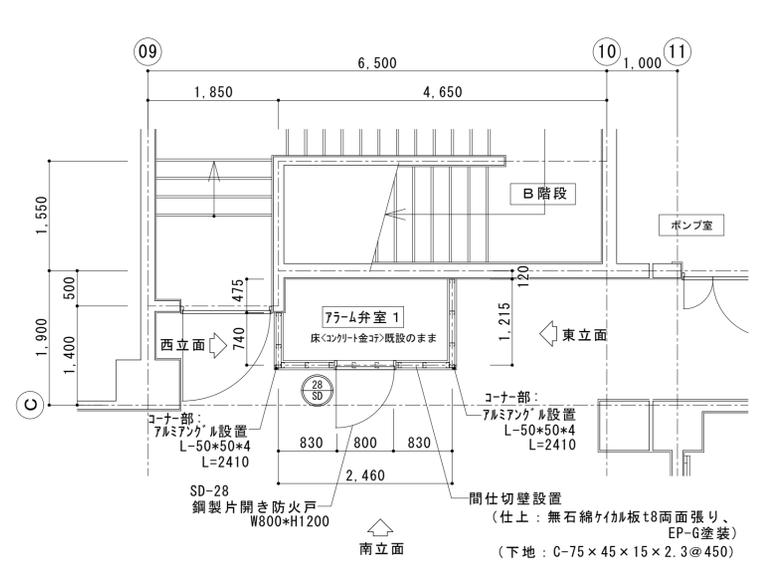
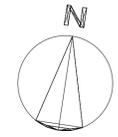


(改修後) 1階 検車場ピット断面詳細図 S=1:30

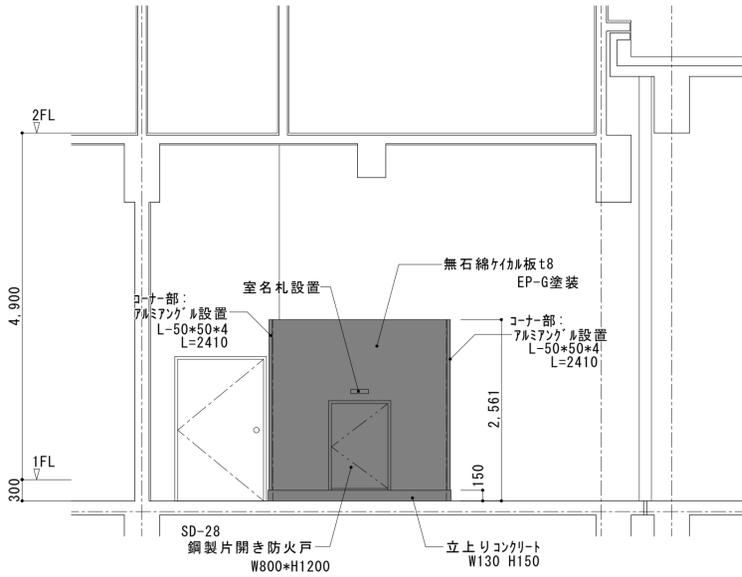
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	1階 7ラ-ム弁室1 平面詳細図、立面図、断面図 鉄骨軸組図、鉄骨詳細図	枚数 No. 39 57枚の内	設計 平成25年4月
縮尺	1/50 1/10	単位 MM	担当 尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



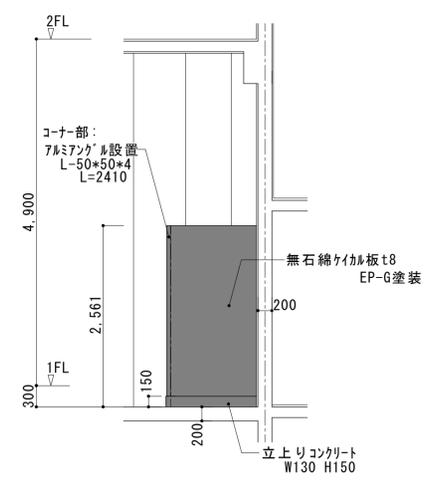
(改修前) 1階 7ラ-ム弁室1 平面詳細図 S=1:50



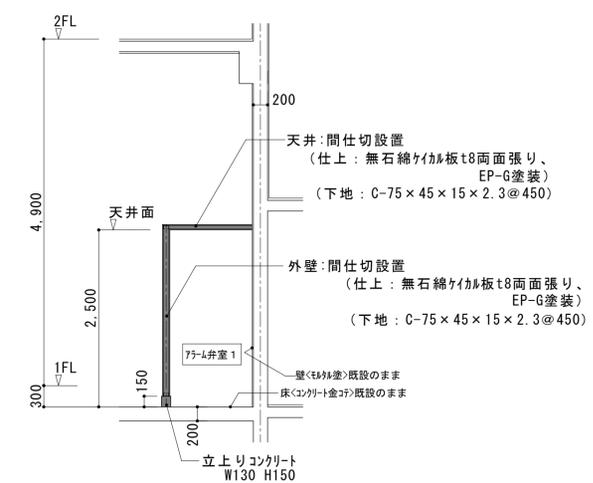
(改修後) 1階 7ラ-ム弁室1 平面詳細図 S=1:50



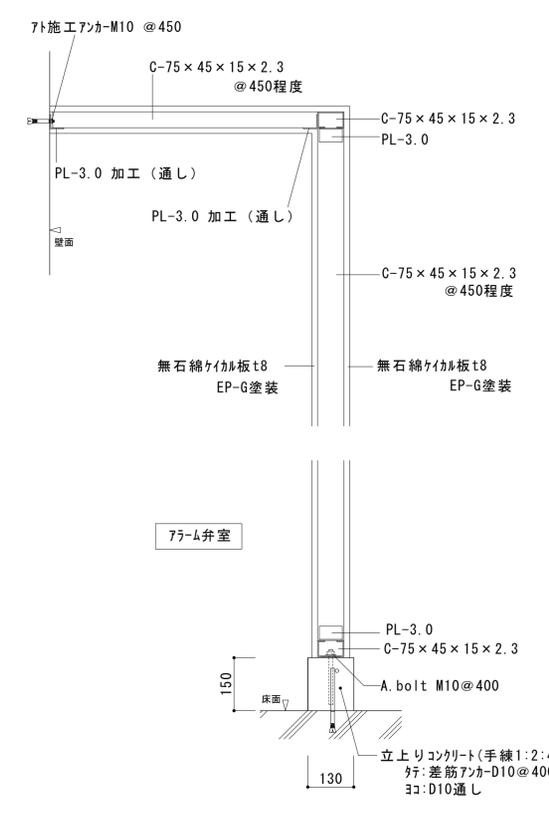
(改修後) 1階7ラ-ム弁室1 南立面図 S=1:50



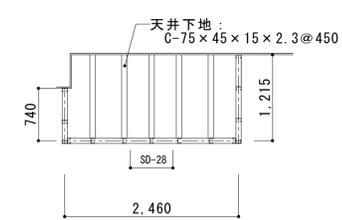
(改修後) 1階7ラ-ム弁室1 東立面図 S=1:50



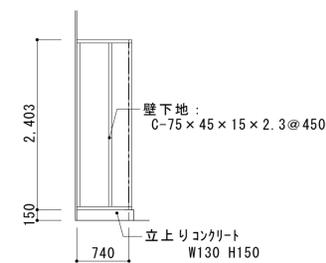
(改修後) 1階7ラ-ム弁室1 断面図 S=1:50



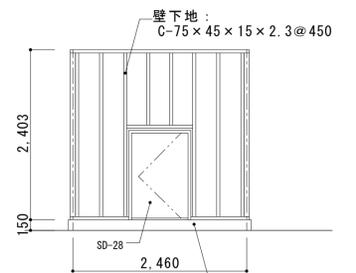
1階7ラ-ム弁室1 鉄骨詳細図 S=1:10



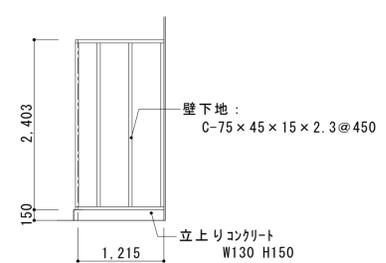
(天井伏せ)



(西立面)



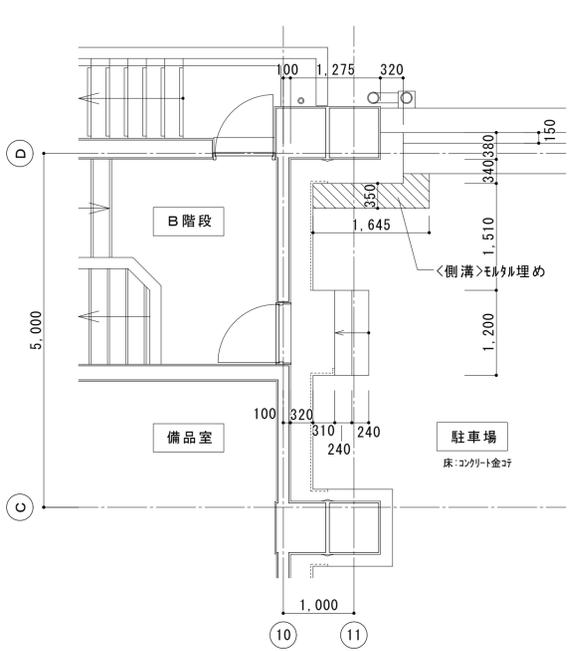
(南立面)



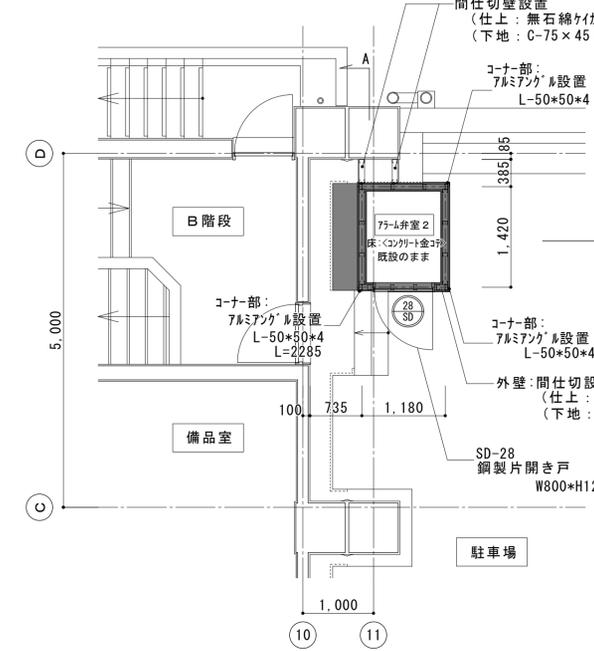
(東立面)

1階7ラ-ム弁室1 鉄骨軸組図 S=1:50

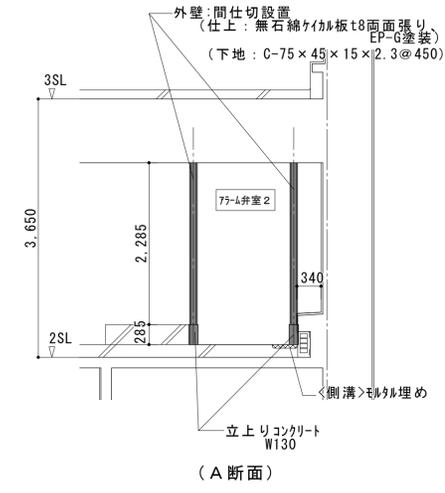
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	2階 7-4弁室2	枚数	No.40 57枚の内
設計	平成25年4月	単位	M/M 担当 尾崎
縮尺	1/50 1/10	位置	
名古屋市長交通局営繕課			



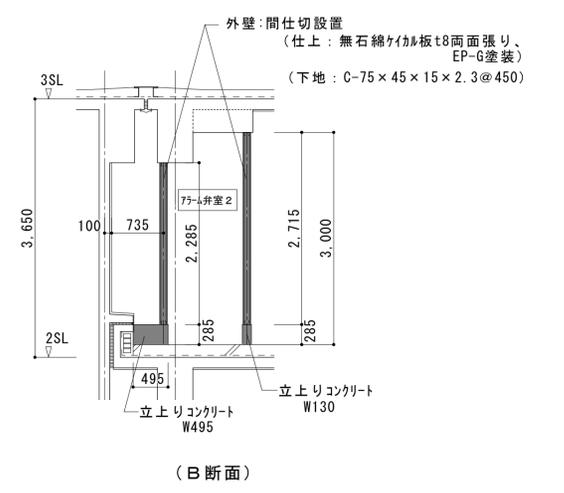
(改修前) 2階 7-4弁室2 平面詳細図 S=1:50



(改修後) 2階 7-4弁室2 平面詳細図 S=1:50

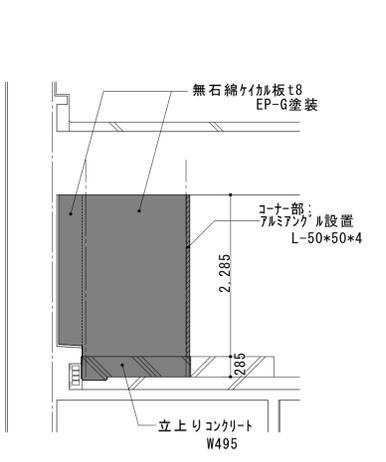


(A断面)

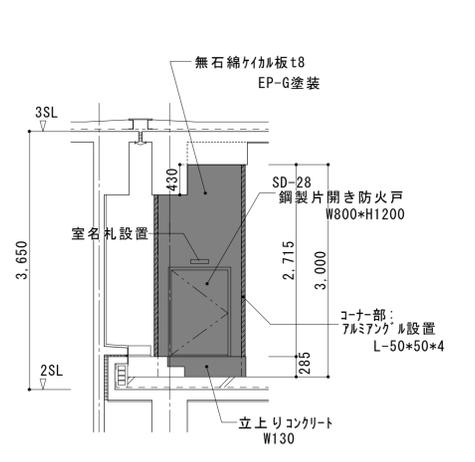


(B断面)

(改修後) 2階7-4弁室2 断面図 S=1:50

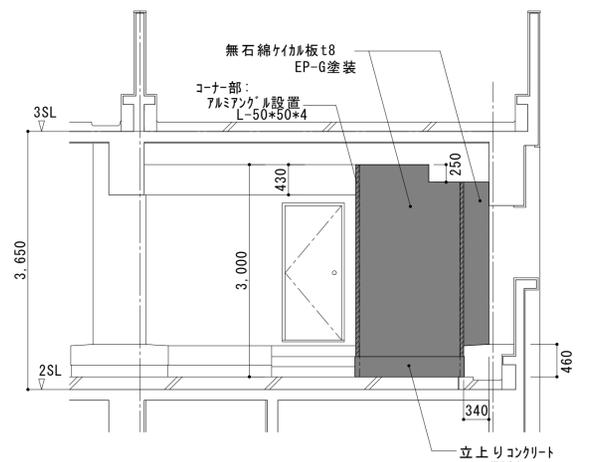


(西立面)

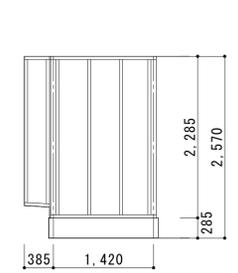


(南立面)

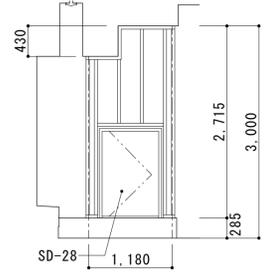
(改修後) 2階7-4弁室2 東立面図 S=1:50



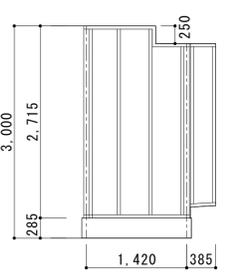
(東立面)



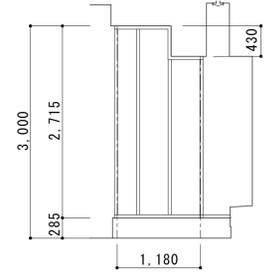
(西立面)



(南立面)

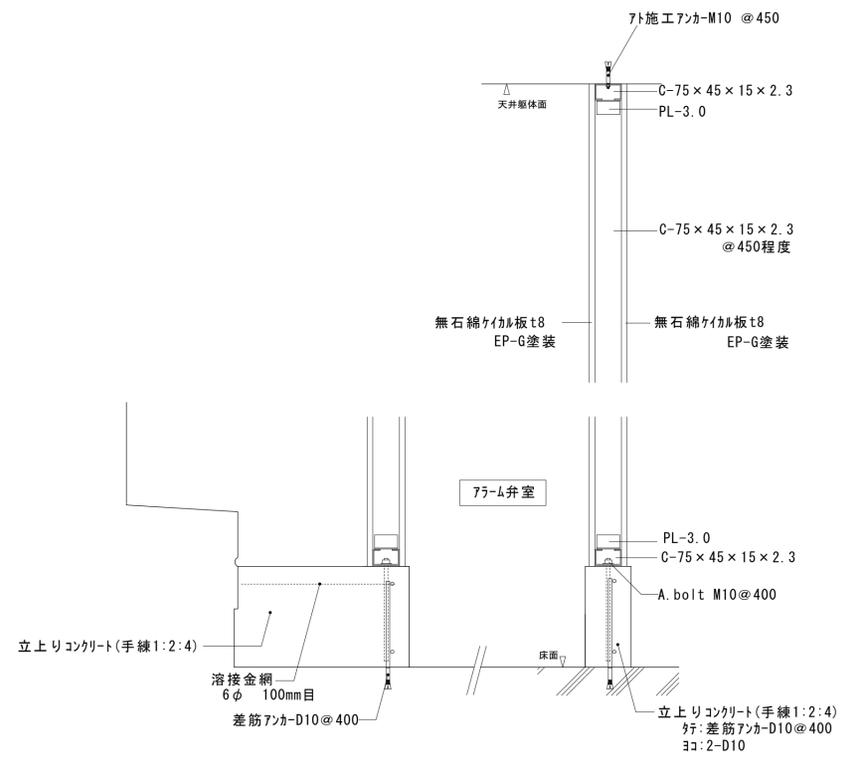


(東立面)



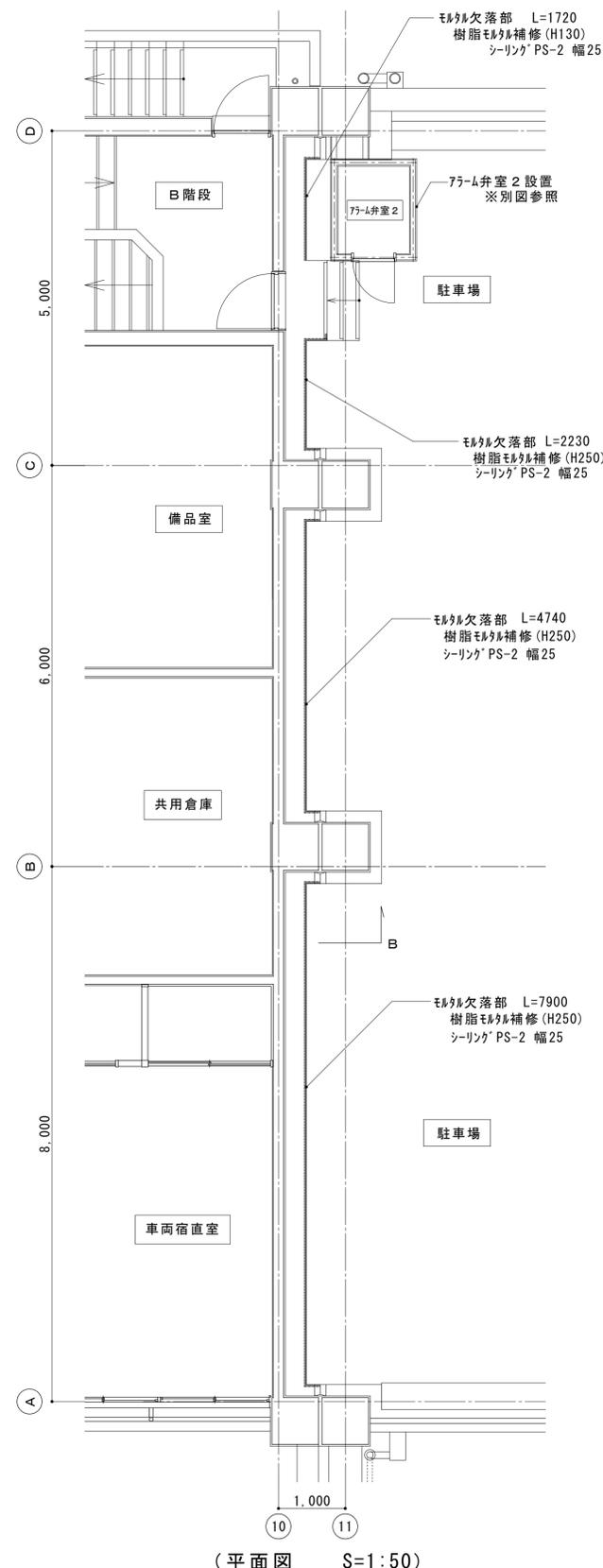
(北立面)

2階7-4弁室2 鉄骨軸組図 S=1:50

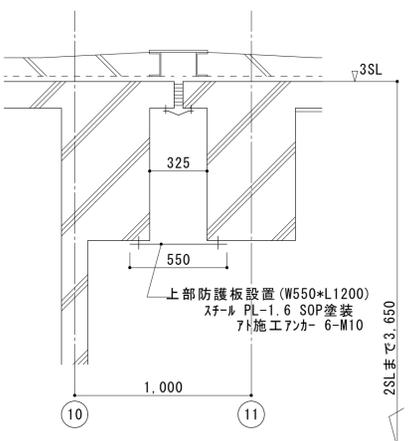
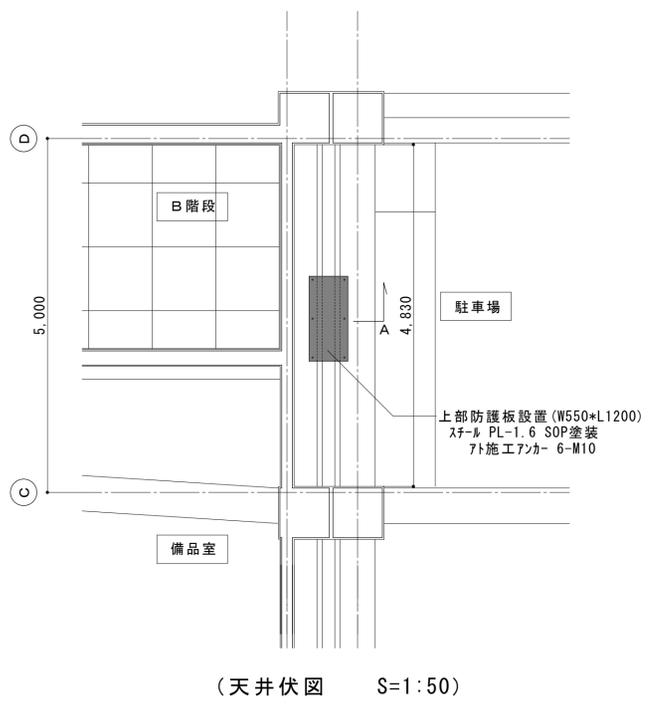


2階7-4弁室2 鉄骨詳細図 S=1:10

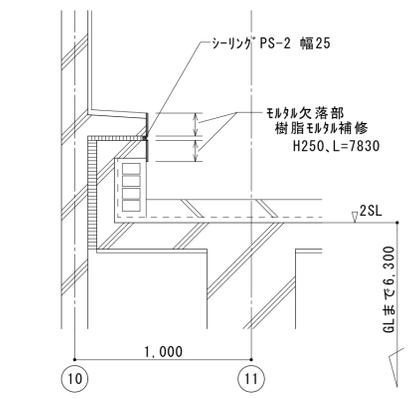
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	営業所・検車場棟及び整備棟	枚数	No. 41
	その他改修詳細図1		57枚の内
縮尺	1/50 1/20	設計	平成25年4月
		単位	MM
		担当	尾崎
名古屋市交通局 営繕課			



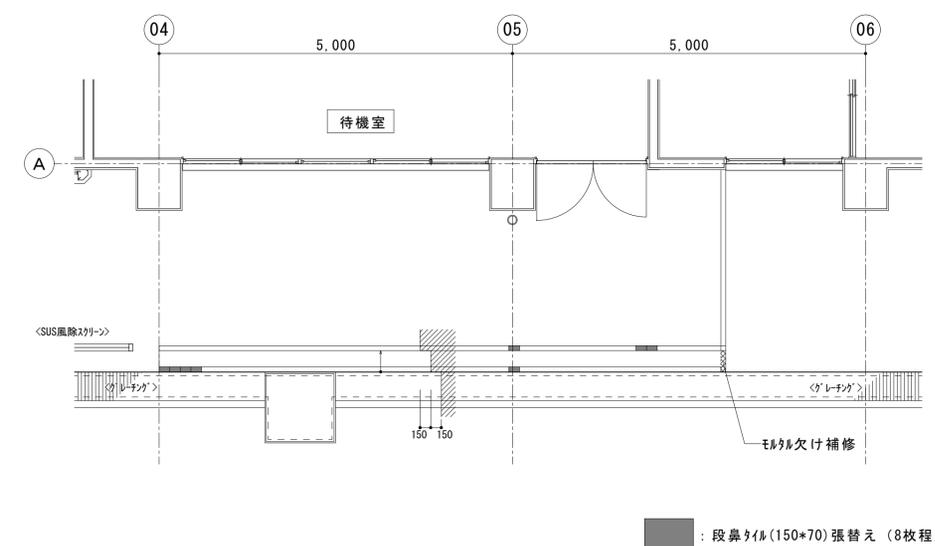
2階 EXP. J 周り (C-D通) 改修図



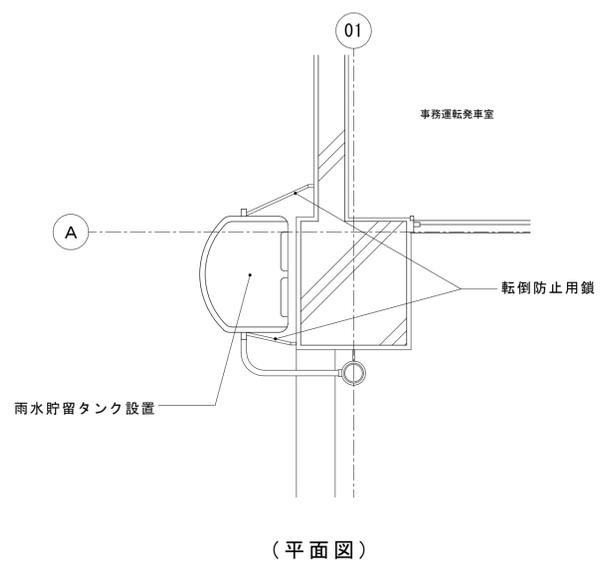
(A断面詳細図) S=1:20



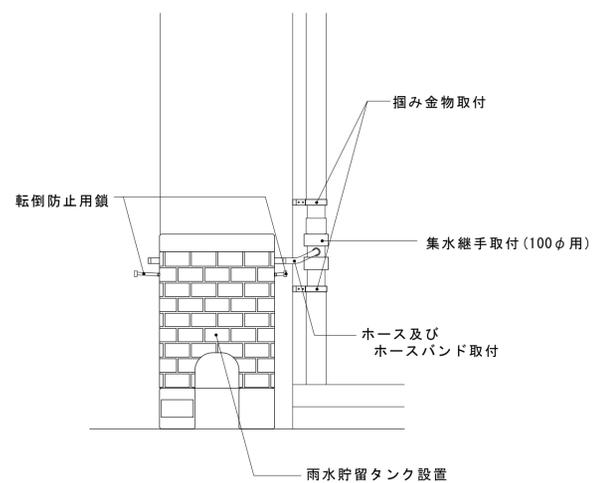
(B断面詳細図) S=1:20



営業所・検車場棟 南側階段補修 S=1:50



(平面図)

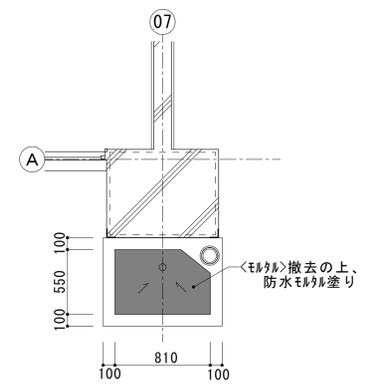


(立面図)

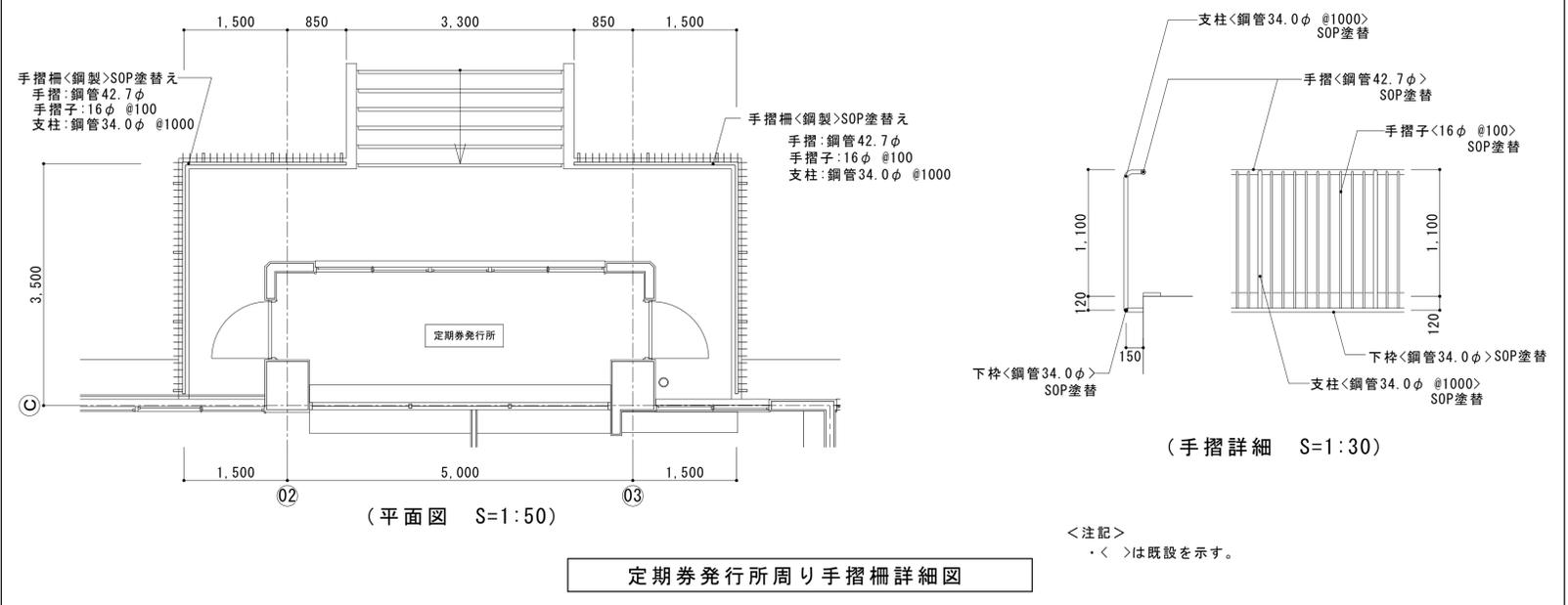
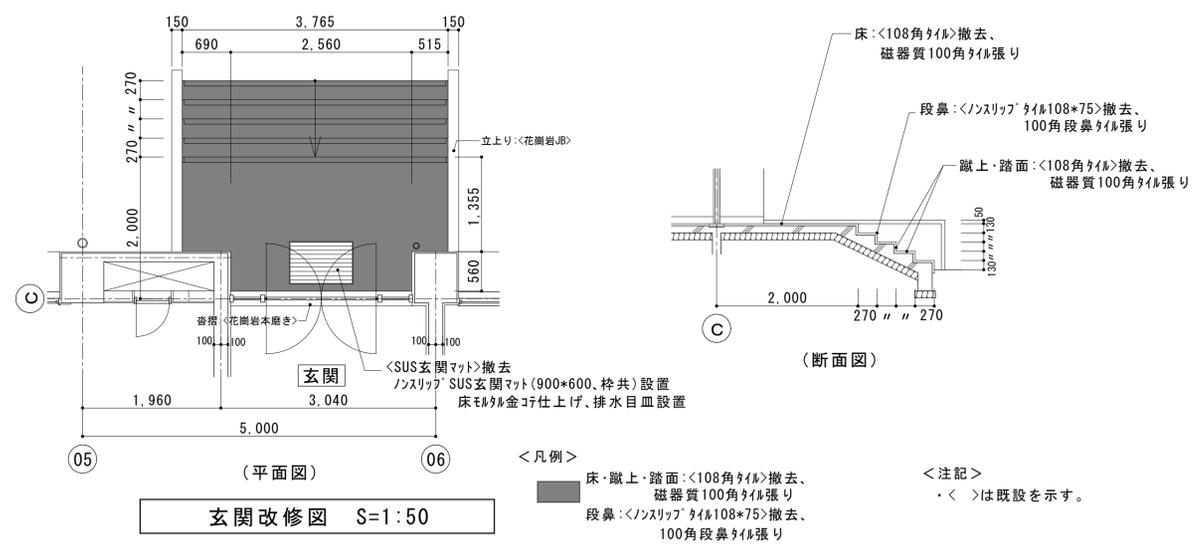
雨水貯留タンク設置図 S=1:20

<注記>
 ・雨水貯留タンクは タキロン㈱「雨音くん」200リットル又は同等品とする
 ・集水継手は蓋を外したタンクの上面の高さの位置に設置する

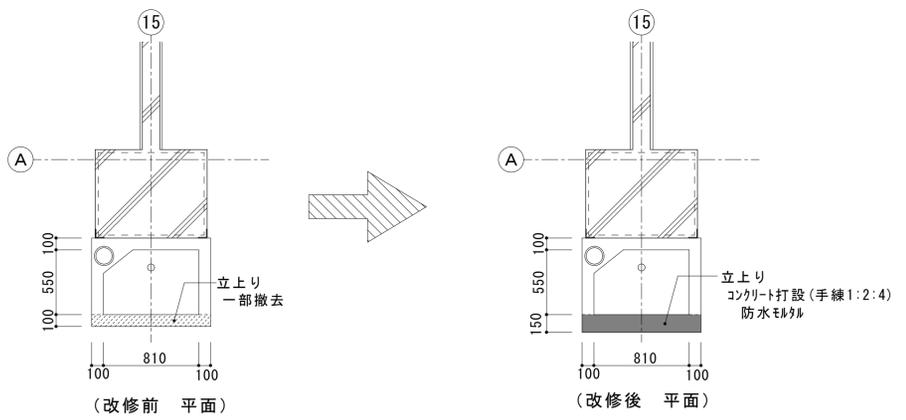
大森営業所耐震改修その他工事（建築工事）			
図面名	営業所・検車場棟及び整備場棟	枚数	No.42
	その他改修詳細図2	設計	57枚の内 平成25年4月
縮尺	1/50 1/30	単位	MM 相当
名古屋市交通局管轄課			



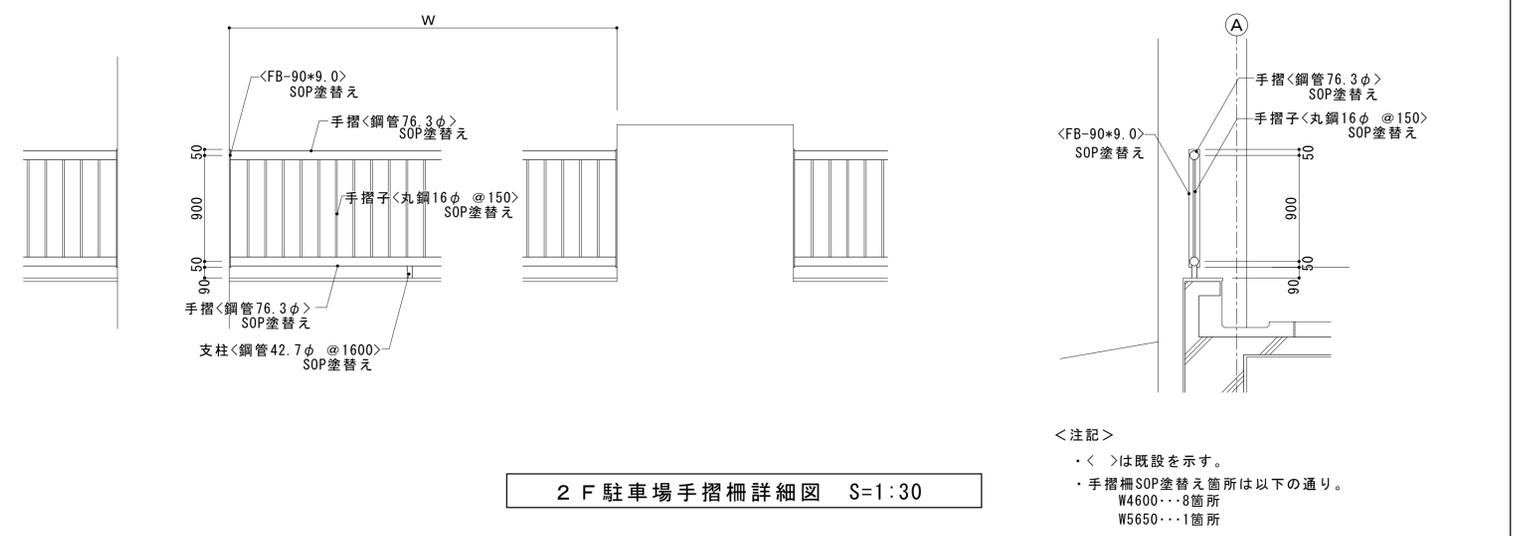
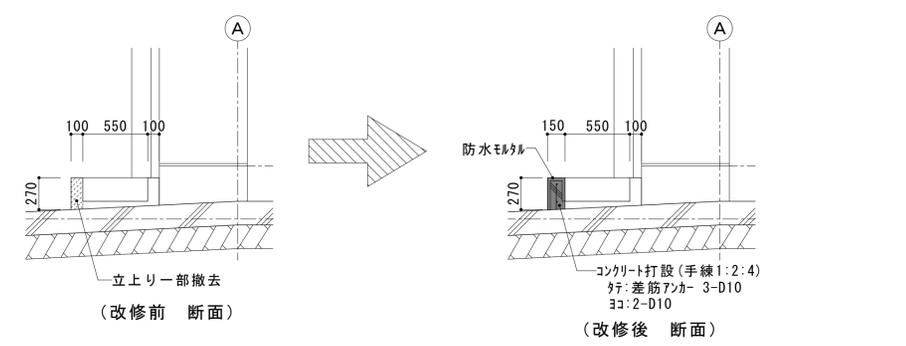
7通 地流し改修図 S=1:30



定期券発行所周り手摺欄詳細図



15通 地流し改修図 S=1:30



2F駐車場手摺欄詳細図 S=1:30